

目 次

I はじめに	1
II 管理部門	
1 普及啓発・受診勧奨	
1-1 普及啓発事業の目的	2
1-2 がん征圧運動	2
1-3 研修会、健康教育の実施	4
1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	4
1-5 北海道・市町村との連携	6
1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	8
1-7 賛助会実績	9
1-8 受診勧奨	9
2 がん相談事業実績	10
3 精度管理体制	
3-1 精度管理体制	12
3-2 専門職の研鑽	12
3-3 施設認定	23
4 事後管理の流れ	24
5 安全管理体制	25
6 検診車の保有状況	26
7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況	27
8 研究等事業	28
III 検（健）診部門	
1 検（健）診受診者数	29
2 がん検診の成績	30
3 健康診査の成績	64
4 各種検査の成績	84
5 検診センターの精密検査成績	87
【参考資料】	
1 がん対策の背景	96
2 市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	101
3 北海道対がん協会	103
3-1 概要	103
3-2 目的及び事業	104
3-3 検診センター及び細胞診センターの機能	105
3-4 機構図	107
3-5 役員等名簿	108
3-6 沿革概要	110
4 個人情報保護方針	113
5 検診センターにおける各種検診日	114
6 がん対策基金のご案内	115
7 がん征圧賛助会へのご入会案内	119

－ 本事業年報の説明 －

「2022事業年報」は、公益財団法人北海道対がん協会の令和4（2022）年度の事業を集録したものです。

なお、各資料の年度区分は次表のとおりです。

目次	ページ	区分
Ⅱ 管理部門	P 2～P 28	令和4（2022）年度
Ⅲ 検（健）診部門	P 29～P 95	令和4（2022）年度
【参考資料】		
1 がん対策の背景	P 96～P 100	令和4（2022）年度
2 市町村が実施するがん検診の受託状況について	P 101～P 102	令和3（2021）年度 ～令和4（2022）年度
3 北海道対がん協会 ～7 がん征圧賛助会へのご入会案内	P 103～P 119	別途記載のとおり

I はじめに

日頃より当協会の運営並びに事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、当協会の令和4年度（2022年）の事業内容、検（健）診実績等を取りまとめました「2022 事業年報」が完成いたしましたのでお届けします。ご高覧いただき、当協会に対するご理解の一助になれば幸いです。

2020年1月に国内初の新型コロナ感染者が報告されると、瞬く間に感染拡大が起こり、3月には東京オリンピックの開催延期、4月には緊急事態宣言が出されて、3密を避ける新しい生活様式が日常化しました。2020年の全国の新たながん罹患者数は、5がんにおいて2019年と比べて平均7.2%減少しています。2020年では検診への受診控えのため、全国の検診受診者は15%減少しており、当協会でも10.3%減となりました。2020年のがん検診で発見されたがん数も前年比16%減少しています。これは本来ならがん検診を受診することで発見されたがんが、発見されずに潜在化したことを意味します。潜在化したがんが進行する前に検診受診率を速く戻す必要がありますが、がん検診対象者（40～69才）のうち当センターでの検診受診者数の割合は、2019年から2022年まで19.8%、17.4%、19.0%、20.1%と推移しコロナ前を超えてきています。2023年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行し、行政指導による社会生活の制限はなくなり、さらなる受診者の増加が期待されます。

しかし、道内でのがん検診対象者が毎年2～3万人減少しており、人口減少と高齢化によって市町村のがん検診受診者数は漸減している状況です。がん検診受診率の急激な上昇がなければ、今後のがん検診受診者数の伸びは期待できません。当協会の実績を維持するには今後は特定健診、事業所健（検）診、人間ドックが重要になってきます。

私が会長に就任した2022年には、内視鏡機器を整備して胃がん内視鏡検査数を1日30名体制から48名体制にして、胃がん内視鏡検診の受け入れを増大しました。2023年には検査室・更衣室・待合室などの改修を行った上で、内科診察医を2名にして施設健診の受け入れを増やすことができる体制にしました。2024年からは特定保健指導の充実、フォローアップ外来の開設を行ない、生活習慣病の予防にさらに力を入れています。

これからも、がんや生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発、検（健）診事業、がんに関する調査・研究事業を柱にして、心身ともに豊かな社会の実現に向けて邁進しますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

令和6年6月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 加藤 元嗣



基本理念

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

基本方針

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

II 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、協会の目的である、広く道民に対するがんに関する正しい知識の普及とともに、がん検診事業の推進を図るため、がん予防道民大会をはじめとした各種普及啓発事業を実施しています。また、企業のCSR活動と連携し、がん早期発見のための検診の必要性・重要性を訴えています。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、普及啓発事業を実施しました。

1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、「がん征圧月間」として9月に展開する全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9～10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、各種事業を実施しています。

(1) がん予防道民大会

本大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地市町村との共催により、数多くの協賛・後援のもと毎年開催しています。

第52回となる今大会は、10月21日（金）、新ひだか町公民館で初めてハイブリッド開催し、全道から約470名が参加しました。また、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

<p>10月21日（金） 13：00～16：00 新ひだか町公民館 ※ハイブリッド開催 約470名</p>	<p>【第52回がん予防道民大会】 大会の主な行事</p> <ul style="list-style-type: none">○がん予防功労者表彰 受賞団体 せたな町、当麻町、国際ソロブチミスト静内○優良がん対策推進企業表彰 受賞団体 丸彦渡辺建設株式会社○特別講演 「ヒトはなぜがんになるのか？」 ～がんにならないように、なっても困らないように～ 演者 北海道医療大学 先端研究推進センター センター長 特任教授 小林 正伸 氏○健康講話 「9人にひとりが私でした…」～患者取材していた私が乳がん～ 演者 HTB北海道テレビ放送株式会社 東京支社 編成業務部長 SODANE 編集長 阿久津 友紀 氏
---	--



(2) 令和4年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	市町村、道立保健所、道内医療機関等関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会から、がん征圧月間ポスターを購入し、道内の関係機関へ配布	4,450枚
9月～10月	札幌市保健所、各区役所・保健センター、旭川市保健所、上川合同庁舎、釧路市等	がん征圧懸垂幕及びデジタルサイネージ等の掲示	がん早期発見の重要性を伝える懸垂幕やデジタルサイネージ等の掲示	13機関
9/1(木)～30(金)	JR旭川駅前周辺	街頭PR放送	がん征圧月間及びがん検診受診の啓発アピールを放送する	—
9/6(火)～7(水)	北海道庁本庁舎1階 特設展示場B	令和4年度がん予防パネル展	がんに関するパネルの展示及びリーフレットの配架等	219名 (1日目：118名、2日目：101名)
9/18(日)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に特集記事を掲載	—

(3) RFLセルフ・ウォーク・リレー室蘭

例年開催されていた、リレー・フォー・ライフ・ジャパンin室蘭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での開催は中止となりました。

会場での開催の代替として、スマホアプリを使用したオンラインイベントが8月27日(土)から9月25日(日)に開催されることとなり、この取組みに職員23名が参加しました。

(4) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会、禁煙週間実行委員会の構成員として活動しています。

禁煙週間実行委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、相談や展示等のイベントは中止となりました。

1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	主催	研修会名	内容	従事者	参加者数
5/27	システムバンク(株)	がん健診啓発と健康管理	コロナ禍でも重要！～がん検診・健康診断は不要不急の外出ではありません～	(札幌) 企画課 久保 彩香	26名
7/12、 8/9、 9/6、 9/13	北海道市町村職員共済組合	令和4年度レディース健康セミナー	コロナ禍でも重要！～がん検診・健康診断は不要不急の外出ではありません～	(札幌) 企画課 久保 彩香	4回合計 95名
7/31	日本薬剤師会、 日本薬剤師研修センター	健康サポート薬局に係る研修会	健康サポート薬局に期待すること～検診機関の立場から～	(札幌) 企画課 久保 彩香	85名 (WEB)
1/18	旭川市シニア大学	旭川市シニア大学講座	がん検診のススメ②	(旭川) 総務・施設課 中村 恵子	35名
2/17	中の島地区連合町内会	中の島地区健康セミナー	大腸がん検診と便秘外来について	(札幌) 内科部長 津田 桃子	50名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資料名	部数
①	2021事業年報	600冊
②	機関誌「しらかば」88号、89号	計3,100部
③	がん検診（日本対がん協会リーフレット）	2,100枚
④	乳がん検診とブレスト・アウェアネス（日本対がん協会リーフレット）	1,800枚
⑤	女性のがんと健康（日本対がん協会リーフレット）	1,800枚

(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています（担当：経営管理部企画課）。

品名	模型説明	
乳がん触知モデル （精密型）	<p>人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。</p> <p>サイズ：37×24×17cm</p>	
乳房疾患模型	<p>断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。</p> <p>サイズ：16.5×11×7.5cm</p>	
肺がん模型	<p>健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。</p> <p>サイズ：55×43×30cm</p>	
喫煙タール模型	<p>1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。</p> <p>サイズ：9×9×13.5cm</p>	
腸疾患模型	<p>結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。</p> <p>サイズ：18.0×21.0×27cm</p>	



1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度のがん及び生活習慣病対策事業を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催しています。

令和4年度は、札幌と旭川で開催した他、各会場からオンラインで配信もいたしました。両会場で会場参加は21団体36名、Web参加は71団体の参加をいただきました。

9月12日（日） 13：00～16：00 ホテルポールスター札幌 ※ハイブリッド開催	【講演】 「胃がん死撲滅に向けて」 （公財）北海道対がん協会 会長 加藤 元嗣 氏
9月16日（金） 13：15～16：20 旭川市大雪クリスタルホール ※ハイブリッド開催	【講演】 「産婦人科の観点から予防医療を考える」 旭川医科大学産婦人科学講座 教授 加藤 育民 氏
【報告事項】 ※2会場共通 ○北海道からの報告 ・北海道におけるがんと生活習慣病の状況について ○北海道対がん協会からの報告 ・令和5年度 検（健）診の実施計画について ・がん検診の精度管理について	

(2) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントへ参加し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	イベント名	開催地	参加人数	内容
令和4年 10月1日（土）	がん予防普及パネル展	旭川市	247名	パネル展示、胃内視鏡操作体験、パンフレット配布、乳がん触診モデル体験、検診予約コーナー
令和4年 10月26日（水）	札幌市清田区 健康&介護予防フェア	札幌市清田区 保健センター	-	パネル展示、パンフレット・ポケットティッシュ配布等
令和4年 12月19日（月） ～23日（金）	札幌市厚別区 パネル展	札幌市厚別区 厚別区民センター	-	パネル展示、パンフレット・ポケットティッシュ配布等
令和5年 3月4日（土） ～5日（日）	あさひかわ健康まつり	旭川市	-	パネル展示、パンフレット配布、乳がん触診モデル体験、検診予約コーナー

(3) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源として設立した「北海道がん対策基金」において事務局を担い、基金の運営・管理を行っています。

基金に関する詳細は p 115～ p 118を参照してください。

(4) 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

札幌市が平成29年3月に策定した「札幌市がん対策推進プラン」を推進するため、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について普及啓発を実施するために設立した実行委員会において、事務局を担い、事業の実施や進捗の管理を行っています。

(5) がん検診デジタルクーポンプレゼント事業

対象年齢である北海道民に対して、継続してがん検診を受診するきっかけを提供することを目的とし、合計70名（胃がん検診10名、大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診は各15名）に先着順でがん検診デジタルクーポンを発行しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で検診受診者数が減少したことから、本事業のような取組を通じ、検診が不要不急の外出ではないこと、継続受診が重要であることを、道民の皆様に周知してまいります。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントの実施や、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図っています。

令和4年度の活動概要は以下のとおりです。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22(2010)年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動「リボンの願い事業」を行っています。

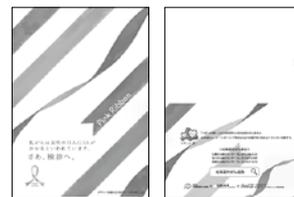
①乳がん検診無料クーポン券プレゼント

満40歳以上で、乳がん検診を受診したことがない、もしくは、前回受診から3年以上受診していない道民に対して、乳がん検診の重要性を伝え、継続して受診するきっかけを提供することを目的として実施しました。

新聞やホームページ、雑誌等で募集し、50名の当選者の方に、札幌・旭川・釧路の各がん検診センターで無料クーポン券を利用していただきました。

②啓発資材の購入・作成

寄付金で作成した、ふせん、バッジ、クリアファイルを活用し、道民の皆様や関係者の皆様に乳がん検診の重要性を呼びかけています。



③寄付金贈呈式

場所：大通ビッセ1階 エントランススペース

内容：北海道コカ・コーラボトリング株式会社から北海道対がん協会へ寄付金の贈呈

北海道対がん協会からピンクリボン活動支援自動販売機設置先様へ感謝状の贈呈

2022年度は、1,995,472円の寄付をいただき、事業開始からの累計金額は、22,551,796円となりました。

【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】

- ・株式会社伊藤園
- ・株式会社エスシー・アベックス
- ・アサヒ飲料株式会社
- ・北海道ベンディング株式会社
- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・イオンディライト株式会社
- ・株式会社アベックス

(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会や各種イベントでの啓発を行っていますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、形態を変更して取り組みました。

【第54回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会との共催で、北海道の後援のもと、令和4年6月10日(金)札幌エルプラザ4階大研修室において、全道から43名の参加者に対し、がんや感染症等に関する講習会を実施しました。

日時：令和4年6月10日(金) 13:00~16:20

場所：札幌エルプラザ4階 大研修室

内容：全体交流会「地域における健康づくりへの取り組み」

講演 「目からウロコ(?)の新型コロナウイルス」

講師 公益財団法人北海道結核予防会 専務理事 中島 保明氏

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度（個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円））を設けております。会員の皆様から頂いた賛助会費は、道民の皆様へのがんに関する正しい知識の普及用教材としてのパンフレット・リーフレット等の作成・配布や、がん検診、がんの研究等に活用させていただきました（賛助会に関する詳細は119ページを参照してください）。

令和4年度の会員数は、個人225人、法人97団体でした。

R4	札幌	旭川	釧路	計
個人	162	51	12	225
法人	54	22	21	97

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシ約126万枚、ハガキ約2万7千枚作製し、市町村に提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を17日間実施し、延べ2,300人が受診しました。

2 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまで延べ9,791件の電話相談に対応しています。令和4（2022）年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 ： 38件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	24
札幌市外	7
不明	7

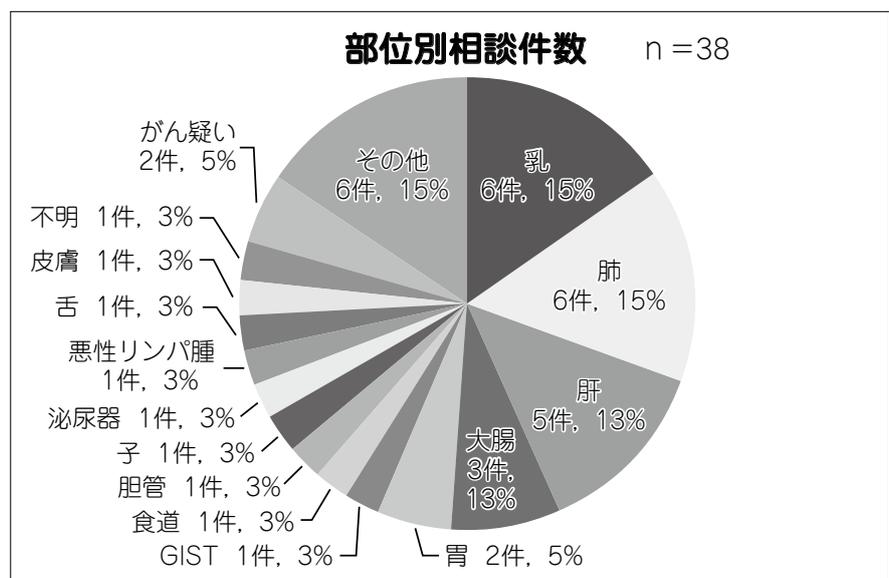
③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	23
家族	14
友人	1

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	0	3	0	0	4	0	7
女性	1	2	1	6	7	10	4	31
総計	1	2	4	6	7	14	4	38

⑤ 相談者のがん部位 ：



※重複した相談もあるため、相談件数と一致しない。

⑥相談内容（重複あり）：

内 容	件数	%
病気・治療内容に関すること	19	50.0
医療への不満・不安に関すること	2	5.2
自覚症状あり不安に関すること	3	7.9
日常生活に関すること	2	5.2
専門病院に関すること	2	5.2
心理的課題に関すること	0	0.0
経済的不安に関すること	1	2.6
その他	10	26.3

（コメント：特記事項）

相談者の属性は、昨年と同じく、本人からの相談が多く6割となっている。

部位別では、乳・肺・肝臓が多かった。乳と肺は例年相談が多い部位である。

相談内容は、例年同様、病気や治療に関することが、多かった。令和4年度は、その他の相談の内容が増え、検診や検診後の精密検査についての相談が目立った。

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそって精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況

■医師

資格名称	人数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器がん検診学会総合認定医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	3
日本消化器内視鏡学会専門医	5
日本消化器病学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	4
日本ヘリコバクター学会 H.Pylori感染症認定医	4
日本内科学会総合内科専門医	3
日本内科学会認定医	5
日本外科学会認定医	1
日本大腸肛門病学会指導医	1
日本消化管学会指導医	2
日本消化管学会専門医	2
日本人間ドック学会認定医	1
日本人間ドック学会健診専門医	1
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	2
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波検査実施・判定医	1
日本乳腺甲状腺超音波医学会 乳房超音波講習会 認定医	1
日本産科婦人科学会専門医	3
日本臨床細胞学会細胞診専門医	3

国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本婦人科腫瘍学会専門医	1
日本医師会認定産業医	5

■診療放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資格名称	人数
胃がん検診専門技師	26
胃がん検診基準撮影法指導員	6
マンモグラフィ撮影技術認定技師	27
乳房超音波講習会履修者	14
超音波検査士（消化器）	2
超音波検査士（体表臓器）	2
超音波検査士（健診）	1
肺がんCT検診認定技師	6
細胞検査士	15
国際細胞検査士	11
健康運動指導士	2
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	1
医療情報技師	2
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	3
認定心電検査技師（日本臨床衛生検査技士会）	1
JHRS認定心電図専門士（日本不整脈心電学会）	1

(2) 学会・研修会活動

■学会所属状況

学会・委員会名	活動状況
日本消化器がん検診学会	学会に所属し、日本の精度管理の中心的存在として活動
日本消化器がん検診学会 北海道支部	幹事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修委員会	委員長と事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動

日本消化器内視鏡学会	学会に所属し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本消化器内視鏡学会 北海道支部	評議員を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
日本消化器病学会	執行評議員、ガイドライン作成委員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本消化器病学会 北海道支部	北海道支部評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化管学会	学術企画委員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本神経消化器病学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本カプセル内視鏡学会	監事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本大腸肛門病学会	評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本大腸検査学会	評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本放射線技術学会 北海道支部	理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
北海道放射線技師会	常務理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
札幌放射線技師会	理事を擁し、札幌市における精度管理の中心的存在として活動
日本乳癌検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入
日本臨床細胞学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
北海道細胞検査士会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動
日本衛生検査技師学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本超音波医学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本超音波検査学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入

日本CT検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の更新を目的に加入
日本医療情報学会	医療画像を始め、医療全般にかかる患者保護や取り扱いの最新の情報を取得するため加入

■論文発表等

掲 載 誌	内 容	報 告 者	
		所 属	氏 名
消化器内視鏡 34(4) : 625-630, 2022 特集 内視鏡データリファレンスブック2022	Helicobacter pylori感染と胃癌	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
消化器内科 4(4) : 6-11, 2022	ピロリ菌感染への年代別対策 特集 ピロリ菌感染症治療の問題点	会長	加藤 元嗣
胃と腸 57(5) : 541, 2022 図説「胃と腸」画像診断用語集2022	敷石状胃粘膜	会長	加藤 元嗣
iScience. 2022 May 30;25(7) : 104477.	Helicobacter pylori genomes reveal Paleolithic human migration to the east end of Asia.	会長	加藤 元嗣
Case Rep Gastroenterol. 2022 May 17;16(2) : 308-312.	Primary Duodenal Adenocarcinoma Expressing Carbonic Anhydrase IX.	会長	加藤 元嗣
Clin Gastroenterol Hepatol. 2022 Jul;20(7) : A23-A24.	Texture and Color Enhancement Imaging with Indigo Carmine Dye Accentuates Slightly Depressed Early Gastric Cancer Lesions.	会長	加藤 元嗣
Intern Med. 2022 Jul 29.	Rabeprazole Coadministration Controls Ulcer Recurrence in Patients on Low-dose Aspirin Therapy: A Multicenter Prospective Study.	会長	加藤 元嗣
Helicobacter Research 26(1) : 48-54, 2022 特集 上部消化管疾患においてH. pylori陽性(現感染)とH. pylori陰性(未感染・除菌後)でどこが違うのか	自己免疫性胃炎におけるH. pylori感染とH. pylori未感染の違い	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
臨床消化器内科 37(7) : 831-836, 2022 連載 「胃炎の京都分類」の使い方	既感染診断の実際 (総論)	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
消化器内科 34(Supp) : 274-5, 2022 特集 胃疾患アトラス 改訂版	好酸性胃炎	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
消化器内視鏡 34(Suppl) : 142-3, 2022 特集 胃疾患アトラス改訂版	胃vanishing tumor 特集 胃疾患アトラス改訂版	会長	加藤 元嗣
HelicobacterResearch vol. 26 no. 2 先端医学社	Helicobacter pylori の感染ルート	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
Helicobacter Research 26(2) : 149-151, 2022	Helicobacter pylori の感染ルート 特集 Helicobacter Year Book 2022	会長	加藤 元嗣
		札幌 内科部長	津田 桃子
消化器疾患 最新の治療2023-2024. P109-112, 2022 山本博徳、瀬戸泰之、吉治仁志編集, 南江堂	慢性胃炎	会長	加藤 元嗣

Helicobacter. 2022 Dec;27(6) : e12933.	Clinical evaluation of a novel molecular diagnosis kit for detecting Helicobacter pylori and clarithromycin-resistant using intragastric fluid.	会長		加藤 元嗣
		札幌	内科部長	津田 桃子
胃と腸 58(1) : 37-42, 2023 特集 Non-H. pylori helicobacter胃炎と周辺疾患	NHPH胃炎の感染診断と除菌	会長		加藤 元嗣
		札幌	所長	江原 亮子
			内科部長	津田 桃子
主任医長	河原崎 暢			
日本ヘリコバクター学会誌 24(2) : 151-153, 2023	胃廃液を用いたH. pylori遺伝子検査	会長		加藤 元嗣
		札幌	内科部長	津田 桃子
胃と腸 58(1) : 53-60, 2023	NHPH胃炎および関連疾患の内視鏡所見 特集 Non-H. pylori helicobacter胃炎と周辺疾患	会長		加藤 元嗣
		札幌	内科部長	津田 桃子
最新ガイドラインに基づく消化器疾患診療指針2023-24. p168-168, 2023, 中島 淳編集, 総合医学社	胃がん検診のガイドライン	会長		加藤 元嗣
		札幌	内科部長	津田 桃子
J Gastroenterol Hepatol. J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jan;38(1) : 79-86.	Linked color imaging provides enhanced visibility with a high color difference in upper gastrointestinal neoplasms.	会長		加藤 元嗣
		札幌	内科部長	津田 桃子
総合診療のエビデンスをぎゅうっとまとめました メジカルビュー社	下剤の使い分けアルゴリズムはこれだ	札幌	内科部長	津田 桃子

■学会発表（医師）

日時	学会名	演題	発表者			開催地
			所属	氏名		
5/13 ~15	第103回日本消化器内視鏡学会総会	一般演題 口演50 リスク管理 2	札幌	内科部長	津田 桃子	京都府 京都市
6/11	第61回日本消化器がん検診学会総会	消化管内視鏡スクリーニング 認定医制度について	会長		加藤 元嗣	WEB
6/15	日中消化器内視鏡診療学術交流会 第1回	胃炎の京都分類を正しく理解する	会長		加藤 元嗣	WEB
6/24 ~25	第28回日本ヘリコバクター学会学術集会	H. pylori感染を合併した自己 免疫性胃炎の特徴	会長		加藤 元嗣	兵庫県 西宮市
		クラリスロマイシン耐性 H. pyloriの新しい簡易迅速法と 除菌療法への有用性	会長		加藤 元嗣	
		Clinical evaluation of H. pylori molecular diagnosis POCT kit based on Qprobe using gastric juice	札幌	内科部長	津田 桃子	
		胃癌予防として取り組んでいる 当院ピロリ検診の成績	札幌	内科部長	津田 桃子	
8/26	日中消化器内視鏡診療学術交流会 第2回	胃炎の京都分類改訂版 H. pylori 以外の胃炎	会長		加藤 元嗣	WEB
9/17	第5回日本腫瘍循環器学会学術集会	がん関連血栓症に挑むバイオマ ーカーアプローチ	会長		加藤 元嗣	東京都 港区

9/24 ~25	第131回日本消化器病学会北海道支部例会・第125回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	世界に挑戦する日本の内視鏡AI		会長	加藤 元嗣	北海道 札幌市
		経鼻内視鏡の現在・過去・未来		会長	加藤 元嗣	
9/24	第3回北京第三病院消化器医療連合体学会	Linked color imaging further improves neoplasm detection in the upper GI tract (LCI针对上消化道肿瘤检出的临床价值)		会長	加藤 元嗣	WEB
10/27 ~30	JDDW2022	自己免疫性胃炎H.pylori合併胃炎の特徴	札幌	内科部長	津田 桃子	福岡県 福岡市
		慢性便秘患者のQOLと便秘関連症状の検討	札幌	内科部長	津田 桃子	
12/17	第2回慢性便秘エコー研究会	エコーを用いた高齢者の便秘アセスメント	札幌	内科部長	津田 桃子	東京都 港区
12/20	日中消化器内視鏡診療学術交流会第3回	H. pylori感染状態を考慮した早期胃癌の検出		会長	加藤 元嗣	WEB
2/3 ~4	第19回日本消化管学会	直腸超音波検査によって慢性便秘症の病態分類が可能か	札幌	内科部長	津田 桃子	東京都 新宿区
2/11	第5回日本大腸検査学会北海道支部例会	パネルディスカッション1	札幌	内科部長	津田 桃子	北海道 札幌市
3/6	第132回日本消化器病学会北海道支部例会・第126回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	一般演題 胃・十二指腸1	札幌	内科部長	津田 桃子	北海道 札幌市

■学会発表（保健師、診療放射線技師、臨床検査技師）

日時	学会名	演題	発表者			開催地
			所属	氏名		
4/23 ~24	日本放射線技術学会 北海道支部 第78回春季学術大会 (ハイブリット開催)	消化管&超音波専門委員会 セミナー 『見つけようスキルス胃癌～胃X線検診編』	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	北海道 札幌市
10/15 ~16	第31回日本婦人科がん検診学会	20代の子宮頸がん検診の開始年齢 や検診方法についての検討	札幌	検査科	岸田 佳倫	神奈川県 横浜市
		子宮頸がんスクリーニングとしての 自己採取（尿）検体を用いた hrHPV検査の可能性	札幌	検査科	高橋 栞奈	
10/22	第74回北海道公衆衛生学会	胃がん撲滅に向けた胃がん検診検診の 効果的実施に関する検討～胃内視鏡による 検診状況と今後の体制について～	札幌	巡回検診課	久保 史華 他5名	北海道 札幌市
11/5 ~6	第61回日本臨床細胞学会秋期大会	20代子宮頸がんスクリーニングとしての HPV検査の意義	札幌	検査科	岸田 佳倫	宮城県 仙台市
		自己採取（尿検体）HPV検査を用いた 子宮頸癌スクリーニングの可能性 （優秀演題賞獲得）	札幌	検査科	高橋 栞奈	
12/4	第42回北海道臨床細胞学会総会並びに 学術集会	子宮頸がん検診の開始年齢などに関する 検討	札幌	検査科	岸田 佳倫	北海道 札幌市
		子宮頸がん検診における腺異常判定 （AGC-N/AGC-F/AIS/ADC）について	札幌	検査科	高橋 栞奈	

3/11	第48回放射線研修委員会研修会 (WEB) (令和4年度生活習慣病検診従事 者指導講習会)	胃X線検査におけるH.pylori感染 診断について～放射線技師間の正 診率の検討～	札幌	放射線技術部	源 若菜	北海道 札幌市
		パネルディスカッション「読影補 助認定技士からの施設紹介」～実 運用を知り、今後の課題を考える	札幌	放射線技術部	中川 栄志	

■研修会参加（医師）

日時	研修会名	主催	参加者			開催地
			所属	氏名		
4/14 ～16	第122回日本外科学会定期学術集会	日本外科学会	札幌	外科部長	池田 由加利	熊本県 熊本市
4/15 ～17	第119回日本内科学会総会	日本内科学会	旭川	副所長	野村 好紀	神奈川県 横浜市
4/21 ～23	第108回日本消化器病学会総会	日本消化器病学会	会長		加藤 元嗣	東京都 新宿区
			札幌	内科部長	津田 桃子	
5/20 ～22	日本超音波医学会第95回学術集会	日本超音波医学会	札幌	内科部長	津田 桃子	愛知県 名古屋市
6/10 ～12	第61回日本消化器がん検診学会総会	日本消化器がん検診	会長		加藤 元嗣	WEB
			センター長		松浦 邦彦	
			札幌	内科部長	津田 桃子	
			旭川	副所長	野村 好紀	
6/10 ～12	第63回日本臨床細胞学会総会春期大会	日本臨床細胞学会	細胞診センター 医師		藤田 博正	東京都 港区
			旭川	医師	笠茂 光範	
6/24 ～26	第28回日本ヘリコバクター学会学術集会	日本ヘリコバクター 学会	会長		加藤 元嗣	兵庫県 西宮市
			札幌	所長	江原 亮子	
			旭川	副所長	野村 好紀	
6/30 ～ 7/2	第30回日本乳癌学会	日本乳癌学会	旭川	所長	菅野 普子	神奈川県 横浜市
7/2	第51回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	日本消化器がん検診 学会 北海道支部	センター長		松浦 邦彦	WEB
7/14 ～16	第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	日本婦人科腫瘍学会	細胞診センター 所長		岡元 一平	福岡県 久留米市
8/5 ～7	第74回日本産科婦人科学会学術講演会	日本産科婦人科学会	旭川	医師	笠茂 光範	福岡県 福岡市
9/2 ～3	第63回日本人間ドック学会学術大会	日本人間ドック学会	札幌	内科部長	津田 桃子	千葉県 千葉市
9/8 ～9	第24回日本神経消化器病学会	日本神経消化器病学 会	会長		加藤 元嗣	北海道 旭川市
			札幌	内科部長	津田 桃子	
9/17	第5回日本腫瘍循環器病学会学術集会	日本腫瘍循環器病学 会	会長		加藤 元嗣	WEB

9/24 ~25	第131回日本消化器病学会北海道支部例会 第125回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	日本消化器病学会 北海道支部 日本消化器内視鏡学会 北海道支部	札幌	内科部長	津田 桃子	北海道 札幌市
10/14 ~15	第77回日本大腸肛門病学会学術集会	日本大腸肛門病学会	会長		加藤 元嗣	千葉県・ 千葉市/ WEB
			札幌	内科部長	津田 桃子	
10/15 ~16	第31回日本婦人科がん検診学会総会	日本婦人科がん検診学会	細胞診センター 所長		岡元 一平	神奈川県 横浜市
			細胞診センター 医師		藤田 博正	
10/27 ~30	JDDW2022	日本消化器関連学会 機構	会長		加藤 元嗣	福岡県 福岡市
			札幌	所長	江原 亮子	
			札幌	主任医長	河原崎 暢	
			旭川	副所長	野村 好紀	
11/5 ~6	第61回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	細胞診センター 所長		岡元 一平	宮城県 仙台市
			旭川	医師	笠茂 光範	
11/11 ~12	第32回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	札幌	外科部長	池田由加利	静岡県 浜松市
			旭川	所長	菅野 普子	
2/3 ~5	GIWeek2023	日本消化器関連学会 機構	会長		加藤 元嗣	東京都 新宿区
2/23 ~25	第95回胃癌学会総会	胃癌学会	会長		加藤 元嗣	北海道 札幌市

■研修会参加（保健師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師）

日時	研修会名	主催	参加者		開催地	
			所属	氏名		
4/2	第19回超音波研修会	日本消化器がん検診学会	旭川	検査科	倉兼 俊之	WEB
					相馬 尚実	
					石坂 結夏	
4/23	日本放射線技術学会北海道支部 第78回春季学術大会	日本放射線技術学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	WEB
					松井 麻未	
5/7	検診マンモグラフィ撮影技術認定更新講習会	日本乳がん検診精度 管理中央機構	旭川	放射線科	細川 肇	北海道 札幌市
					西田 大	
					竹村 真美	
5/13 ~14	第88回日本消化器内視鏡技師学会	日本消化器内視鏡技師学会	旭川	看護科	加藤 智子	京都府 京都市
					佐藤 和美	
5/21	ニューテクノロジー研究会 第300回記念大会	ニューテクノロジー研究会	札幌	放射線技術部	山本 仁史 他10名	ハイブ リット 開催

6/10 ~13	第1回みなとみらいフォーラム2022	栄研化学	釧路	検査科	和泉 東子	WEB
					三浦 務	
					甲原 萌菜	
6/10 ~ 7/10	第63回日本臨床細胞学会春期大会	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	和泉 東子	WEB
					三浦 務	
			旭川	検査科	中山 仁	WEB
					石山 好人	
村上 奈緒						
6/18	第75回北海道放射線技師会学術講演会	北海道放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	北海道 札幌市
6/24 ~27	第2回みなとみらいフォーラム2022	栄研化学	釧路	検査科	和泉 東子	WEB
					三浦 務	
					甲原 萌菜	
7/2	第51回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	日本消化器がん検診 学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	福原 健司 他10名	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他7名	WEB
7/22	第221回北臨技講習会 病理細胞部門	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
7/22	第51回北海道地方会	一般社団法人社団 日本消化器がん検診 学会	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
					岡田茉佑香	
7/22	第54回北海道ヘリカルCT研究会	北海道ヘリカルCT 研究会	釧路	放射線科	南川 浩二	WEB
			札幌	放射線技術部	樋口 洋平 福原 健司	WEB
7/23	北海道消化器内視鏡技師会in室蘭 機器取り扱い講習	北海道消化器内視鏡 技師会	旭川	看護科	板谷小夜子	北海道 室蘭市
7/24	富士フィルムメディカルセミナー2022	富士フィルム	旭川	放射線科	山本 智美	WEB
					岸 あゆみ	
					松本 景子	
8/9	令和4年度結核予防技術者北海道地区講習会	北海道	札幌	放射線技術部	山本 仁史	WEB
					鈴木 康雄	
8/10	第82回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	倉兼 俊之	WEB
8/22	夏期セミナー2022	日本CT検診学会	釧路	放射線科	南川 浩二	WEB
8/27	第6回東北消化管造影懇話会	岩手県診療放射線技 師会	札幌	放射線技術部	寺田 武司	WEB

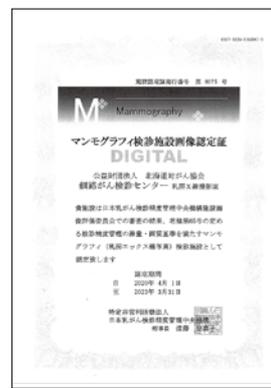
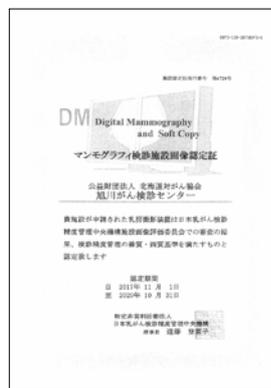
9/10	第9回北海道ブートキャンプ 腹部超音波研修会	北海道ブートキャン プ 腹部超音波研究会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	WEB
			旭川	放射線科	西田 大	WEB
					山本 智美	
					松本 景子	
旭川	検査科	倉兼 俊之	WEB			
		相馬 尚実				
		石坂 結夏				
		平森 裕樹				
9/10	第51回日本消化器がん検診学会 九州地方会	日本消化器がん検診 学会 九州支部	札幌	放射線技術部	宮腰 紗和	WEB
9/10	第13回東北CT技術研究会	東北CT技術研究会	旭川	放射線科	細川 肇	WEB
10/2	2022年度細胞検査士試験 1次模擬試験	北海道細胞検査士会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
10/4	第22回胃X線検査を楽しく学ぶ会	胃X線検査を楽しく 学ぶ会	札幌	放射線技術部	山本 仁史	WEB
10/9	第7回胃がん検診専門技師研修会	日本消化器がん検診 学会	札幌	放射線技術部	山本 仁史	WEB
					鈴木 康雄	
					中川 栄志	
			旭川	放射線科	細川 肇	WEB
					弓野 彰子	
西田 大						
戸澤 麻未						
山本 智美						
10/15 ~16	第31回日本婦人科がん検診学会	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	岸田 佳倫 高橋 栞奈	神奈川県 横浜市
10/23	2022年度日本診療放射線技師会 北海道地域学術大会	日本診療放射線技師 会 北海道支部	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	北海道 札幌市
10/23	第7回胃がん検診専門技師研修会	一般社団法人社団 日本消化器がん検診 学会	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
10/29	第55回細胞検査士資格認定試験 1次試験	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	甲原 萌菜	大阪府 大阪市
10/30 ~ 12/16	第60回消化器がん検診学会大会JDDW2022	日本消化器がん検診 学会	札幌	放射線技術部	山田 裕加 他10名	WEB
11/5 ~6	第61回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	岸田 佳倫	宮城県 仙台市
					高橋 栞奈	
11/11 ~12	第32回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	札幌	放射線技術部	久野 愛子	WEB
					瀬野尾勤子	

11/13 ~14	第78回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	WEB
					寺田 武司	
					松井 麻未	
11/24 ~26	カテーテルアブレーション関連秋季大会2022	日本不整脈心電学会	旭川	検査科	石坂 結夏	新潟県 新潟市
11/26 ~27	検診マンモグラフィ撮影技術認定講習会	日本乳がん検診精度 管理 中央機構	旭川	放射線科	飯澤 由紀	北海道 札幌市
					眞田 育子	
12/3	第18回山口CTテクノロジーセミナー	山口CTテクノロジー セミナー	旭川	放射線科	細川 肇	WEB
12/4	第42回北海道臨床細胞学会総会 並びに学術集会	北海道臨床細胞学会	札幌	検査科	岸田 佳倫 他7名	北海道 札幌市
12/17	第2回慢性便秘エコー研究会	慢性便秘診断・治療 研究会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	WEB
1/19	乳腺超音波検査技師研修会	札幌市医師会	札幌	放射線技術部	森田 瞳 他13名	WEB
1/21	北海道消化器内視鏡技師会Winter Seminar	北海道消化器内視鏡 技師会	旭川	看護科	加藤 智子	北海道 札幌市
					佐藤 和美	
					板谷小夜子	WEB
1/24	マンモグラフィ撮影技師研修会	札幌市医師会	札幌	放射線技術部	廣田恵理果 他13名	WEB
2/11	第49回北臨技基礎セミナー 一般検査部門	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	三浦 務	WEB
2/17 ~18	第30回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	WEB
2/18	第228回北臨技講習会 生理機能部門	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	三浦 務	WEB
					甲原 萌菜	
2/23	第30回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	釧路	放射線科	南川 浩二	WEB
3/11	第48回放射線研修委員会研修会（令和4年度 生活習慣病検診従事者指導講習会）	日本消化器がん検診 学会 北海道支部 北海道保健福祉部健 康安全局共催	札幌	放射線技術部	鈴木 康雄 他15名	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他10名	WEB
3/12	第18回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診 学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	鈴木 康雄 他15名	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他10名	WEB
3/12	第32回細胞診従事者講習会	北海道臨床細胞学会 北海道細胞検査士会	旭川	検査科	中山 仁	北海道 札幌市
3/18	乳腺超音波講習会	日本乳がん検診精度 管理中央機構	旭川	放射線科	竹内 佑衣	東京都
3/22 ~24	令和4年度診療放射線技師研修会	日本対がん協会 結核予防会	旭川	放射線科	飯澤 由紀	WEB
			札幌	放射線技術部	齊藤千菜渚 黒田さとみ	WEB

3/23	第48回放射線研修委員会研修会	一般社団法人 日本消化器がん検診 学会北海道支部	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
3/23	第18回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	一般社団法人 日本消化器がん検診 学会北海道支部	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
3/28 ～ 4/8	第83回ワークショップ	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	倉兼 俊之	WEB
					中山 仁	
					平森 裕樹	

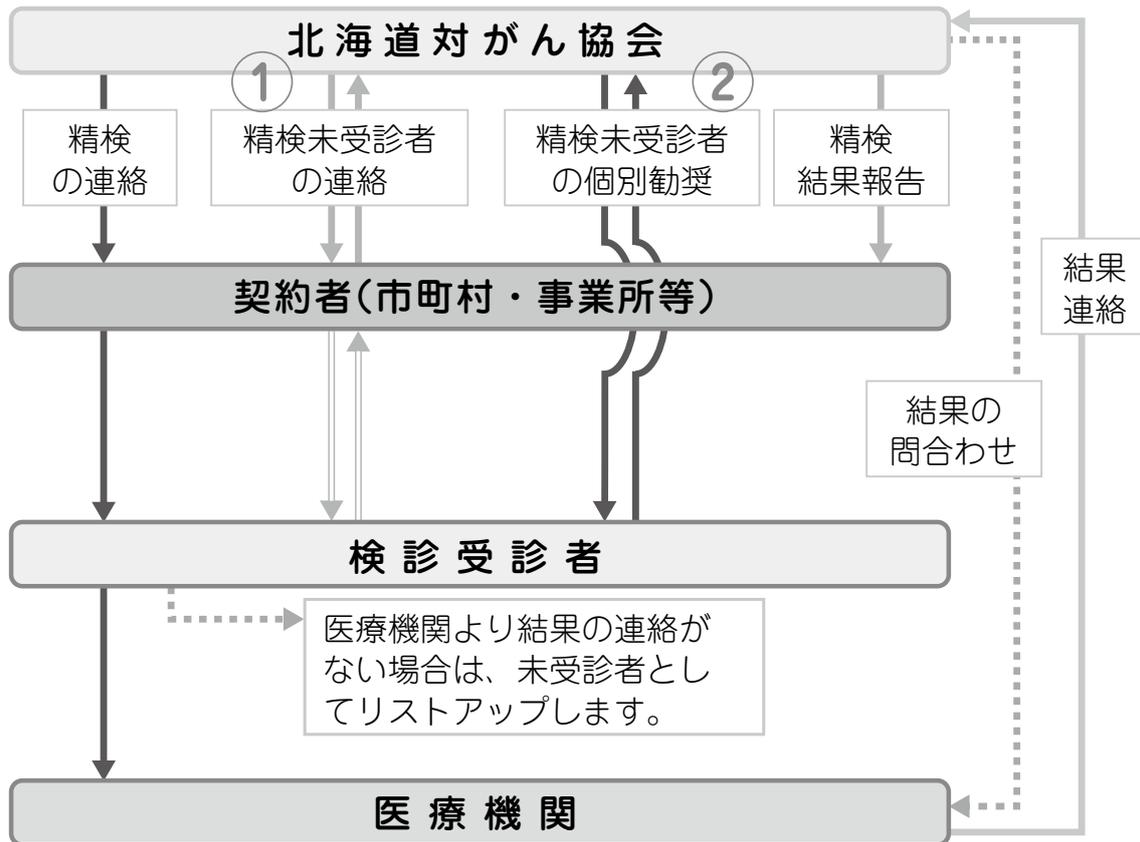
3-3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診・画像認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 臨床検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胸部X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胃X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 腹部超音波検査分野（A評価）



4 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

5 安全管理体制

医療安全管理指針を定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

6 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	初年度登録 (購入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考	
				北海道	団 体	自 己 資 金		
胃 肺 検 診 車	1	しらかば 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	2	〃 120号	H15. 5	22,659			22,659	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	3	〃 122号	(H18. 1)	30,030			30,030	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	4	〃 123号	(H26. 7)	29,568			29,568	胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	5	〃 164号	(R 2. 9)	15,353	15,000		353	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	6	〃 165号	(R 2. 9)	25,796	25,000		796	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	7	〃 166号	(R 2. 9)	35,702	30,000		5,702	胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	8	〃 167号	(R 4. 3)	39,400	39,000		400	胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	9	〃 168号	(R 4.11)	44,660	35,000		9,660	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	10	〃 169号	(R 4.11)	44,000	35,000		9,000	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	11	〃 170号	(R 5. 5)	51,000	40,000		11,000	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	12	〃 201号	H13.12	60,900	宝くじ協会 56,700		4,200	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	13	〃 202号	H14.12	62,790		宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	14	〃 203号	H21. 2	91,140		宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12時 I I X線 T V車
	15	〃 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	16	〃 205号	H29. 3	69,660		宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	17	〃 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13時 I I X線 T V車
	18	〃 207号	H30. 2	69,876		J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	19	〃 208号	H31. 2	69,066	69,066			胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	20	〃 209号	R 2. 6	73,700	67,000		6,700	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
	21	〃 210号	R 5.10	80,300		J K A 31,000	49,300	胃、肺併用車 F P D X線 T V車
胸部車	1	しらかば 152号	(H31. 4)	21,178	20,000		1,178	F P D胸部車
婦人科車	1	しらゆり 6号	R 1. 8	48,330			48,330	超音波診断装置搭載
	2	しらゆり 7号	(R 1.12)	8,580			8,580	超音波診断装置搭載
	3	しらゆり 8号	(R 5. 5)	32,000	30,000		2,000	超音波診断装置搭載
乳房検診車	1	すずらん 5号	H24. 2	65,520		J K A 11,550	53,970	乳房 X線装置 (S M G 対応)
	2	〃 6号	(H29. 4)	44,928			44,928	乳房 X線装置 (S M G 対応)
	3	〃 7号	H30. 3	69,940	69,940			乳房 X線装置 (S M G 対応) 超音波診断装置搭載
送 迎 用 バ ス	1	はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2	はまなす 2号	R 5.10	19,250			19,250	受診者送迎車
	3	はまなす 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4	はまなす 4号	(H29. 4)	3,520			3,520	受診者送迎車
	5	はまなす 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

(令和6年3月現在)

7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助成機関	助成対象				年度計
		検診車	センター建設	センター設備	基本財産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
	町補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
63	一般寄付		54,240,952	81,706,454		
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		4,750,000
2	日本宝くじ協会	55,620,000				
	日本自転車振興会	21,630,000				77,250,000
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			169,318,723
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
28	日本宝くじ協会	69,660,000				69,660,000
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000		110,840,000
30	北海道補助	70,000,000		10,000,000		80,000,000
元	北海道補助			10,193,000		10,193,000
2	北海道補助	140,000,000		10,800,000		150,800,000
3	北海道補助	70,000,000		10,800,000		80,800,000
4	北海道補助	70,000,000		10,800,000		80,800,000
5	J K A	31,000,000				
	北海道補助	70,000,000		9,573,000		110,573,000
累計		2,065,507,000	2,197,276,231	854,983,338	528,699	5,118,295,268

(令和6年3月現在)

8 研究等事業

年度	事業名	業務概要
平成25年度～	乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験（J-START）	乳がん検診における超音波検査（エコー検査）の有効性に関する研究。
令和元年度～	北海道広域でのHPV自己採取検査に関する研究	子宮頸がん検診受診率向上のための有効な手段として、適切な運用方針の作成、有効性に関するエビデンスの確立を目的として、自己採取法によるHPV-DNA検査の有効性を検証する。
令和2年度～	間質性肺炎を検出するAIソフトウェアによる健診読影試験	検診センターの受診者の胸部X線画像をAIに読影させることで、AIソフトウェアがどの程度で間質性肺異常を検出できるかを評価すると同時に、間質性肺異常を持つ人の全人口に対する割合を推定する。
令和4年度～	ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の実態調査	杏林大学医学部を共同研究者として、ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の感染率、関連疾患、内視鏡像の解明を行う。
令和4年度～	上部消化管内視鏡検査対象者から得られた胃壁拭い液検体に対するヘリコバクターピロリ抗原キットの診断法適用に関する観察研究	浜松医科大学医学部を共同研究者として、ヘリコバクターピロリ抗原キットの胃壁拭い液検体中のヘリコバクターピロリ抗原の検出がヘリコバクターピロリ感染症診断の補助として有効かを検証する。
令和4年度～	液体生検による消化器がん検診分子マーカーの探索	旭川医科大学を共同研究者として、液体生検による新たな消化器疾患の検診法確立と分子生物学的マーカーの消化器疾患に有用であることを証明する。
令和4年度～	全大腸内視鏡検査前処置における、クエン酸マグネシウム等張液の当日法と分割法の受容性及び効果についての検討	淳風会倉敷クリニックを共同研究者として大腸内視鏡検査の前処置において、腸管洗浄液の最適使用法を検討する。

※令和4年度中に進行中（協力期間）であった事業について記載

Ⅲ 檢（健）診部門

1 令和4年度 検（健）診受診者数

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	巡回検診		65,884	35,608	20,386	9,890
	施設検診		18,347	9,524	5,799	3,024
	計		84,231	45,132	26,185	12,914
子 宮 が ん	巡回検診		21,041	10,187	7,459	3,395
	施設検診		32,548	18,374	10,665	3,509
	計		53,589	28,561	18,124	6,904
乳 が ん	巡回検診		24,022	11,616	8,564	3,842
	施設検診		37,422	21,184	12,440	3,798
	計		61,444	32,800	21,004	7,640
肺 が ん	巡回検診		81,526	47,369	21,777	12,380
	施設検診		24,366	13,432	7,619	3,315
	計		105,892	60,801	29,396	15,695
大 腸 が ん	巡回検診		82,095	47,152	23,324	11,619
	施設検診		41,118	23,626	11,510	5,982
	計		123,213	70,778	34,834	17,601
前立腺がん	巡回検診		12,232	5,591	3,844	2,797
	施設検診		5,214	2,938	1,496	780
	計		17,446	8,529	5,340	3,577
特定健康診査	巡回検診		47,331	22,938	15,714	8,679
	施設検診		12,267	7,018	4,000	1,249
	計		59,598	29,956	19,714	9,928
定期健康診断	巡回検診		44,653	39,206	2,917	2,530
	施設検診		11,521	6,538	2,429	2,554
	計		56,174	45,744	5,346	5,084
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	巡回検診		1,889	952	704	233
	施設検診		10,022	5,742	2,520	1,760
	計		11,911	6,694	3,224	1,993
人間ドック	巡回検診		145	-	145	-
	施設検診		2,810	1,679	821	310
	計		2,955	1,679	966	310
骨 検 診	巡回検診		2,199	1,268	776	155
	施設検診		5,225	3,359	1,486	380
	計		7,424	4,627	2,262	535
超音波検査	婦人科	巡回検診	17,383	7,298	7,234	2,851
		施設検診	29,834	16,376	10,222	3,236
		計	47,217	23,674	17,456	6,087
	腹部	巡回検診	254	-	254	-
		施設検診	3,883	2,918	569	396
		計	4,137	2,918	823	396
合 計	巡回検診		400,654	229,185	113,098	58,371
	施設検診		234,577	132,708	71,576	30,293
	合 計		635,231	361,893	184,674	88,664

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 がん検診の成績

胃がん検診

《胃部エックス線検査》

令和4年度は、19台の検診車で145市町村¹⁾を延2,096日間²⁾巡回したほか、93事業所³⁾に延300日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、91名（令和6年2月1日現在）のがんを発見した。

1) 札幌72・旭川52・釧路21市町村 2) 札幌1,106・旭川585・釧路405日間 3) 札幌29・旭川44・釧路20事業所 4) 札幌99・旭川147・釧路54日間

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	61,724	30,060	20,431	11,233	13,325	5,520	5,029	2,776	48,399	24,540	15,402	8,457
事業所 ⁶⁾	11,839	4,786	5,537	1,516	1,555	656	677	222	10,284	4,130	4,860	1,294
個人	752	694	31	27	737	680	31	26	15	14	0	1
合計	74,315	35,540	25,999	12,776	15,617	6,856	5,737	3,024	58,698	28,684	20,262	9,752

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの

【受診者数の状況】

受診総数74,315名で、施設検診15,617名（21.0%）、巡回検診58,698名（78.9%）であった。総数は、前年より4,060名増加し（前年比+5.77%）、施設検診で416名の減少（前年比-2.59%）だったが、巡回検診で4,476名の増加（前年比8.25%）であった。実施主体別では、市町村主体で3,193名、事業所検診574名、個人受診で293名の増加が見られた。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は3,152名で、要精検率は4.2%であった。精検受診数は2,713名、精検受診率は86.1%で、前年度より1.9ポイントの上昇がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性5.2%、女性3.3%で男性が高い。精検受診率は男性82.7%、女性91.0%であり、前年度と比較して男女とも増加が見られた。（表4）。

【発見がんについて】

令和4年度の胃がん発見数は91名で、がん発見率は0.12%であった。男女別では、男性61名（0.17%）、女性30名（0.08%）であった。（表6）。

受診歴別では、1年前受診が最も多く（36名）、次いで初回受診（31名）、2年前受診（20名）の順に多い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、令和3年度のがん80名のうち、手術施行者は75名であった。手術結果の内訳は早期がん60名（80.0%）、進行がん14名（18.7%）であり、早期がんが全体の80.0%を占めている（表8）。

《胃内視鏡検査》

がん予防重点健教育及びがん検診実施のための指針の一部改正（H28.2.4）で、検診項目に、胃内視鏡検査が追加され、令和元年度より導入する自治体が増えた。また、事業所健診や個人受診者数も増加している。（表1～3）

	合計	(内 訳)		
		札幌	旭川	釧路
市町村 ¹⁾	2,762	2,665	62	35
事業所	3,889	1,950	1,434	505
個人	273	201	50	22
合計	6,924	4,816	1,546	562

1) 札幌13 旭川9 釧路2（総合健診や人間ドックとしての契約）

【受診者数の状況】

受診総数は、6,924名となっており、前年より572名増加した（前年比9.0%）。実施主体別では、市町村主体で446名、事業所検診122名増加した。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は398名で要精検率は5.75%、精検受診率は100%であった（表2）。男女別の要精検率は男性6.4%、女性5.1%で男性が高い（表3）。

【発見がんについて】

令和4年度の胃内視鏡検査受診者の胃がん発見数は18名で、がん発見率は0.26%であった。男女別では、男性12名（0.36%）、女性6名（0.17%）であった。（表3）。

○まとめ○

胃部エックス線検査は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、受診者数が大幅に減少した時期があった。令和3年度から増加しており、令和4年度も前年度に比較して増加している。新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着きつつあるため、がん検診の受診者が戻ってきていると考えられる。

胃内視鏡検査のがん発見率は、胃部エックス線検査に比べて高い水準となっており、導入する自治体や事業所が年々増加し、受診者数も増加している。札幌センターでは、胃内視鏡検査を3診制から4診制にして、受診者や市町村、事業所のニーズに対応できるよう体制を整備している。

しかし、北海道の広域性や医師の地域偏在の状況から、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えられることから、安全面に最大限の配慮をしながら、質の高いエックス線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していく。

要精検者に関しては、男女とも精検受診率が前年度より増加していた。現在、胃がんは、男性のがん死亡数において第3位、女性のがん死亡数で第5位となっており、胃がんの早期発見が重要である。要精検となった場合に確実に精密検査を受ける事は、胃がんの早期発見につながる。今後も精検受診率が上昇するよう受診勧奨等の働きかけをしていく。また、新たな自治体検診や職場健診の開設で、積極的に検診の場を提供する事も早期発見にとって重要な事である。今後も検診の場の提供と受診行動を起こすための働きかけを実施していく事が不可欠である。

（保健師 勝藤 瞳）

胃部エックス線検査

表1 胃がん検診（X線検査）実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～令和4年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	精検結果内訳							
						胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
S38～H29	8,161,782	866,391	10.6	764,033	88.2	12,280	65,182	56,684	97,586	12,850	211,696	32,510	271,116
H30	97,347	4,559	4.7	4,054	88.9	159	397	88	279	30	2,147	660	297
R元	82,057	3,760	4.6	3,270	87.0	126	256	73	236	26	1,638	676	225
R2	68,246	2,618	3.8	2,231	85.2	87	180	49	200	15	1,043	489	157
R3	70,255	2,830	4.0	2,382	84.2	80	201	51	190	9	1,162	525	164
R4	74,315	3,152	4.2	2,713	86.1	91	264	42	226	18	1,618	251	203
合計	8,554,002	883,310	10.3	778,683	88.2	12,823	66,480	56,987	98,717	12,948	219,304	35,111	272,162

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～令和4年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S38～H29	8,161,782	956,466	7,205,316	12,280	0.15	1,263	0.13	11,017	0.15	1.42
H30	97,347	24,304	73,043	159	0.16	38	0.16	121	0.17	3.49
R元	82,057	18,464	63,593	126	0.15	15	0.08	111	0.17	3.35
R2	68,246	14,564	53,682	87	0.13	18	0.12	69	0.13	3.32
R3	70,255	16,033	54,222	80	0.11	11	0.07	69	0.13	2.83
R4	74,315	15,617	58,698	91	0.12	17	0.11	74	0.13	2.89
合計	8,554,002	1,045,448	7,508,554	12,823	0.15	1,362	0.13	11,461	0.15	1.45

国の指標値（許容値）

0.11%以上

1.0%以上

表3 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	35,540	6,856	28,684	1,296	3.6	170	2.5	1,126	3.9	1,131	87.3	34	0.10	3	0.04	31	0.11	2.62
旭川	25,999	5,737	20,262	1,488	5.7	273	4.8	1,215	6.0	1,257	84.5	35	0.13	11	0.19	24	0.12	2.35
釧路	12,776	3,024	9,752	368	2.9	75	2.5	293	3.0	325	88.3	22	0.17	3	0.10	19	0.19	5.98
合計	74,315	15,617	58,698	3,152	4.2	518	3.3	2,634	4.5	2,713	86.1	91	0.12	17	0.11	74	0.13	2.89

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70%以上

0.11%以上

1.0%以上

表4 胃がん検診（X線検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和4年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,400	30	22	0	1	0	0	0	12	6	3
	女	1,021	15	13	0	2	0	0	0	5	1	5
	計	2,421	45	35	0	3	0	0	0	17	7	8
40～44	男	2,818	59	46	0	2	0	1	2	31	4	6
	女	2,374	28	21	0	2	0	0	1	13	0	5
	計	5,192	87	67	0	4	0	1	3	44	4	11
45～49	男	3,470	82	67	1	3	0	3	0	45	10	5
	女	2,752	47	40	0	9	0	1	0	25	5	0
	計	6,222	129	107	1	12	0	4	0	70	15	5
50～54	男	3,627	107	79	2	3	0	8	3	45	9	9
	女	3,361	50	45	1	11	0	1	0	26	4	2
	計	6,988	157	124	3	14	0	9	3	71	13	11
55～59	男	2,515	107	76	3	5	4	6	2	43	7	6
	女	3,349	80	72	2	13	0	4	0	40	9	4
	計	5,864	187	148	5	18	4	10	2	83	16	10
60～64	男	3,139	166	127	1	12	4	13	2	82	11	2
	女	4,472	140	124	2	19	1	9	1	73	12	7
	計	7,611	306	251	3	31	5	22	3	155	23	9
65～69	男	4,891	303	245	9	15	4	33	0	142	22	20
	女	5,938	205	185	2	17	6	18	0	121	11	10
	計	10,829	508	430	11	32	10	51	0	263	33	30
70～74	男	6,582	502	422	22	30	7	54	2	246	35	26
	女	7,800	357	331	10	34	2	21	3	204	27	30
	計	14,382	859	753	32	64	9	75	5	450	62	56
75～79	男	4,153	318	286	14	19	7	27	1	163	31	24
	女	4,785	235	225	6	27	2	8	1	144	18	19
	計	8,938	553	511	20	46	9	35	2	307	49	43
80～	男	3,165	196	176	9	20	5	14	0	105	15	8
	女	2,703	125	111	7	20	0	5	0	53	14	12
	計	5,868	321	287	16	40	5	19	0	158	29	20
合計	男	35,760	1,870	1,546	61	110	31	159	12	914	150	109
	女	38,555	1,282	1,167	30	154	11	67	6	704	101	94
	計	74,315	3,152	2,713	91	264	42	226	18	1,618	251	203

表5 胃がん検診（X線検査）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～令和3年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	61,985	9	0.01
30～39	820,752	224	0.03
40～49	2,087,300	1,055	0.05
50～59	2,168,384	2,241	0.10
60～69	2,146,529	4,703	0.22
70～	1,194,571	4,345	0.36
年齢不詳	166	0	0.00
合計	8,479,687	12,577	0.15

※10歳階級表

表6 胃がん検診（X線検査）性・年齢別受診者数と発見がん数（令和4年度）

年 齢	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	74	48	26	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	566	365	201	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	1,781	987	794	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	5,192	2,818	2,374	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	6,222	3,470	2,752	1	1	0	0.03	0.03	0.00
50～54	6,988	3,627	3,361	3	2	1	0.08	0.06	2.00
55～59	5,864	2,515	3,349	5	3	2	0.19	0.12	2.50
60～64	7,611	3,139	4,472	3	1	2	0.09	0.03	1.43
65～69	10,829	4,891	5,938	11	9	2	0.22	0.18	0.98
70～74	14,382	6,582	7,800	32	22	10	0.46	0.33	2.80
75～79	8,938	4,153	4,785	20	14	6	0.46	0.34	2.55
80～	5,868	3,165	2,703	16	9	7	0.49	0.28	5.60
合計	74,315	35,760	38,555	91	61	30	0.25	0.17	2.34

※5歳階級表

表7 胃がん検診（X線検査）性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和4年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	21,553	10,202	11,351	31	25	6	0.14	0.25	0.05
1 年 前	38,534	19,734	18,800	36	27	9	0.09	0.14	0.05
2 年 前	9,726	4,057	5,669	20	7	13	0.21	0.17	0.23
3 年 前	4,502	1,767	2,735	4	2	2	0.09	0.11	0.07
合計	74,315	35,760	38,555	91	61	30	0.12	0.17	0.08

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 胃がん検診（X線検査）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～令和3年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行数 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
S38～H28	12,001	11,209	93.4	6,810	60.8	4,199	37.5	200	1.8			785	6.5
H29	128	119	93.0	86	72.3	32	26.9	0	0.0	96	80.7	8	6.3
H30	155	142	91.6	112	78.9	30	21.1	0	0.0	60	42.3	12	7.7
R元	124	118	95.2	86	72.9	25	21.2	7	5.9	45	38.1	6	4.8
R2	87	78	89.7	53	67.9	24	30.8	1	1.3	34	43.6	9	10.3
R3	80	75	93.8	60	80.0	14	18.7	1	1.3	40	53.3	5	6.3
合計	12,575	11,741	93.4	7,207	61.4	4,324	36.8	209	1.8			825	6.6

表9 胃がん検診（X線検査）発見がんにおける手術施行者の深達度（令和3年度）

手術施行	早期		進行			深達度不明
	m	s m	m p	s s	s	
75	40	20	4	9	1	1

胃癌取扱い規約に準ずる。

胃内視鏡検査

表1 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況

平成26年度～令和4年度

年度	受診者数				要精検者数					発見がん数					陽性反応 適中度 (%)
	総数	札幌	旭川	釧路	総数	札幌	旭川	釧路	要精検率 (%)	総数	札幌	旭川	釧路	発見率 (%)	
H26～H29	7,701	5,307	1,416	978	643	359	267	17	8.35	5	4	1	0	0.06	0.78
H30	3,346	2,364	613	369	640	544	96	0	19.13	7	7	0	0	0.21	1.09
R元	5,863	4,662	802	399	2,154	2,055	97	2	36.74	19	18	1	0	0.32	0.88
R2	5,116	3,709	941	466	1,777	1,655	119	3	34.73	14	13	1	0	0.27	0.79
R3	6,352	4,492	1,320	540	328	301	27	0	5.16	17	14	3	0	0.27	5.18
R4	6,924	4,816	1,546	562	398	350	47	1	5.75	18	17	1	0	0.26	4.52
合計	35,302	25,350	6,638	3,314	5,940	5,264	653	23	16.83	80	73	7	0	0.23	1.35

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.11%以上 1.0%以上

表2 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況及び精検結果

平成26年度～令和4年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精検結果内訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
H26～H29	7,701	643	8.3	476	74.0	5	56	20	42	9	207	131	6
H30	3,346	640	19.1	485	75.8	7	22	7	10	2	105	319	13
R元	5,863	2,154	36.7	1,307	60.7	19	32	20	18	4	159	1,039	16
R2	5,116	1,777	34.7	919	51.7	14	21	14	21	6	84	738	21
R3	6,352	328	5.2	328	100.0	17	33	5	15	2	186	65	5
R4	6,924	398	5.7	398	100.0	18	28	8	14	3	252	66	9
合計	35,302	5,940	16.8	3,913	65.9	80	192	74	120	26	993	2,358	70

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70.0%以上

表3 胃がん検診（内視鏡検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和4年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	229	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0
	女	178	3	3	0	1	0	0	0	1	1	0
	計	407	5	5	0	1	0	0	0	3	1	0
40～44	男	327	8	8	0	0	0	0	0	5	3	0
	女	251	7	7	0	0	0	0	0	5	1	1
	計	578	15	15	0	0	0	0	0	10	4	1
45～49	男	429	22	22	1	1	0	0	0	14	5	1
	女	357	7	7	0	0	0	0	0	5	2	0
	計	786	29	29	1	1	0	0	0	19	7	1
50～54	男	481	20	20	0	0	1	0	0	12	5	2
	女	578	24	24	0	3	1	0	1	14	5	0
	計	1,059	44	44	0	3	2	0	1	26	10	2
55～59	男	434	22	22	1	1	1	1	0	12	6	0
	女	484	13	13	0	1	1	1	0	8	2	0
	計	918	35	35	1	2	2	2	0	20	8	0
60～64	男	411	34	34	1	3	1	3	1	21	4	0
	女	448	23	23	0	1	1	0	1	15	4	1
	計	859	57	57	1	4	2	3	2	36	8	1
65～69	男	396	27	27	1	5	1	3	0	12	5	0
	女	359	27	27	1	2	0	0	0	21	3	0
	計	755	54	54	2	7	1	3	0	33	8	0
70～74	男	406	48	48	6	2	1	1	0	29	9	0
	女	537	47	47	2	3	0	1	0	36	2	3
	計	943	95	95	8	5	1	2	0	65	11	3
75～79	男	137	16	16	1	0	0	1	0	12	2	0
	女	212	13	13	1	2	0	0	0	8	1	1
	計	349	29	29	2	2	0	1	0	20	3	1
80～	男	99	15	15	1	2	0	1	0	5	6	0
	女	171	20	20	2	1	0	2	0	15	0	0
	計	270	35	35	3	3	0	3	0	20	6	0
合計	男	3,349	214	214	12	14	5	10	1	124	45	3
	女	3,575	184	184	6	14	3	4	2	128	21	6
	計	6,924	398	398	18	28	8	14	3	252	66	9

子宮頸がん検診

令和4年度は、3台の検診車で138市町村¹⁾を延290日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延13日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、10名(令和6年1月10日現在)のがんを発見した。

1) 札幌73・旭川43・釧路22市町村 2) 札幌147・旭川93・釧路50日間 3) 札幌4・旭川1・釧路3事業所 4) 札幌9・旭川1・釧路3日間

	合計	総数			検診センター			検診車(巡回)				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	43,299	22,973	14,791	5,535	23,631	13,375	7,752	2,504	19,668	9,598	7,039	3,031
事業所 ⁶⁾	8,446	4,484	2,702	1,260	7,123	3,900	2,326	897	1,323	584	376	363
個人	1,844	1,104	631	109	1,794	1,099	587	108	50	5	44	1
合計	53,589	28,561	18,124	6,904	32,548	18,374	10,665	3,509	21,041	10,187	7,459	3,395

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は53,589名で、検診センターでの施設検診は32,548名(60.7%)、検診車による巡回検診は21,041名(39.2%)を実施した。前年度の受診数と比較すると、施設検診は103名減少、巡回検診で450名増加した。(表1-2)

検診結果は、細胞診陰性者が52,657名、細胞診陽性者が932名という結果であった(表2-2)。

精密検査該当者663名のうち、精密検査受診数は612名であり、精検受診率は92.3%であった。精密検査を受けた方のうち、10名(1.6%)のがんが見つかり、96名(15.7%)が異形成のうちに治療につながっている(表6-2)。

また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、過去5年度分の経過観察該当者1,222名のうち経過観察受診数は1,031名で、67名がCIN3またはAISの診断で内62名(92.5%)が2年以内に治療につながっている。(表8)。

年齢階級別にみると、過去5年度分のCIN3またはAISで治療したものの割合は30歳代(0.61%)が一番多く、がんの診断は40歳代(0.06%)が多い。(表10-1)

※子宮体がん検診

子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。受診総数は920名で、検診車による巡回検診は214名、検診センターでの施設検診は706名を実施した。(表14)

子宮体がん検診からの精密検査該当者は30名で、そのうち30名が精密検査を受診し、精検受診率は100%であった。(表16)

体部がんの診断をうけたものは12名で、年齢階級別では60歳代で最も多く見つかった(表19)。

【まとめ】

子宮頸がん検診受診者数は、昨年よりやや増加している。市町村での受診勧奨が再開され、巡回検診での受診者数が増加し始めたと考えられる。

今回の年報より、子宮頸癌取扱規約に基づき、CIN3とAISをがんを含めずに報告している。多くのがんに至る前のCIN3、AISのうちに治療につながっている。また、HPV陽性やASC-USで経過観察指示となった者のうち、CIN3、AISで要治療となった者は2年以内に治療につながっている。そのため、経過観察となった場合、継続的なフォローが必要であるといえる。

がん、異形成で治療が必要になった者は、20歳代後半から増え、30歳代をピークに40歳代までが多く、好発年齢であるといえる。しかし、当協会の子宮頸がん検診受診者層は、20~30歳代が少なく、若年へのアプローチが課題である。HPV検査の活用や健康教育で検診の重要性を理解してもらうことや、市町村と協力しながら受診環境の整備を継続して実施していくことが重要と考える。

(保健師 櫻井 明帆)

表1-1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（S41～H29年度）

昭和41年度～平成29年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S41～H29	4,510,082	1,911,205	2,598,877	7,171	0.16	3,486	0.18	3,685	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表1-2 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（H30～R4年度）

平成30年度～令和4年度

年 度	受診者数			発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
H30	60,909	39,158	21,751	28	0.05	11	0.03	27	0.12
R元	58,376	36,528	21,848	29	0.05	17	0.05	12	0.05
R2	48,839	29,493	19,346	29	0.06	19	0.06	10	0.05
R3	53,242	32,651	20,591	29	0.05	16	0.05	13	0.06
R4	53,589	32,548	21,041	26	0.05	17	0.05	9	0.04
合計	274,955	170,378	104,577	151	0.05	80	0.05	71	0.07

※子宮頸部癌取扱い規約に基づき、発見がんは上皮内がん、上皮内腺がんを除く。表6-2でCIN3（上皮内がん、高度異形成）、AISを示す

表2-1 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（S41～H21年度）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
S41～H21	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (%)									
S41～H21	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

表2-2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（H22～R4年度）

平成22年度～令和4年度

年 度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
H22～H29	549,409	542,577	2,799	1502	440	1479	84	155	70	4	23	2	274
H30	60,909	59,870	519	225	93	140	11	26	5	0	3	0	17
R元	58,376	57,343	578	215	72	125	11	12	6	1	2	0	11
R2	48,839	47,931	469	184	87	117	4	33	4	0	2	0	8
R3	53,242	52,359	475	185	91	95	7	19	3	1	5	0	2
R4	53,589	52,657	467	202	99	100	12	34	5	0	4	0	9
合計	824,364	812,737	5,307	2,513	882	2,056	129	279	93	6	39	2	321

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取扱い規約に準ずる。

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～令和4年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	経過観察率 (%)	その他有所見
S41～H29	4,510,082	26,595	0.6	47,087	1.0	578,637
H30	60,909	780	1.3	269	0.4	1,551
R元	58,376	834	1.4	209	0.4	1,477
R2	48,839	659	1.3	258	0.5	1,200
R3	53,242	680	1.3	206	0.4	1,511
R4	53,589	663	1.2	280	0.5	1,500
合計	4,785,037	30,211	0.6	48,309	1.0	585,876

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4-1 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（S41～H29年度）

昭和41年度～平成29年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S41～H29	4,510,082	1,911,205	2,598,877	6,676	0.15	3,120	0.16	3,556	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表4-2 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（H30～R4年度）

平成30年度～令和4年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
H30	60,909	39,158	21,751	20	0.03	12	0.03	8	0.04	0.03
R元	58,376	36,528	21,848	15	0.03	10	0.03	5	0.02	0.02
R2	48,839	29,493	19,346	17	0.03	7	0.02	10	0.05	0.03
R3	53,242	32,651	20,591	14	0.03	8	0.02	6	0.03	0.02
R4	53,589	32,548	21,041	10	0.02	7	0.02	3	0.01	0.02
合計	274,955	170,378	104,577	76	0.03	44	0.03	32	0.03	0.02

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※子宮頸部癌取扱い規約に基づき、発見がんには上皮内がん・上皮内腺がんを除く。表6-2でCIN3（上皮内がん、高度異形成）、AISを示す

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度(%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	精検受診率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
札幌	28,561	18,374	10,187	481	1.68	318	1.73	163	1.60	442	91.9	4	0.01	3	0.02	1	0.01	0.8
旭川	18,124	10,665	7,459	136	0.75	79	0.74	57	0.76	129	94.9	5	0.03	3	0.03	2	0.03	3.7
釧路	6,904	3,509	3,395	46	0.67	23	0.66	23	0.68	41	89.1	1	0.01	1	0.03	0	0.00	2.2
合計	53,589	32,548	21,041	663	1.24	420	1.29	243	1.15	612	92.3	10	0.02	7	0.02	3	0.01	1.5

国の指標値（許容値） 1.4%以下 70%以上 0.05%以上 4.0%以上

※陽性反応の中度は、経過観察からの発見がんを除いて算出

※発見がんに上皮内がんを含めない

表6-1 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（S41～H29年度）

昭和41年度～平成29年度

年 度	精密検査該当数	精密検査受診者数	精検受診率(%)	組織診結果内訳*					
				が ん		異型上皮		良 性	
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
S41～H29	27,153	26,556	97.8	4,873	18.3	6,491	24.4	15,085	56.8

※がんに上皮内がん、上皮内腺がんを含む

表6-2 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（H30～R4年度）

平成30年度～令和4年度

年 度	精密検査該当数	精密検査受診者数	精検受診率(%)	組織診結果内訳*							
				が ん		CIN3・AIS		CIN3以外の異形成		良 性	
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
H30	780	729	93.5	20	2.7	133	18.2	311	42.7	265	36.4
R元	834	775	92.9	15	1.9	122	15.7	289	37.3	349	45.0
R2	659	610	92.6	17	2.8	114	18.7	295	48.4	184	30.2
R3	680	637	93.7	14	2.2	91	14.3	297	46.6	235	36.9
R4	663	612	92.3	10	1.6	96	15.7	265	43.3	241	39.4
合計	3,616	3,363	93.0	76	2.3	556	16.5	1,457	43.3	1,274	37.9

※CIN3・AISは治療報告のあった数

※がんにCIN3（上皮内癌）は含めない

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率(%)	経過観察からの発見がん
S41～H29	55,337	50,687	91.6	2,143

表8 経過観察からCIN3、AIS治療までの期間

平成30年度～令和4年度

年 度	経過観察 該当数	経過観察 受診数	CIN3・AIS	治療までの経過観察期間				
				～6M	6～12M	1～2Y	2～3Y	3Y～
H30	269	231	18	2	6	8	2	0
R元	209	170	13	3	4	5	1	0
R2	258	229	18	2	5	9	1	1
R3	206	179	11	1	4	6	0	0
R4	280	222	7	6	0	1	0	0
計	1,222	1,031	67	14	19	29	4	1

表9 経過観察からがん治療までの期間（頸部）

平成30年度～令和4年度

年 度	経過観察 該当数	経過観察 受診数	がん	治療までの経過観察期間				
				～6M	6～12M	1～2Y	2～3Y	3Y～
H30	269	231	1	0	0	0	1	0
R元	209	170	1	1	0	0	0	0
R2	258	229	3	1	0	1	1	0
R3	206	179	1	0	0	1	0	0
R4	280	222	2	2	0	0	0	0
計	1,222	1,031	8	4	0	2	2	0

表10-1 子宮がん検診（頸部）年齢別
受診者数と発見がん数
（H30～R4年度）

年齢	受診者数	CIN3、 AIS	率	浸潤 がん	発見率 （%）
～19	98	0	0.00	0	0.00
20～29	8729	30	0.34	2	0.02
30～39	25733	157	0.61	12	0.05
40～49	59759	230	0.38	36	0.06
50～59	58,909	79	0.13	11	0.02
60～69	65,224	43	0.07	5	0.01
70～	56,503	30	0.05	12	0.02
計	274,955	569	0.21	78	0.03

表10-2 子宮がん検診（頸部）年齢別
受診者数と発見がん数
（令和4年度）

年齢	受診者数	CIN3、 AIS	率	浸潤 がん	発見率 （%）
～19	17	0	0.00	0	0.00
20～29	1,709	6	0.35	0	0.00
30～39	5,003	24	0.48	0	0.00
40～49	11,687	27	0.23	6	0.05
50～59	12,045	14	0.12	1	0.01
60～69	11,911	7	0.06	2	0.02
70～	11,217	3	0.03	1	0.01
計	53,589	81	0.15	10	0.02

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）
昭和41年度～平成29年度

年 度	発見 がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他の がん
		上皮内 がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
S 41～H29	7,290	4,177	1,292	878	73	484	390

表12 子宮がん検診（頸部）がんおよび前駆病変の進行期分類
平成30年度～令和4年度

年 度	発見 がん数	内 訳				CIN3	AIS
		扁平上皮がん		腺がん	区分不能		
		I a	I b以上				
H30	20	7	9	4	0	141	5
R 元	15	2	8	3	2	126	2
R 2	17	8	3	3	3	119	4
R 3	15	6	5	4	0	89	0
R 4	10	4	2	3	1	79	2
合計	77	27	27	17	6	554	13

表13 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～令和4年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見 がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他	陰性	疑陽性	陽性	
S 62～H29	115,867	1,769	1.5	3,066	2.6		111,316	4,187	364	465
H30	2,167	28	1.3	79	3.6	2,060	2,059	101	7	10
R 元	1,822	18	1.0	66	3.6	1,738	1,738	77	7	10
R 2	1,298	23	1.8	43	3.3	1,318	1,231	63	4	11
R 2	1,166	28	2.4	27	2.3	1,111	1,111	54	1	6
R 4	920	30	3.3	59	6.4	831	831	50	4	12
合計	123,240	1,896	1.5	3,340	2.7		118,286	4,532	387	514

※H25までその他に超音波所見を含む

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和4年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S62～H29	113,406	88,176	27,691	451	0.40	346	0.39	119	0.43	
H30	2,167	1,757	410	10	0.46	7	0.40	3	0.73	35.71
R元	1,822	1,612	210	10	0.55	6	0.37	4	1.90	55.56
R2	1,298	1,125	173	11	0.85	8	0.71	3	1.73	47.83
R3	1,166	960	206	6	0.51	3	0.31	1	0.49	21.43
R4	920	706	214	12	1.30	8	1.13	4	1.87	40.00
合計	123,240	94,336	28,904	500	0.41	378	0.40	134	0.46	38.58

表15 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数					精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)	
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車		発見 率 (%)
札幌	379	298	81	16	4.22	13	4.36	3	3.70	16	100.0	7	1.85	4	1.34	3	3.70	25.00
旭川	492	401	91	14	2.85	13	3.24	1	1.10	14	100.0	5	1.02	4	1.00	1	1.10	35.71
釧路	49	7	42	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00
合計	920	706	214	30	3.26	26	3.68	4	1.87	30	100.0	12	1.30	8	1.13	4	1.87	30.00

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表16 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～令和4年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率(%)	組織診結果内訳*						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
H23～H29	194	189	97.4	81	42.9	12	6.3	89	47.1	6
H30	28	27	96.4	10	37.0	0	0.0	17	63.0	0
R元	18	18	100.0	8	44.4	0	0.0	10	55.6	2
R2	23	23	100.0	11	47.8	0	0.0	12	52.2	2
R3	28	26	92.9	6	23.1	1	3.8	21	80.8	0
R4	30	30	100.0	9	30.0	1	3.3	20	66.7	3
合計	321	313	97.5	125	39.9	14	4.5	169	54.0	13

※組織診結果は確定診断ではない。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表13～15とは一致しない。

表17 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～令和4年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
H23～H29	1,137	1,052	92.5%	18
H30	79	70	88.6%	0
R元	66	60	90.9%	2
R2	43	36	83.7%	2
R3	27	21	77.8%	0
R4	59	53	89.8%	3
合計	1,411	1,292	91.6%	25

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～令和4年度

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	24	0	0.00
30～39	602	4	0.66
40～49	8,903	55	0.62
50～59	25,226	311	1.23
60～69	21,304	185	0.87
70～	9,146	71	0.78
合計	65,205	626	0.96

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表13・14とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（令和4年度）

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	3	0	0.00
30～39	14	0	0.00
40～49	144	2	1.39
50～59	335	4	1.19
60～69	216	5	2.31
70～	208	1	0.48
合計	920	12	1.30

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表13～15及び表20とは一致しない。

表20 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（令和4年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初回	654	8	1.22
1年前	112	1	0.89
2年前	111	2	1.80
3年前	43	1	2.33
合計	920	12	1.30

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

乳がん検診

令和4年度は、3台の検診車で139市町村¹⁾を延371日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延14日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、249名（令和6年1月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌72・旭川45・釧路22市町村 2) 札幌184・旭川128・釧路59日間 3) 札幌4・釧路4事業所 4) 札幌9・釧路5日間

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	49,993	26,374	17,275	6,344	27,142	15,319	9,016	2,807	22,851	11,055	8,259	3,537
事業所 ⁶⁾	8,391	4,591	2,681	1,119	7,276	4,037	2,424	815	1,115	554	257	304
個人	3,060	1,835	1,048	177	3,004	1,828	1,000	176	56	7	48	1
合計	61,444	32,800	21,004	7,640	37,422	21,184	12,440	3,798	24,022	11,616	8,564	3,842

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

受診総数61,444名のうち、検診車による巡回検診は24,022名（39.1%）、検診センターでの施設検診は37,422名（60.9%）であった。国の指針により40歳以上の乳がん検診は2年に1回の実施であるため、令和2年度の受診者数と比較すると5,803名増（検診車1,931名増、検診センター3,872名増）であった（表2）。

要精検者は1,267名（要精検率2.1%）、経過観察者は76名であった（表1）。

受診歴別にみると、初回受診者数は21,520名（35.0%）、1年前受診者数は13,981名（22.8%）、2年前受診者数は21,593名（35.1%）、3年前受診者数は4,350名（7.1%）であった（表8）。

【発見がんの状況】

令和4年度の発見がん数は249名、乳がん発見率0.41%、陽性反応適中度19.42%であった（表2、3）。

発見率を年齢階級別にみると、65～69歳が0.68%と最も高く、次いで70～74歳で0.53%、80歳以上で0.48%となっている（表7）。また、発見率を受診歴別にみると、初回受診者は0.62%と最も多く、次いで3年前受診者は0.48%、2年前受診者が0.31%、1年前受診者で0.19%であった（表8）。

平成29年度から令和3年度までの発見がんのうち、I期以下の早期がんは954名（70.7%）であった。早期がんのうち、非浸潤癌（0期）は233名（24.4%）であった（表10）。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、受診数は令和2年度に大きく減少したが、令和3年度以降は徐々に回復傾向にある。しかし、令和元年度までと比較すると、特に施設検診において減少が著しい。施設検診の減少については、札幌近郊には乳腺専門の医療機関が多く、検診センター以外の選択が可能なことも大きい。今後、受診数の減少に歯止めがかかるよう、検診センターでの受診のメリットを広め、どの年代の女性にも乳がんへの関心を持ってもらえるよう、啓発活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。また、広大な北海道では医療機関にかかることも困難な市町村も多いため、巡回検診の実施により、道民の乳がん検診の受診機会の確保に努めていく。

（保健師 齊藤 葉月）

表1 検診結果（累計）

昭和48年度～令和4年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
S48～H29	2,719,976	149,887	5.5	18,653	0.7	1,481	0.1	8,685	0.32	141,291	8,195	72,357	71,270	68,939	13,134
H30	69,082	1,647	2.4	104	0.2	6	0.0	309	0.45	117	103	1,201	349	568	54
R元	66,375	1,488	2.2	125	0.2	6	0.0	253	0.38	80	122	1,102	232	376	38
R2	55,641	1,285	2.3	72	0.1	0	0.0	255	0.46	79	96	889	162	294	60
R3	61,229	1,216	2.0	88	0.1	0	0.0	226	0.37	71	86	886	199	337	57
R4	61,444	1,267	2.1	76	0.1	0	0.0	249	0.41	67	62	927	192	291	54
合計	3,033,747	156,790	5.2	19,118	0.6	1,493	0.0	9,977	0.33	141,705	8,664	77,362	72,404	70,805	13,397

国の指標値（許容値） 11.0%以下 0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。
 ※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～令和4年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S48～H29	2,719,976	1,617,848	1,102,128	8,685	0.32	6,272	0.39	2,413	0.22	
H30	69,082	44,262	24,820	309	0.45	201	0.45	108	0.44	18.40
R元	66,375	41,574	24,801	253	0.38	156	0.38	97	0.39	16.80
R2	55,641	33,550	22,091	255	0.46	159	0.47	96	0.43	19.77
R3	61,229	37,393	23,836	226	0.37	138	0.37	88	0.37	18.42
R4	61,444	37,422	24,022	249	0.41	154	0.41	95	0.40	19.42
合計	3,033,747	1,812,049	1,221,698	9,977	0.33	7,080	0.39	2,897	0.24	

国の指標値（許容値） 0.23%以上 2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。
 ※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数					精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)	
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車		発見率 (%)
札幌	32,800	21,184	11,616	551	1.7	334	1.6	217	1.9	535	97.1	126	0.38	80	0.38	46	0.40	22.69
旭川	21,004	12,440	8,564	464	2.2	222	1.8	242	2.8	458	98.7	91	0.43	56	0.45	35	0.41	19.18
釧路	7,640	3,798	3,842	252	3.3	176	4.6	76	2.0	245	97.2	32	0.42	18	0.47	14	0.36	12.70
合計	61,444	37,422	24,022	1,267	2.1	732	2.0	535	2.2	1238	97.7	249	0.41	154	0.41	95	0.40	19.42

国の指標値（許容値） 11.0%以下 80%以上 0.23%以上 2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 精密検査（要組織診）結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要組織診 該当数	組 織 診 受診数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
S53～H25	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 精密検査結果（累計）

平成26年度～令和4年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
H26～H29	9,631	9,483	1,194	12.4	1,063	11.0	571	5.9	6,917	71.8
H30	1,647	1,628	303	18.4	111	6.7	99	6.0	1,126	68.4
R元	1,488	1,453	250	16.8	75	5.0	113	7.6	1,021	68.6
R2	1,285	1,250	254	19.8	76	5.9	93	7.2	836	65.1
R3	1,216	1,190	224	18.4	67	5.5	82	6.7	822	67.6
R4	1,267	1,238	249	19.7	64	5.1	57	4.5	878	69.3
合計	16,534	16,242	2,474	15.0	1,456	8.8	1,015	6.1	11,600	70.2

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～令和3年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	19,963	17	0.09
30～39	358,332	406	0.11
40～49	765,825	2,556	0.33
50～59	856,170	2,583	0.30
60～69	690,663	2,732	0.40
70～	281,350	1,434	0.51
合計	2,972,303	9,728	0.33

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(令和4年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	523	0	0.00
30～34	1,105	0	0.00
35～39	2,150	5	0.23
40～44	7,030	20	0.28
45～49	7,512	23	0.31
50～54	7,823	29	0.37
55～59	6,752	22	0.33
60～64	7,135	29	0.41
65～69	7,034	48	0.68
70～74	8,423	45	0.53
75～79	3,886	18	0.46
80～	2,071	10	0.48
合計	61,444	249	0.41

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（令和4年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	21,520	134	0.62
1年前受診	13,981	27	0.19
2年前受診	21,593	67	0.31
3年前受診	4,350	21	0.48
合計	61,444	249	0.41

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～令和3年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
S48～H28	8,379	4,123	1,142	3,114
H29	306	145	29	132
H30	309	138	26	145
R元	253	112	21	120
R2	255	114	14	127
R3	226	111	20	95
合計	9,728	4,743	1,252	3,733

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～令和3年度

年度	総数	病期分類								
		早期がん				進行がん				不明
		計	O	I	旧分類O	計	II	III	IV	
S48～H28	8,379	5,003	936	4,012	55	3,297	2,818	402	77	79
H29	306	216	55	161	0	87	77	7	3	3
H30	309	230	66	164	0	78	65	12	1	1
R元	253	181	39	142	0	71	64	5	2	1
R2	255	168	45	123	0	84	75	8	1	3
R3	226	159	28	131	0	66	52	11	3	1
合計	9,728	5,957	1,169	4,733	55	3,683	3,151	445	87	88

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

令和4年度は、21台の検診車で137市町村¹⁾を延2,060日間²⁾巡回したほか、29事業所³⁾に延37日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で27市町村を延66日間巡回したほか、3事業所に延3日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では89名、胸部CT検査では12名（令和6年2月1日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川51・釧路22市町村 2) 札幌1,110・旭川544・釧路406日間 3) 札幌11・旭川5・釧路13事業所 4) 札幌12・旭川8・釧路17日間

胸部X線検査	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	87,463	45,315	27,325	14,823	22,451	11,854	7,337	3,260	65,012	33,461	19,988	11,563
事業所 ⁶⁾	1,498	626	526	346	96	44	25	27	1,402	582	501	319
個人	413	337	46	30	410	336	46	28	3	1	0	2
合計	89,374	46,278	27,897	15,199	22,957	12,234	7,408	3,315	66,417	34,044	20,489	11,884

胸部CT検査	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	1,896	471	1,161	264	140	31	109	0	1,756	440	1,052	264
事業所 ⁶⁾	185	178	7	0	105	98	7	0	80	80	0	0
個人	1,179	1,065	94	20	1,159	1,065	94	0	20	0	0	20
合計	3,260	1,714	1,262	284	1,401	1,194	210	0	1,856	520	1,052	284

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【胸部X線検査】

胸部X線検査の総受診者数は89,374名（前年比3,146名増、増加率3.6%）であった。実施形態別では検診車が66,417名で、全体の74.3%を占めた。性・年齢別では、男女とも65～74歳代の受診が多く、受診歴別では1年前受診が49,692名と経年受診が半数以上を占めた（表6、7）。肺がん検診結果では、精検受診率は91.2%と前年度から1.7ポイント上昇した。がん発見率および陽性反応的中度は例年と変わりはなく、いずれも国の指標を大きく上回っている（表1、2、3）。

追跡調査による発見がんの令和3年度までの累計では、発見がん2,793名のうち、0期30名、I期1,461名で、合わせると53.4%が早期に発見されている（表8）。

肺がんは罹患数が多く、死亡率も高い。とりわけ、北海道の肺がん死亡率は全国でもトップレベルである。検診では早期がんの発見率が高いため、今後も受診拡大や、継続受診に向けたアプローチが必要である。

【低線量CT検査】

胸部CT検査の総受診数は3,260名（前年比224名減、減少率6.4%）であった。精検受診率は91.0%で、高い割合を維持している（表1）。令和4年度の肺がん発見率は0.37%で、前年度より0.05ポイント高い。現時点では確定診断がついていない受診者もいることから、今後さらに上昇する可能性がある（表2）。

追跡調査による発見がんの令和3年度までの累計では、発見がん267名のうち、0期13名、I期192名で、合わせると76.8%が早期に発見されている（表4）。胸部X線と比べ早期の割合が高いが、確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となったものは、がんを疑いながら経過観察を必要とされるため、検診の性質を理解したうえで受診できるよう、十分な配慮が必要である。

【まとめ】

肺がんは、がんの中で最も死亡率が高いがんである。特に北海道では、肺がんの罹患率・死亡率が全国的に高く、道内の呼吸器専門の医療機関に限られており、地域によっては受診が困難であるといった特性がある。

検診の機会を逃してしまうと、がんの発見が遅れ、将来的に治療の選択肢が狭まったり、手遅れになることが危惧される。

今後も実施主体と連携を取りながら、継続受診に向けた働きかけや、要精検者に対しては、早期に適切な検査や治療が受けられるよう、確実に精検受診に結びつけられるようアプローチが必要である。

（保健師 張山 朋恵）

表1 検診結果（累計）

昭和51年度～令和4年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
	(再掲) 喀痰実施数							
S51～H29	3,162,431	226,270	103,956	3.3	377,419	11.9	96,256	92.6
H30	90,393	1,922	1,773	2.0	12,061	13.3	1,623	91.5
R元	86,950	1,654	1,700	2.0	11,485	13.2	1,536	90.4
R2	77,320	1,458	1,126	1.5	10,182	13.2	993	88.2
R3	86,228	1,490	1,122	1.3	11,766	13.6	1,004	89.5
R4	89,374	1,313	1,324	1.5	13,077	14.6	1,208	91.2
合計	3,592,696	234,107	111,001	3.1	435,990	12.1	102,620	92.4

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～令和4年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S51～H29	3,162,431	616,545	2,545,886	2,447	0.08	536	0.09	1,911	0.08	2.35
H30	90,393	23,111	67,282	94	0.10	24	0.10	70	0.10	5.30
R元	86,950	21,810	65,140	90	0.10	22	0.10	68	0.10	5.29
R2	77,320	19,120	58,200	74	0.10	21	0.11	53	0.09	6.57
R3	86,228	22,062	64,166	88	0.10	23	0.10	65	0.10	7.84
R4	89,374	22,957	66,417	89	0.10	18	0.08	71	0.11	6.72
合計	3,592,696	725,605	2,867,091	2,882	0.08	644	0.09	2,238	0.08	2.60

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精 検 受 診 者 数		発 見 が ん 数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	46,278	12,234	34,044	493	1.1	91	0.7	402	1.2	444	90.1	44	0.10	7	0.06	37	0.11	8.92
旭川	27,897	7,408	20,489	479	1.7	129	1.7	350	1.7	444	92.7	26	0.09	6	0.08	20	0.10	5.43
釧路	15,199	3,315	11,884	352	2.3	80	2.4	272	2.3	320	90.9	19	0.13	5	0.15	14	0.12	5.40
合計	89,374	22,957	66,417	1,324	1.5	300	1.3	1,024	1.5	1,208	91.2	89	0.10	18	0.08	71	0.11	6.72

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～令和4年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
S62～H29	209,576	418	3,255	671	205,270	3,227	222	186	237	41
H30	1,922	2	13	0	1,907	13	2	0	3	0
R元	1,654	3	18	1	1,632	17	3	0	1	0
R 2	1,458	0	6	2	1,451	5	0	0	1	0
R 3	1,490	0	8	3	1,481	6	0	0	1	0
R 4	1,313	3	4	1	1,305	4	2	1	3	0
合計	217,413	426	3,304	678	213,046	3,272	229	187	246	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～令和3年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	228,793	4	0.002
40～49	536,209	64	0.01
50～59	751,447	248	0.03
60～69	1,120,718	1,127	0.10
70～	866,155	1,350	0.16
合計	3,503,322	2,793	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和4年度）

年 齢	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	1,910	889	1,021	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,279	1,364	2,915	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,717	1,623	3,094	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	5,500	1,925	3,575	1	0	1	0.02	0.00	0.03
55～59	5,839	1,920	3,919	4	2	2	0.07	0.10	0.05
60～64	8,791	2,893	5,898	9	4	5	0.10	0.14	0.08
65～69	14,662	5,861	8,801	10	6	4	0.07	0.10	0.05
70～74	21,058	8,712	12,346	30	14	16	0.14	0.16	0.13
75～79	13,062	5,723	7,339	22	14	8	0.17	0.24	0.11
80～	9,556	4,718	4,838	13	11	2	0.14	0.23	0.04
合計	89,374	35,628	53,746	89	51	38	0.10	0.14	0.07

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（令和4年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	39,682	14,705	24,977	61	34	27	0.15	0.23	0.11
1 年 前	49,692	20,923	28,769	28	17	11	0.06	0.08	0.04
合計	89,374	35,628	53,746	89	51	38	0.10	0.14	0.07

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～令和3年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不 明
S51～H28	2,360	2	21	1,272	174	542	293	56
H29	87	0	3	38	12	16	17	1
H30	94	0	2	41	17	16	14	4
R元	90	0	4	41	8	18	14	5
R2	74	0	0	34	9	13	16	2
R3	88	0	0	35	12	12	23	6
合計	2,793	2	30	1,461	232	617	377	74

肺癌取扱い規約準ずる。

CT肺がん検診

表1 検診結果（累計）

平成14年度～令和4年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
S14～H29	41,618	6,125	2,047	4.9	32,386	77.8	1,951	95.3
H30	4,327	291	179	4.1	3,555	82.2	174	97.2
R元	3,978	222	190	4.8	3,264	82.1	185	97.4
R2	3,218	206	131	4.1	2,658	82.6	130	99.2
R3	3,484	218	179	5.1	2,768	79.4	165	92.2
R4	3,260	162	178	5.5	2,646	81.2	162	91.0
合計	59,885	7,224	2,904	4.8	47,277	78.9	2,767	95.3

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～令和4年度

年 度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
S14～H29	41,618	24,560	17,058	2,047	4.9	1,342	5.5	705	4.1	213	0.51	145	0.59	68	0.40
H30	4,327	2,139	2,188	179	4.1	76	3.6	103	4.7	11	0.25	8	0.37	3	0.14
R元	3,978	1,919	2,059	190	4.8	73	3.8	117	5.7	12	0.30	4	0.21	8	0.39
R2	3,218	1,441	1,777	131	4.1	41	2.8	90	5.1	20	0.62	8	0.56	12	0.68
R3	3,484	1,577	1,907	179	5.1	53	3.4	126	6.6	11	0.32	5	0.32	6	0.31
R4	3,260	1,404	1,856	178	5.5	52	3.7	126	6.8	12	0.37	4	0.28	8	0.43
合計	59,885	33,040	26,845	2,904	4.8	1,637	5.0	1,267	4.7	279	0.47	174	0.53	105	0.39

表3 喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～令和4年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
H14～H29	6,125	8	103	22	6,001	93	8	1	3	0
H30	291	1	0	0	290	0	1	0	0	1
R元	222	1	1	0	220	1	0	1	0	0
R2	206	0	1	0	205	1	0	0	0	0
R3	218	0	2	0	216	2	0	0	0	0
R4	162	0	4	0	158	4	0	0	0	0
合計	7,224	10	111	22	7,090	101	9	2	3	1

表4 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

平成14年度～令和3年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不明
H14～H28	192	0	6	148	12	17	9	0
H29	21	0	2	12	1	1	3	2
H30	11	0	2	7	1	1	0	0
R元	12	0	0	11	1	0	0	0
R2	20	0	2	10	1	3	3	1
R3	11	0	1	4	3	2	1	0
合計	267	0	13	192	19	24	16	3

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

令和4年度は、141市町村¹⁾、35事業所²⁾で巡回し検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、370名（令和6年2月14日現在）のがんを発見した。

1) 札幌67・旭川52・釧路22市町村 2) 札幌11・旭川15・釧路9事業所

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	97,909	53,171	29,981	14,757	26,697	15,131	8,015	3,551	71,212	38,040	21,966	11,206
事業所 ⁴⁾	15,545	8,496	4,486	2,563	13,012	7,417	3,285	2,310	2,533	1,079	1,201	253
個人	1,440	1,095	211	134	1,405	1,074	210	121	35	21	1	13
合計	114,894	62,762	34,678	17,454	41,114	23,622	11,510	5,982	73,780	39,140	23,168	11,472

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について（全国）】

令和4年（2022年）は、がん死亡数は385,797名（大腸がん死亡数53,088名）で前年よりも増加していた^{*1}。また部位別死亡数順位は、大腸がんが男性2位、女性1位であった。^{*1}

部位別の罹患数（2019年）は、男性2位、女性2位であった^{*2}。

（資料 ※1 人口動態統計による全国がん死亡データ ※2 全国がん登録による全国がん罹患データ）

【検診の受診状況】

受診総数は114,894名（前年比8,582名増、8.1%増）で、検診車による巡回検診が73,780名（前年比11.4%増）、検診センターでの施設検診が41,114名（前年比2.6%増）であった。

【精密検査の受診状況】

要精検査者は7,597名（検診車5,214名、検診センター2,383名）で、要精検査率は6.6%、精検査受診率は78.9%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検査受診率は低く、最低53.8%（～39歳）、最高87.2%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検査受診率は男性75.4%、女性82.5%と性別間でも差が見られた（表4）。

【発見がんについて】

令和4年度の発見がんの総数は370名（男性187名、女性183名）で、がん発見率は0.32%、陽性反応適中度は4.87%であった（表2、4）。

がん発見率は、性別では男性が高く、また男女とも高齢になるほど高くなる（表6）。受診歴別では、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）が受診者において、47.0%を占め、がん発見率は0.58%で高い（表7）。これらは、例年と同様である。

追跡調査の結果、令和3年度の検診で発見されたがんのうち66.3%が早期がんであった（表8）。

【まとめ】

受診者数が昨年に続き8.1%増となったのは、新型コロナウイルス感染症の流行下においてもがん検診実施の必要性の理解がされたこと、ワクチン接種などの感染症対策が講じられたことにより、コロナ禍においてもがん検診を安心して受けられる「Withコロナ時代」になったことが考えられる。

一方、追跡調査による発見がんのうち、進行がんが令和2年度に比べ7.2%増となった。これは、令和2年1月以降のコロナ流行における検診控えにより、令和2年度検診を受けられなかった方々が令和3年度から受診行動を再開し、精密検査で進行がんとして発見された例が多く見られたと考えられる。これまで現場の声として、コロナ禍において進行がんが増えているという報告がメディアや講演等でも度々聞かれていたが、それを裏付ける集計結果となったと考えられる。

がんの早期発見のために検診の必要性が見直され、受診者数は回復しつつあるものの、いまだ新型コロナウイルスが流行する前の平成30年度の総受診者数125,893名には及んでいない。今後も受診勧奨やがん教育を行い、がん検診の重要性を理解してもらうよう努めていく必要があると考えられる。

（保健師 沼田 枝里奈）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～令和4年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精検結果内訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
S62～H29	3,209,537	315,530	9.8	268,086	85.0	9,981	3,572	258	109,236	36,041	108,998
H30	125,893	9,267	7.4	7,708	83.2	492	132	5	673	4,537	1,869
R元	117,281	9,246	7.9	7,436	80.4	361	118	5	585	4,623	1,744
R2	100,019	8,050	8.0	6,237	77.5	271	105	8	462	3,855	1,537
R3	106,312	7,399	7.0	5,754	77.8	331	101	5	422	3,639	1,269
R4	114,894	7,597	6.6	5,992	78.9	370	124	6	416	3,791	1,285
合計	3,773,936	357,089	9.5	301,213	84.4	11,806	4,152	287	111,794	56,486	116,702

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和4年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中率(%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
S62～H29	3,209,537	897,791	2,311,746	9,981	0.31	2,573	0.29	7,408	0.32	3.16
H30	125,893	42,423	83,470	492	0.39	142	0.33	350	0.42	5.31
R元	117,281	40,499	76,782	361	0.31	102	0.25	259	0.34	3.90
R2	100,019	34,663	65,356	271	0.27	81	0.23	190	0.29	3.37
R3	106,312	40,073	66,239	331	0.31	122	0.30	209	0.32	4.47
R4	114,894	41,114	73,780	370	0.32	95	0.23	275	0.37	4.87
合計	3,773,936	1,096,563	2,677,373	11,806	0.31	3,115	0.28	8,691	0.32	3.31

国の指標値（許容値） 0.13%以上 1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						発見がん数						陽性反応適中率(%)		
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)		検診車	発見率(%)
札幌	62,762	23,622	39,140	4,125	6.6	1,355	5.7	2,770	7.1	3,236	78.4	202	0.32	47	0.20	155	0.40	4.90
旭川	34,678	11,510	23,168	2,254	6.5	646	5.6	1,608	6.9	1,816	80.6	117	0.34	36	0.31	81	0.35	5.19
釧路	17,454	5,982	11,472	1,218	7.0	382	6.4	836	7.3	940	77.2	51	0.29	12	0.20	39	0.34	4.19
合計	114,894	41,114	73,780	7,597	6.6	2,383	5.8	5,214	7.1	5,992	78.9	370	0.32	95	0.23	275	0.37	4.87

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70%以上 0.13%以上 1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（令和4年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,727	69	31	1	1	0	1	11	17
	女	1,630	89	54	2	5	0	4	12	31
	計	3,357	158	85	3	6	0	5	23	48
40～44	男	2,638	132	85	3	9	0	8	43	22
	女	4,354	195	127	4	6	0	2	49	66
	計	6,992	327	212	7	15	0	10	92	88
45～49	男	3,310	161	97	1	4	0	6	53	33
	女	5,115	219	160	4	3	0	7	76	70
	計	8,425	380	257	5	7	0	13	129	103
50～54	男	3,408	235	142	6	4	0	18	91	23
	女	5,806	248	191	10	4	0	20	108	49
	計	9,214	483	333	16	8	0	38	199	72
55～59	男	3,260	222	144	6	5	0	8	99	26
	女	6,072	298	246	15	7	1	20	140	63
	計	9,332	520	390	21	12	1	28	239	89
60～64	男	4,214	317	212	17	2	0	20	151	22
	女	7,630	355	298	11	4	0	19	176	88
	計	11,844	672	510	28	6	0	39	327	110
65～69	男	6,877	592	433	34	7	0	26	308	58
	女	10,170	487	425	23	13	0	29	256	104
	計	17,047	1,079	858	57	20	0	55	564	162
70～74	男	9,736	867	698	54	5	0	51	505	83
	女	13,949	815	712	59	12	2	43	423	173
	計	23,685	1,682	1,410	113	17	2	94	928	256
75～79	男	6,355	670	579	39	9	0	41	410	80
	女	8,172	525	463	33	4	1	37	287	101
	計	14,527	1,195	1,042	72	13	1	78	697	181
80～	男	5,072	616	507	26	9	0	34	350	88
	女	5,399	485	388	22	11	2	22	243	88
	計	10,471	1,101	895	48	20	2	56	593	176
合計	男	46,597	3,881	2,928	187	55	0	213	2,021	452
	女	68,297	3,716	3,064	183	69	6	203	1,770	833
	計	114,894	7,597	5,992	370	124	6	416	3,791	1,285

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～令和3年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	6,006	1	0.02
30～39	77,860	39	0.05
40～49	508,373	513	0.10
50～59	783,750	1,591	0.20
60～69	1,281,199	4,621	0.36
70～	1,001,854	4,671	0.47
合計	3,659,042	11,436	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和4年度）

年 齢	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	194	126	68	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	565	306	259	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,598	1,295	1,303	3	1	2	0.12	0.08	0.15
40～44	6,992	2,638	4,354	7	3	4	0.10	0.11	0.09
45～49	8,425	3,310	5,115	5	1	4	0.06	0.03	0.08
50～54	9,214	3,408	5,806	16	6	10	0.17	0.18	0.17
55～59	9,332	3,260	6,072	21	6	15	0.23	0.18	0.25
60～64	11,844	4,214	7,630	28	17	11	0.24	0.40	0.14
65～69	17,047	6,877	10,170	57	34	23	0.33	0.49	0.23
70～74	23,685	9,736	13,949	113	54	59	0.48	0.55	0.42
75～79	14,527	6,355	8,172	72	39	33	0.50	0.61	0.40
80～	10,471	5,072	5,399	48	26	22	0.46	0.51	0.41
合計	114,894	46,597	68,297	370	187	183	0.32	0.40	0.27

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和4年度）

受診歴	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	30,220	11,855	18,365	174	92	82	0.58	0.78	0.45
1 年 前	64,046	27,882	36,164	137	70	67	0.21	0.25	0.19
2 年 前	13,899	4,506	9,393	35	15	20	0.25	0.33	0.21
3 年 前	6,729	2,354	4,375	24	10	14	0.36	0.42	0.32
合計	114,894	46,597	68,297	370	187	183	0.32	0.40	0.27

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～令和3年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
S62～H28	9,577	9,489	99.1	6,408	67.5	3,049	32.1	32	0.3	4,664	49.2	82	0.9
H29	404	398	98.5	290	72.9	107	26.9	1	0.3	203	51.0	6	1.5
H30	492	479	97.4	326	68.1	150	31.3	3	0.6	256	53.4	14	2.8
R元	361	352	97.5	239	67.9	111	31.5	2	0.6	195	55.4	10	2.8
R2	271	267	98.5	193	72.3	70	26.2	4	1.5	158	59.2	6	2.2
R3	331	326	98.5	216	66.3	109	33.4	1	0.3	174	53.4	5	1.5
合計	11,436	11,311	98.9	7,672	67.8	3,596	31.8	43	0.4	5,650	50.0	123	1.1

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（令和3年度）

手術施行	早期がん		進行がん				深達度不明
	m	sm	mp	ss	se(a)	si(ai)	
326	153	63	35	59	11	4	1

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

令和4年度は、109市町村¹⁾、583事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、133名（令和6年2月1日現在）のがんを発見した。

1) 札幌50・旭川40・釧路19市町村 2) 札幌508・旭川36・釧路39事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	13,870	6,669	3,824	3,377	2,011	1,263	159	589	11,859	5,406	3,665	2,788
事業所 ⁴⁾	1,146	562	457	127	919	466	333	120	227	96	124	7
個 人	2,430	1,298	1,059	73	2,284	1,209	1,004	71	146	89	55	2
合 計	17,446	8,529	5,340	3,577	5,214	2,938	1,496	780	12,232	5,591	3,844	2,797

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定めているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。令和4年度の受診総数については、令和3年度と比較して1,384名増加、増加率は8.6%であった（表1）。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は976名で、要精検率は5.6%であった。そのうち精検受診者数は789名で、精検受診率は80.8%であった（表1）。

【発見がんについて】

発見がん（率）は133名（0.76%）で、検診センター48名、検診車85名であった（表3）。

年齢階級別にみると、50～54歳の階級以降からがんが発見されており、75～79歳の階級で発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、初回受診のがん発見率が最も高く、次いで3年前受診の発見率が高い（表6）。

【まとめ】

前立腺がんは現在、男性の部位別罹患数で1位であり、男性の9人に1人*¹が罹患するといわれている。また、年齢が高くなるにつれ、がん発見率も上がっている。しかし比較的進行が遅いがんでもあり、早期に発見できれば生存率が高い特徴がある。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい利点がある。前立腺がんに対する知識の普及や、50歳以上の世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

* 1 2019年データに基づく（出典：国立がん研究センター「がん情報サービス」）

（保健師 張山 朋恵）

表1 検診結果及び精密検査結果（累計）

平成9年度～令和4年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
H9～H29	189,548	11,032	5.8	8,610	78.0	1,929	2,903	2,246	1,532
H30	16,218	860	5.3	733	85.2	148	222	226	137
R元	15,854	847	5.3	707	83.5	126	203	227	151
R2	14,429	914	6.3	768	84.0	133	267	218	150
R3	16,062	948	5.9	779	82.2	140	221	253	165
R4	17,446	976	5.6	789	80.8	133	253	245	158
合計	269,557	15,577	5.8	12,386	79.5	2,609	4,069	3,415	2,293

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～令和4年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
H9～H29	189,548	59,588	129,960	1,929	1.02	667	1.12	1,262	0.97	17.49
H30	16,218	4,781	11,437	148	0.91	49	1.02	99	0.87	17.21
R元	15,854	4,884	10,970	126	0.79	47	0.96	79	0.72	14.88
R2	14,429	4,101	10,328	133	0.92	41	1.00	92	0.89	14.55
R3	16,062	4,786	11,276	140	0.87	43	0.90	97	0.86	14.77
R4	17,446	5,214	12,232	133	0.76	48	0.92	85	0.69	13.63
合計	269,557	83,354	186,203	2,609	0.97	895	1.07	1,714	0.92	

表3 実施状況及び発見がん数（令和4年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精 検 受 診 者 数		発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	8,529	2,938	5,591	485	5.7	172	5.9	313	5.6	382	78.8	71	0.83	31	1.06	40	0.72	14.64
旭川	5,340	1,496	3,844	270	5.1	72	4.8	198	5.2	224	83.0	29	0.54	10	0.67	19	0.49	10.74
釧路	3,577	780	2,797	221	6.2	38	4.9	183	6.5	183	82.8	33	0.92	7	0.90	26	0.93	14.93
総数	17,446	5,214	12,232	976	5.6	282	5.4	694	5.7	789	80.8	133	0.76	48	0.92	85	0.69	13.63

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～令和3年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,497	0	0.00
40～49	9,517	3	0.03
50～59	41,280	93	0.23
60～69	100,076	899	0.90
70～	99,711	1,481	1.49
年齢不詳	30	0	0.00
合計	252,111	2,476	0.98

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（令和4年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	5,567	83	1.49
1年前	9,288	39	0.42
2年前	1,756	3	0.17
3年前	835	8	0.96
合計	17,446	133	0.76

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（令和4年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	108	0	0.00
40～44	323	1	0.31
45～49	519	0	0.00
50～54	1,366	2	0.15
55～59	1,428	3	0.21
60～64	2,040	12	0.59
65～69	3,341	23	0.69
70～74	4,319	44	1.02
75～79	2,458	33	1.34
80～	1,544	15	0.97
合計	17,446	133	0.76

※5歳階級表

3 健康診査の成績

【特定健診等】総合判定結果

令和4年度

	受診者数	判 定										
		異常なし		有所見		要 指 導		治療継続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	3	2	66.7	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	54	18	33.3	0	0.0	21	38.9	2	3.7	13	24.1
	25～29歳	83	21	25.3	0	0.0	40	48.2	1	1.2	21	25.3
	30～34歳	207	28	13.5	0	0.0	100	48.3	10	4.8	69	33.3
	35～39歳	408	53	13.0	0	0.0	214	52.5	25	6.1	116	28.4
	40～44歳	811	71	8.8	0	0.0	387	47.7	63	7.8	290	35.8
	45～49歳	975	61	6.3	0	0.0	439	45.0	128	13.1	347	35.6
	50～54歳	1,103	43	3.9	0	0.0	424	38.4	229	20.8	407	36.9
	55～59歳	1,152	50	4.3	0	0.0	369	32.0	296	25.7	437	37.9
	60～64歳	1,659	30	1.8	0	0.0	479	28.9	555	33.5	595	35.9
	65～69歳	3,880	50	1.3	0	0.0	923	23.8	1,502	38.7	1,405	36.2
	70～74歳	6,277	75	1.2	0	0.0	1,208	19.2	2,761	44.0	2,233	35.6
	75～79歳	4,299	30	0.7	0	0.0	732	17.0	2,034	47.3	1,503	35.0
	80歳以上	3,421	10	0.3	0	0.0	507	14.8	1,534	44.8	1,370	40.0
小 計	24,332	542	2.2	0	0.0	5,844	24.0	9,140	37.6	8,806	36.2	
女 性	～19歳	3	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3
	20～24歳	47	20	42.6	0	0.0	23	48.9	2	4.3	2	4.3
	25～29歳	113	64	56.6	0	0.0	32	28.3	5	4.4	12	10.6
	30～34歳	396	182	46.0	0	0.0	165	41.7	9	2.3	40	10.1
	35～39歳	864	288	33.3	0	0.0	435	50.3	49	5.7	92	10.6
	40～44歳	1,451	407	28.0	0	0.0	714	49.2	103	7.1	227	15.6
	45～49歳	1,670	345	20.7	0	0.0	879	52.6	140	8.4	306	18.3
	50～54歳	1,819	205	11.3	0	0.0	902	49.6	292	16.1	420	23.1
	55～59歳	2,188	164	7.5	0	0.0	1,046	47.8	534	24.4	444	20.3
	60～64歳	3,366	125	3.7	0	0.0	1,388	41.2	1,061	31.5	792	23.5
	65～69歳	5,719	128	2.2	0	0.0	1,986	34.7	2,276	39.8	1,329	23.2
	70～74歳	8,693	113	1.3	0	0.0	2,282	26.3	4,034	46.4	2,264	26.0
	75～79歳	5,342	56	1.0	0	0.0	1,096	20.5	2,819	52.8	1,371	25.7
	80歳以上	3,624	23	0.6	0	0.0	662	18.3	1,702	47.0	1,237	34.1
小 計	35,295	2,121	6.0	0	0.0	11,611	32.9	13,026	36.9	8,537	24.2	
総 数	～19歳	6	3	50.0	0	0.0	2	33.3	0	0.0	1	16.7
	20～24歳	101	38	37.6	0	0.0	44	43.6	4	4.0	15	14.9
	25～29歳	196	85	43.4	0	0.0	72	36.7	6	3.1	33	16.8
	30～34歳	603	210	34.8	0	0.0	265	43.9	19	3.2	109	18.1
	35～39歳	1,272	341	26.8	0	0.0	649	51.0	74	5.8	208	16.4
	40～44歳	2,262	478	21.1	0	0.0	1,101	48.7	166	7.3	517	22.9
	45～49歳	2,645	406	15.3	0	0.0	1,318	49.8	268	10.1	653	24.7
	50～54歳	2,922	248	8.5	0	0.0	1,326	45.4	521	17.8	827	28.3
	55～59歳	3,340	214	6.4	0	0.0	1,415	42.4	830	24.9	881	26.4
	60～64歳	5,025	155	3.1	0	0.0	1,867	37.2	1,616	32.2	1,387	27.6
	65～69歳	9,599	178	1.9	0	0.0	2,909	30.3	3,778	39.4	2,734	28.5
	70～74歳	14,970	188	1.3	0	0.0	3,490	23.3	6,795	45.4	4,497	30.0
	75～79歳	9,641	86	0.9	0	0.0	1,828	19.0	4,853	50.3	2,874	29.8
	80歳以上	7,045	33	0.5	0	0.0	1,169	16.6	3,236	45.9	2,607	37.0
合 計	59,627	2,663	4.5	0	0.0	17,455	29.3	22,166	37.2	17,343	29.1	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、59,627人に総合判定を行った。
男女別では、男性24,332人（40.8%）女性35,295人（59.2%）であった。
また、年齢階級で見ると、70～74歳が最も高く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）4.5%、要指導29.3%、治療継続37.2%、要医療29.1%であった。

【特定健診等】メタボリック判定結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		非 該 当		予 備 群 該 当		基 準 該 当		判 定 不 能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	3	3	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	54	39	72.2	8	14.8	3	5.6	4	7.4
	25～29歳	83	65	78.3	10	12.0	3	3.6	5	6.0
	30～34歳	207	144	69.6	35	16.9	16	7.7	12	5.8
	35～39歳	408	275	67.4	70	17.2	33	8.1	30	7.4
	40～44歳	811	534	65.8	156	19.2	121	14.9		0.0
	45～49歳	975	571	58.6	204	20.9	200	20.5		0.0
	50～54歳	1,103	556	50.4	261	23.7	285	25.8	1	0.1
	55～59歳	1,151	618	53.7	208	18.1	325	28.2		0.0
	60～64歳	1,659	858	51.7	295	17.8	504	30.4	2	0.1
	65～69歳	3,879	1,973	50.9	682	17.6	1,196	30.8	28	0.7
	70～74歳	6,277	3,266	52.0	1,093	17.4	1,870	29.8	48	0.8
	75～79歳	4,225	1,316	31.1	394	9.3	684	16.2	1,831	43.3
80歳以上	3,356	994	29.6	324	9.7	436	13.0	1,602	47.7	
小 計	24,191	11,212	46.3	3,740	15.5	5,676	23.5	3,563	14.7	
女 性	～19歳	3	3	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	47	43	91.5	2	4.3		0.0	2	4.3
	25～29歳	113	108	95.6	1	0.9		0.0	4	3.5
	30～34歳	396	328	82.8	19	4.8	1	0.3	48	12.1
	35～39歳	864	759	87.8	31	3.6	15	1.7	59	6.8
	40～44歳	1,451	1,326	91.4	73	5.0	51	3.5	1	0.1
	45～49歳	1,670	1,540	92.2	85	5.1	45	2.7		0.0
	50～54歳	1,819	1,589	87.4	107	5.9	120	6.6	3	0.2
	55～59歳	2,187	1,896	86.7	143	6.5	147	6.7	1	0.0
	60～64歳	3,365	2,902	86.2	203	6.0	259	7.7	1	0.0
	65～69歳	5,716	4,820	84.3	346	6.1	522	9.1	28	0.5
	70～74歳	8,692	7,313	84.1	499	5.7	839	9.7	41	0.5
	75～79歳	5,254	2,690	51.2	150	2.9	339	6.5	2,075	39.5
80歳以上	3,545	1,587	44.8	118	3.3	221	6.2	1,619	45.7	
小 計	35,122	26,904	76.6	1,777	5.1	2,559	7.3	3,882	11.1	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	101	82	81.2	10	9.9	3	3.0	6	5.9
	25～29歳	196	173	88.3	11	5.6	3	1.5	9	4.6
	30～34歳	603	472	78.3	54	9.0	17	2.8	60	10.0
	35～39歳	1,272	1,034	81.3	101	7.9	48	3.8	89	7.0
	40～44歳	2,262	1,860	82.2	229	10.1	172	7.6	1	0.0
	45～49歳	2,645	2,111	79.8	289	10.9	245	9.3	0	0.0
	50～54歳	2,922	2,145	73.4	368	12.6	405	13.9	4	0.1
	55～59歳	3,338	2,514	75.3	351	10.5	472	14.1	1	0.0
	60～64歳	5,024	3,760	74.8	498	9.9	763	15.2	3	0.1
	65～69歳	9,595	6,793	70.8	1,028	10.7	1,718	17.9	56	0.6
	70～74歳	14,969	10,579	70.7	1,592	10.6	2,709	18.1	89	0.6
	75～79歳	9,479	4,006	42.3	544	5.7	1,023	10.8	3,906	41.2
80歳以上	6,901	2,581	37.4	442	6.4	657	9.5	3,221	46.7	
合 計	59,313	38,116	64.3	5,517	9.3	8,235	13.9	7,445	12.6	

メタボリックシンドローム判定結果

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、59,313人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性24,191人（40.8%）女性35,122人（59.2%）であった。

また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する予備軍該当者が9.3%、いずれか2項目以上が該当する基準該当が13.9%非該当は64.3%であった。

腹囲未実施など、判定条件をみたまらず判定不能となったものが12.6%あった。

男性では予備軍該当が15.5%、基準該当が23.5%、非該当が46.3%であり、女性では予備軍該当が5.1%、基準該当が7.3%、非該当が76.6%であった。

【特定健診等】腹囲測定結果

令和4年度

	受診者数	判 定				
		男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上		
		(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0
	20～24歳	35	29	82.9	6	17.1
	25～29歳	73	39	53.4	34	46.6
	30～34歳	226	137	60.6	89	39.4
	35～39歳	353	211	59.8	142	40.2
	40～44歳	766	406	53.0	360	47.0
	45～49歳	879	428	48.7	451	51.3
	50～54歳	887	450	50.7	437	49.3
	55～59歳	1,071	520	48.6	551	51.4
	60～64歳	1,960	951	48.5	1,009	51.5
	65～69歳	5,025	2,489	49.5	2,536	50.5
	70～74歳	5,128	2,659	51.9	2,469	48.1
	75～79歳	2,069	1,108	53.6	961	46.4
	80歳以上	1,402	785	56.0	617	44.0
小 計	19,877	10,215	51.4	9,662	48.6	
女 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0
	20～24歳	55	52	94.5	3	5.5
	25～29歳	132	120	90.9	12	9.1
	30～34歳	397	369	92.9	28	7.1
	35～39歳	707	646	91.4	61	8.6
	40～44歳	1,401	1,252	89.4	149	10.6
	45～49歳	1,470	1,271	86.5	199	13.5
	50～54歳	1,691	1,450	85.7	241	14.3
	55～59歳	2,141	1,838	85.8	303	14.2
	60～64歳	3,824	3,311	86.6	513	13.4
	65～69歳	7,759	6,643	85.6	1,116	14.4
	70～74歳	7,039	6,004	85.3	1,035	14.7
	75～79歳	2,672	2,230	83.5	442	16.5
	80歳以上	1,267	1,035	81.7	232	18.3
小 計	30,557	26,223	85.8	4,334	14.2	
総 数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0
	20～24歳	90	81	90.0	9	10.0
	25～29歳	205	159	77.6	46	22.4
	30～34歳	623	506	81.2	117	18.8
	35～39歳	1,060	857	80.8	203	19.2
	40～44歳	2,167	1,658	76.5	509	23.5
	45～49歳	2,349	1,699	72.3	650	27.7
	50～54歳	2,578	1,900	73.7	678	26.3
	55～59歳	3,212	2,358	73.4	854	26.6
	60～64歳	5,784	4,262	73.7	1,522	26.3
	65～69歳	12,784	9,132	71.4	3,652	28.6
	70～74歳	12,167	8,663	71.2	3,504	28.8
	75～79歳	4,741	3,338	70.4	1,403	29.6
	80歳以上	2,669	1,820	68.2	849	31.8
合 計	50,434	36,438	72.2	13,996	27.8	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、50,434人に腹囲測定を行った。
男女別では、男性19,877人（39.4%）女性30,557人（60.6%）であった。
また、年齢階級では、65～69歳が最も多く、次いで、70～74歳、60～64歳の順であった。

判定結果

男性85女性90cm未満の異常なし（精検不要）72.2%、男性85女性90cm以上の要指導は27.8%であった。

【特定健診等】 血圧測定結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	54	42	77.8	10	18.5	1	1.9	1	1.9
	25～29歳	83	68	81.9	13	15.7	1	1.2	1	1.2
	30～34歳	207	162	78.3	38	18.4	2	1.0	5	2.4
	35～39歳	408	310	76.0	79	19.4	11	2.7	8	2.0
	40～44歳	811	552	68.1	190	23.4	43	5.3	26	3.2
	45～49歳	975	558	57.2	274	28.1	106	10.9	37	3.8
	50～54歳	1,103	517	46.9	334	30.3	197	17.9	55	5.0
	55～59歳	1,151	495	43.0	323	28.1	280	24.3	53	4.6
	60～64歳	1,659	564	34.0	399	24.1	601	36.2	95	5.7
	65～69歳	3,880	1,003	25.9	1,031	26.6	1,636	42.2	210	5.4
	70～74歳	6,277	1,403	22.4	1,603	25.5	2,929	46.7	342	5.4
	75～79歳	4,299	809	18.8	943	21.9	2,314	53.8	233	5.4
80歳以上	3,421	524	15.3	725	21.2	1,970	57.6	202	5.9	
小計	24,331	7,010	28.8	5,962	24.5	10,091	41.5	1,268	5.2	
女性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	47	45	95.7	2	4.3	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	113	105	92.9	7	6.2	1	0.9	0	0.0
	30～34歳	396	360	90.9	30	7.6	2	0.5	4	1.0
	35～39歳	864	772	89.4	72	8.3	15	1.7	5	0.6
	40～44歳	1,451	1,207	83.2	178	12.3	43	3.0	23	1.6
	45～49歳	1,670	1,294	77.5	262	15.7	90	5.4	24	1.4
	50～54歳	1,819	1,231	67.7	353	19.4	185	10.2	50	2.7
	55～59歳	2,187	1,344	61.5	439	20.1	333	15.2	71	3.2
	60～64歳	3,365	1,688	50.2	825	24.5	734	21.8	118	3.5
	65～69歳	5,717	2,370	41.5	1,514	26.5	1,588	27.8	245	4.3
	70～74歳	8,693	2,735	31.5	2,340	26.9	3,201	36.8	417	4.8
	75～79歳	5,342	1,251	23.4	1,326	24.8	2,545	47.6	220	4.1
80歳以上	3,624	591	16.3	861	23.8	1,963	54.2	209	5.8	
小計	35,291	14,996	42.5	8,209	23.3	10,700	30.3	1,386	3.9	
総数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	101	87	86.1	12	11.9	1	1.0	1	1.0
	25～29歳	196	173	88.3	20	10.2	2	1.0	1	0.5
	30～34歳	603	522	86.6	68	11.3	4	0.7	9	1.5
	35～39歳	1,272	1,082	85.1	151	11.9	26	2.0	13	1.0
	40～44歳	2,262	1,759	77.8	368	16.3	86	3.8	49	2.2
	45～49歳	2,645	1,852	70.0	536	20.3	196	7.4	61	2.3
	50～54歳	2,922	1,748	59.8	687	23.5	382	13.1	105	3.6
	55～59歳	3,338	1,839	55.1	762	22.8	613	18.4	124	3.7
	60～64歳	5,024	2,252	44.8	1,224	24.4	1,335	26.6	213	4.2
	65～69歳	9,597	3,373	35.1	2,545	26.5	3,224	33.6	455	4.7
	70～74歳	14,970	4,138	27.6	3,943	26.3	6,130	40.9	759	5.1
	75～79歳	9,641	2,060	21.4	2,269	23.5	4,859	50.4	453	4.7
80歳以上	7,045	1,115	15.8	1,586	22.5	3,933	55.8	411	5.8	
合計	59,622	22,006	36.9	14,171	23.8	20,791	34.9	2,654	4.5	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、59,622人に血圧測定を行った。
 男女別では、男性24,331人（40.8%）女性35,291人（59.2%）であった。
 また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）36.9%、要指導23.8%、治療継続34.9%、要医療4.5%であった。

【特定健診等】 血中脂質検査結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	54	33	61.1	19	35.2	1	1.9	1	1.9
	25～29歳	83	52	62.7	27	32.5	1	1.2	3	3.6
	30～34歳	207	97	46.9	90	43.5	2	1.0	18	8.7
	35～39歳	408	167	40.9	194	47.5	12	2.9	35	8.6
	40～44歳	811	274	33.8	408	50.3	45	5.5	84	10.4
	45～49歳	975	281	28.8	488	50.1	97	9.9	109	11.2
	50～54歳	1,103	294	26.7	540	49.0	162	14.7	107	9.7
	55～59歳	1,152	312	27.1	528	45.8	209	18.1	103	8.9
	60～64歳	1,659	435	26.2	703	42.4	400	24.1	121	7.3
	65～69歳	3,880	1,079	27.8	1,620	41.8	987	25.4	194	5.0
	70～74歳	6,277	1,803	28.7	2,390	38.1	1,850	29.5	234	3.7
	75～79歳	4,299	1,396	32.5	1,489	34.6	1,268	29.5	146	3.4
	80歳以上	3,421	1,393	40.7	1,017	29.7	931	27.2	80	2.3
小計	24,332	7,618	31.3	9,514	39.1	5,965	24.5	1,235	5.1	
女性	～19歳	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	47	30	63.8	16	34.0	0	0.0	1	2.1
	25～29歳	113	87	77.0	26	23.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	395	301	76.2	88	22.3	2	0.5	4	1.0
	35～39歳	864	550	63.7	281	32.5	13	1.5	20	2.3
	40～44歳	1,451	885	61.0	503	34.7	34	2.3	29	2.0
	45～49歳	1,670	912	54.6	671	40.2	49	2.9	38	2.3
	50～54歳	1,819	662	36.4	874	48.0	164	9.0	119	6.5
	55～59歳	2,188	589	26.9	1,079	49.3	368	16.8	152	6.9
	60～64歳	3,366	697	20.7	1,666	49.5	805	23.9	198	5.9
	65～69歳	5,719	1,113	19.5	2,609	45.6	1,731	30.3	266	4.7
	70～74歳	8,693	1,663	19.1	3,544	40.8	3,191	36.7	295	3.4
	75～79歳	5,342	1,137	21.3	1,847	34.6	2,229	41.7	129	2.4
	80歳以上	3,624	930	25.7	1,218	33.6	1,388	38.3	88	2.4
小計	35,294	9,558	27.1	14,423	40.9	9,974	28.3	1,339	3.8	
総数	～19歳	6	4	66.7	2	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	101	63	62.4	35	34.7	1	1.0	2	2.0
	25～29歳	196	139	70.9	53	27.0	1	0.5	3	1.5
	30～34歳	602	398	66.1	178	29.6	4	0.7	22	3.7
	35～39歳	1,272	717	56.4	475	37.3	25	2.0	55	4.3
	40～44歳	2,262	1,159	51.2	911	40.3	79	3.5	113	5.0
	45～49歳	2,645	1,193	45.1	1,159	43.8	146	5.5	147	5.6
	50～54歳	2,922	956	32.7	1,414	48.4	326	11.2	226	7.7
	55～59歳	3,340	901	27.0	1,607	48.1	577	17.3	255	7.6
	60～64歳	5,025	1,132	22.5	2,369	47.1	1,205	24.0	319	6.3
	65～69歳	9,599	2,192	22.8	4,229	44.1	2,718	28.3	460	4.8
	70～74歳	14,970	3,466	23.2	5,934	39.6	5,041	33.7	529	3.5
	75～79歳	9,641	2,533	26.3	3,336	34.6	3,497	36.3	275	2.9
	80歳以上	7,045	2,323	33.0	2,235	31.7	2,319	32.9	168	2.4
合計	59,626	17,176	28.8	23,937	40.1	15,939	26.7	2,574	4.3	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、59,626人に血中脂質検査を行った。
 男女別では、男性24,332人（40.8%）女性35,294人（59.2%）であった。
 また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）28.8%、要指導40.1%、治療継続26.7%、要医療4.3%であった。

【特定健診等】糖代謝検査結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	54	49	90.7	4	7.4	1	1.9	0	0.0
	25～29歳	83	71	85.5	11	13.3	0	0.0	1	1.2
	30～34歳	207	150	72.5	52	25.1	1	0.5	4	1.9
	35～39歳	408	271	66.4	119	29.2	9	2.2	9	2.2
	40～44歳	811	502	61.9	263	32.4	26	3.2	20	2.5
	45～49歳	975	527	54.1	376	38.6	47	4.8	25	2.6
	50～54歳	1,103	484	43.9	502	45.5	78	7.1	39	3.5
	55～59歳	1,152	460	39.9	526	45.7	103	8.9	63	5.5
	60～64歳	1,659	581	35.0	787	47.4	194	11.7	97	5.8
	65～69歳	3,880	1,252	32.3	1,926	49.6	496	12.8	206	5.3
	70～74歳	6,277	1,857	29.6	3,035	48.4	1,007	16.0	378	6.0
	75～79歳	4,299	1,188	27.6	2,137	49.7	688	16.0	286	6.7
	80歳以上	3,421	891	26.0	1,783	52.1	521	15.2	226	6.6
小計	24,332	8,286	34.1	11,521	47.3	3,171	13.0	1,354	5.6	
女性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	47	44	93.6	3	6.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	113	105	92.9	7	6.2	0	0.0	1	0.9
	30～34歳	395	338	85.6	50	12.7	5	1.3	2	0.5
	35～39歳	864	668	77.3	185	21.4	6	0.7	5	0.6
	40～44歳	1,451	1,101	75.9	323	22.3	17	1.2	10	0.7
	45～49歳	1,670	1,140	68.3	496	29.7	25	1.5	9	0.5
	50～54歳	1,819	1,049	57.7	686	37.7	47	2.6	37	2.0
	55～59歳	2,188	1,126	51.5	954	43.6	62	2.8	46	2.1
	60～64歳	3,366	1,508	44.8	1,617	48.0	158	4.7	83	2.5
	65～69歳	5,719	2,323	40.6	2,939	51.4	308	5.4	149	2.6
	70～74歳	8,693	2,963	34.1	4,769	54.9	650	7.5	311	3.6
	75～79歳	5,342	1,603	30.0	3,033	56.8	468	8.8	238	4.5
	80歳以上	3,624	1,026	28.3	2,098	57.9	321	8.9	179	4.9
小計	35,294	14,997	42.5	17,160	48.6	2,067	5.9	1,070	3.0	
総数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	101	93	92.1	7	6.9	1	1.0	0	0.0
	25～29歳	196	176	89.8	18	9.2	0	0.0	2	1.0
	30～34歳	602	488	81.1	102	16.9	6	1.0	6	1.0
	35～39歳	1,272	939	73.8	304	23.9	15	1.2	14	1.1
	40～44歳	2,262	1,603	70.9	586	25.9	43	1.9	30	1.3
	45～49歳	2,645	1,667	63.0	872	33.0	72	2.7	34	1.3
	50～54歳	2,922	1,533	52.5	1,188	40.7	125	4.3	76	2.6
	55～59歳	3,340	1,586	47.5	1,480	44.3	165	4.9	109	3.3
	60～64歳	5,025	2,089	41.6	2,404	47.8	352	7.0	180	3.6
	65～69歳	9,599	3,575	37.2	4,865	50.7	804	8.4	355	3.7
	70～74歳	14,970	4,820	32.2	7,804	52.1	1,657	11.1	689	4.6
	75～79歳	9,641	2,791	28.9	5,170	53.6	1,156	12.0	524	5.4
	80歳以上	7,045	1,917	27.2	3,881	55.1	842	12.0	405	5.7
合計	59,626	23,283	39.0	28,681	48.1	5,238	8.8	2,424	4.1	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、59,626人に糖代謝検査を行った。男女別では、男性24,332人（40.8%）女性35,294人（59.2%）であった。また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）39.0%、要指導48.1%、治療継続8.8%、要医療4.1%であった。

【特定健診等】尿検査（蛋白）結果

令和4年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	37	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	77	77	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	230	227	98.7	2	0.9	1	0.4
	35～39歳	363	351	96.7	10	2.8	2	0.6
	40～44歳	762	746	97.9	16	2.1	0	0.0
	45～49歳	878	854	97.3	17	1.9	7	0.8
	50～54歳	883	860	97.4	14	1.6	9	1.0
	55～59歳	1,067	1,040	97.5	12	1.1	15	1.4
	60～64歳	1,955	1,890	96.7	40	2.0	25	1.3
	65～69歳	5,038	4,879	96.8	102	2.0	57	1.1
	70～74歳	5,159	4,931	95.6	115	2.2	113	2.2
	75～79歳	3,443	3,270	95.0	102	3.0	71	2.1
	80歳以上	2,536	2,373	93.6	87	3.4	76	3.0
小計	22,431	21,538	96.0	517	2.3	376	1.7	
女性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	57	98.3	1	1.7	0	0.0
	25～29歳	140	136	97.1	3	2.1	1	0.7
	30～34歳	410	404	98.5	3	0.7	3	0.7
	35～39歳	728	719	98.8	6	0.8	3	0.4
	40～44歳	1,400	1,368	97.7	27	1.9	5	0.4
	45～49歳	1,472	1,446	98.2	18	1.2	8	0.5
	50～54歳	1,687	1,672	99.1	9	0.5	6	0.4
	55～59歳	2,140	2,122	99.2	13	0.6	5	0.2
	60～64歳	3,821	3,793	99.3	20	0.5	8	0.2
	65～69歳	7,778	7,707	99.1	48	0.6	23	0.3
	70～74歳	7,070	6,997	99.0	40	0.6	33	0.5
	75～79歳	4,260	4,189	98.3	45	1.1	26	0.6
	80歳以上	2,326	2,253	96.9	44	1.9	29	1.2
小計	33,292	32,865	98.5	277	0.8	150	0.5	
総数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	94	98.9	1	1.1	0	0.0
	25～29歳	217	213	98.2	3	1.4	1	0.5
	30～34歳	640	631	98.6	5	0.8	4	0.6
	35～39歳	1,091	1,070	98.1	16	1.5	5	0.5
	40～44歳	2,162	2,114	97.8	43	2.0	5	0.2
	45～49歳	2,350	2,300	97.9	35	1.5	15	0.6
	50～54歳	2,570	2,532	98.5	23	0.9	15	0.6
	55～59歳	3,207	3,162	98.6	25	0.8	20	0.6
	60～64歳	5,776	5,683	98.4	60	1.0	33	0.6
	65～69歳	12,816	12,586	98.2	150	1.2	80	0.6
	70～74歳	12,229	11,928	97.5	155	1.3	146	1.2
	75～79歳	7,703	7,459	96.8	147	1.9	97	1.3
	80歳以上	4,862	4,626	95.1	131	2.7	105	2.2
合計	55,723	54,403	98.0	794	1.4	526	0.9	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,723人に尿蛋白検査を行った。
 男女別では、男性22,431人（40.3%）女性33,292人（59.7%）であった。
 また、年齢階級では、65～69歳が最も多く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）98.0%、要指導1.4%、要医療0.9%であった。

【特定健診等】尿検査（糖）結果

令和4年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	37	37	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	77	77	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	230	227	98.7	3	1.3	0	0.0
	35～39歳	363	362	99.7	0	0.0	1	0.3
	40～44歳	762	743	97.5	2	0.3	17	2.2
	45～49歳	878	854	97.3	4	0.5	20	2.3
	50～54歳	883	849	96.1	5	0.6	29	3.3
	55～59歳	1,067	1,018	95.4	14	1.3	35	3.3
	60～64歳	1,955	1,862	95.2	25	1.3	68	3.5
	65～69歳	5,038	4,813	95.5	63	1.3	162	3.2
	70～74歳	5,159	4,949	95.9	65	1.3	145	2.8
	75～79歳	3,443	3,309	96.1	44	1.3	90	2.6
	80歳以上	2,536	2,454	96.8	29	1.1	53	2.1
小計	22,431	21,557	96.1	254	1.1	620	2.8	
女性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	58	58	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	140	139	99.3	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	410	410	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	728	727	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	1,400	1,399	99.9	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	1,472	1,458	99.0	1	0.1	13	0.9
	50～54歳	1,687	1,674	99.2	3	0.2	10	0.6
	55～59歳	2,140	2,113	98.7	3	0.1	24	1.1
	60～64歳	3,821	3,783	99.0	8	0.2	30	0.8
	65～69歳	7,778	7,695	98.9	15	0.2	68	0.9
	70～74歳	7,070	7,001	99.0	20	0.3	49	0.7
	75～79歳	4,260	4,219	99.0	8	0.2	33	0.8
	80歳以上	2,326	2,298	98.8	6	0.3	22	0.9
小計	33,292	32,976	99.1	64	0.2	252	0.8	
総数	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	217	216	99.5	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	640	637	99.5	3	0.5	0	0.0
	35～39歳	1,091	1,089	99.8	0	0.0	2	0.2
	40～44歳	2,162	2,142	99.1	2	0.1	18	0.8
	45～49歳	2,350	2,312	98.4	5	0.2	33	1.4
	50～54歳	2,570	2,523	98.2	8	0.3	39	1.5
	55～59歳	3,207	3,131	97.6	17	0.5	59	1.8
	60～64歳	5,776	5,645	97.7	33	0.6	98	1.7
	65～69歳	12,816	12,508	97.6	78	0.6	230	1.8
	70～74歳	12,229	11,950	97.7	85	0.7	194	1.6
	75～79歳	7,703	7,528	97.7	52	0.7	123	1.6
	80歳以上	4,862	4,752	97.7	35	0.7	75	1.5
合計	55,723	54,533	97.9	318	0.6	872	1.6	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、55,723人に尿糖検査を行った。男女別では、男性22,431人（40.3%）女性33,292人（59.7%）であった。また、年齢階級では、65～69歳が最も多く、次いで、70～74歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.9%、要指導0.6%、要医療1.6%であった。

【事業所健診】 総合判定結果

令和4年度

	受診者数	判 定										
		異常なし		有所見		要指導		要精検		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	807	255	31.6	10	1.2	397	49.2	0	0.0	141	17.5
	20～24歳	1,979	607	30.7	44	2.2	936	47.3	8	0.4	362	18.3
	25～29歳	2,070	485	23.4	41	2.0	1,041	50.3	5	0.2	446	21.5
	30～34歳	1,842	311	16.9	49	2.7	916	49.7	3	0.2	493	26.8
	35～39歳	1,912	228	11.9	49	2.6	907	47.4	37	1.9	596	31.2
	40～44歳	2,538	162	6.4	69	2.7	1,115	43.9	88	3.5	885	34.9
	45～49歳	3,520	152	4.3	82	2.3	1,421	40.4	143	4.1	1,207	34.3
	50～54歳	3,554	92	2.6	62	1.7	1,193	33.6	170	4.8	1,334	37.5
	55～59歳	3,337	50	1.5	42	1.3	981	29.4	209	6.3	1,141	34.2
	60～64歳	2,500	27	1.1	34	1.4	608	24.3	167	6.7	906	36.2
	65～69歳	1,218	16	1.3	10	0.8	238	19.5	78	6.4	486	39.9
	70～74歳	780	4	0.5	5	0.6	122	15.6	47	6.0	320	41.0
	75～79歳	210	3	1.4	1	0.5	30	14.3	10	4.8	89	42.4
80歳以上	99	0	0.0	0	0.0	4	4.0	1	1.0	70	70.7	
小 計	26,366	2,392	9.1	498	1.9	9,909	37.6	966	3.7	8,476	32.1	
女 性	～19歳	811	398	49.1	8	1.0	302	37.2	1	0.1	98	12.1
	20～24歳	1,604	810	50.5	19	1.2	563	35.1	3	0.2	185	11.5
	25～29歳	1,527	610	39.9	36	2.4	678	44.4	8	0.5	169	11.1
	30～34歳	1,232	420	34.1	37	3.0	540	43.8	7	0.6	187	15.2
	35～39歳	1,416	359	25.4	60	4.2	598	42.2	45	3.2	301	21.3
	40～44歳	2,387	421	17.6	98	4.1	1,055	44.2	80	3.4	588	24.6
	45～49歳	3,187	416	13.1	119	3.7	1,446	45.4	96	3.0	800	25.1
	50～54歳	3,184	232	7.3	78	2.4	1,377	43.2	137	4.3	860	27.0
	55～59歳	2,461	104	4.2	51	2.1	1,024	41.6	97	3.9	672	27.3
	60～64歳	1,801	68	3.8	27	1.5	706	39.2	62	3.4	448	24.9
	65～69歳	945	19	2.0	15	1.6	314	33.2	33	3.5	259	27.4
	70～74歳	519	8	1.5	2	0.4	133	25.6	18	3.5	167	32.2
	75～79歳	107	0	0.0	0	0.0	21	19.6	0	0.0	48	44.9
80歳以上	198	1	0.5	0	0.0	13	6.6	0	0.0	131	66.2	
小 計	21,379	3,866	18.1	550	2.6	8,770	41.0	587	2.7	4,913	23.0	
総 数	～19歳	1,618	653	40.4	18	1.1	699	43.2	1	0.1	239	14.8
	20～24歳	3,583	1,417	39.5	63	1.8	1,499	41.8	11	0.3	547	15.3
	25～29歳	3,597	1,095	30.4	77	2.1	1,719	47.8	13	0.4	615	17.1
	30～34歳	3,074	731	23.8	86	2.8	1,456	47.4	10	0.3	680	22.1
	35～39歳	3,328	587	17.6	109	3.3	1,505	45.2	82	2.5	897	27.0
	40～44歳	4,925	583	11.8	167	3.4	2,170	44.1	168	3.4	1,473	29.9
	45～49歳	6,707	568	8.5	201	3.0	2,867	42.7	239	3.6	2,007	29.9
	50～54歳	6,738	324	4.8	140	2.1	2,570	38.1	307	4.6	2,194	32.6
	55～59歳	5,798	154	2.7	93	1.6	2,005	34.6	306	5.3	1,813	31.3
	60～64歳	4,301	95	2.2	61	1.4	1,314	30.6	229	5.3	1,354	31.5
	65～69歳	2,163	35	1.6	25	1.2	552	25.5	111	5.1	745	34.4
	70～74歳	1,299	12	0.9	7	0.5	255	19.6	65	5.0	487	37.5
	75～79歳	317	3	0.9	1	0.3	51	16.1	10	3.2	137	43.2
80歳以上	297	1	0.3	0	0.0	17	5.7	1	0.3	201	67.7	
合 計	47,745	6,258	13.1	1,048	2.2	18,679	39.1	1,553	3.3	13,389	28.0	

実施状況

事業所の健康診査のなかで、47,745人に総合判定を行った。

男女別では、男性26,366人（55.2%）女性21,379人（44.8%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）13.1%、有所見2.2%、要指導39.1%、要精検3.3%、要医療28.0%であった。

【事業所健診】 診察結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有 所 見		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	261	259	99.23	1	0.38	0	0.00	1	0.38
	20～24歳	1,110	1,097	98.83	10	0.90	0	0.00	3	0.27
	25～29歳	1,049	1,033	98.47	10	0.95	0	0.00	6	0.57
	30～34歳	1,186	1,173	98.90	5	0.42	0	0.00	8	0.67
	35～39歳	1,386	1,370	98.85	8	0.58	1	0.07	7	0.51
	40～44歳	1,788	1,773	99.16	9	0.50	0	0.00	6	0.34
	45～49歳	2,211	2,180	98.60	21	0.95	1	0.05	9	0.41
	50～54歳	2,119	2,085	98.40	23	1.09	0	0.00	11	0.52
	55～59歳	1,915	1,873	97.81	25	1.31	2	0.10	15	0.78
	60～64歳	1,606	1,540	95.89	37	2.30	0	0.00	29	1.81
	65～69歳	1,132	1,074	94.88	35	3.09	2	0.18	21	1.86
	70～74歳	762	715	93.83	24	3.15	2	0.26	21	2.76
	75～79歳	203	184	90.64	11	5.42	0	0.00	8	3.94
	80歳以上	84	73	86.90	11	13.10	0	0.00	0	0.00
小 計	16,812	16,429	97.72	230	1.37	8	0.05	145	0.86	
女 性	～19歳	232	230	99.14	2	0.86	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	1,065	1,060	99.53	3	0.28	0	0.00	2	0.19
	25～29歳	968	946	97.73	17	1.76	1	0.10	4	0.41
	30～34歳	841	828	98.45	7	0.83	1	0.12	5	0.59
	35～39歳	1,106	1,083	97.92	11	0.99	4	0.36	8	0.72
	40～44歳	1,977	1,933	97.77	21	1.06	3	0.15	20	1.01
	45～49歳	2,530	2,472	97.71	39	1.54	2	0.08	17	0.67
	50～54歳	2,590	2,532	97.76	30	1.16	8	0.31	20	0.77
	55～59歳	2,040	1,994	97.75	23	1.13	5	0.25	18	0.88
	60～64歳	1,572	1,524	96.95	31	1.97	1	0.06	16	1.02
	65～69歳	906	888	98.01	10	1.10	0	0.00	8	0.88
	70～74歳	511	484	94.72	12	2.35	1	0.20	14	2.74
	75～79歳	103	96	93.20	2	1.94	0	0.00	5	4.85
	80歳以上	183	159	86.89	16	8.74	0	0.00	8	4.37
小 計	16,624	16,229	97.62	224	1.35	26	0.16	145	0.87	
総 数	～19歳	493	489	99.19	3	0.61	0	0.00	1	0.20
	20～24歳	2,175	2,157	99.17	13	0.60	0	0.00	5	0.23
	25～29歳	2,017	1,979	98.12	27	1.34	1	0.05	10	0.50
	30～34歳	2,027	2,001	98.72	12	0.59	1	0.05	13	0.64
	35～39歳	2,492	2,453	98.43	19	0.76	5	0.20	15	0.60
	40～44歳	3,765	3,706	98.43	30	0.80	3	0.08	26	0.69
	45～49歳	4,741	4,652	98.12	60	1.27	3	0.06	26	0.55
	50～54歳	4,709	4,617	98.05	53	1.13	8	0.17	31	0.66
	55～59歳	3,955	3,867	97.77	48	1.21	7	0.18	33	0.83
	60～64歳	3,178	3,064	96.41	68	2.14	1	0.03	45	1.42
	65～69歳	2,038	1,962	96.27	45	2.21	2	0.10	29	1.42
	70～74歳	1,273	1,199	94.19	36	2.83	3	0.24	35	2.75
	75～79歳	306	280	91.50	13	4.25	0	0.00	13	4.25
	80歳以上	267	232	86.89	27	10.11	0	0.00	8	3.00
合 計	33,436	32,658	97.67	454	1.36	34	0.10	290	0.87	

実施状況

事業所健診のなかで、33,436人に診察を行った。

男女別では、男性16,812人（50.3%）女性16,624人（49.7%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）97.67%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回検診まで様子を見ていいもの（有所見）1.4%、治療継続0.1%、要医療0.9%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	804	471	58.6	322	40.0	3	0.4	8	1.0
	20～24歳	2,463	1,725	70.0	713	28.9	6	0.2	19	0.8
	25～29歳	2,081	1,641	78.9	408	19.6	14	0.7	18	0.9
	30～34歳	1,833	1,390	75.8	393	21.4	26	1.4	24	1.3
	35～39歳	1,887	1,365	72.3	421	22.3	56	3.0	45	2.4
	40～44歳	2,520	1,672	66.3	616	24.4	171	6.8	61	2.4
	45～49歳	3,485	2,019	57.9	882	25.3	440	12.6	144	4.1
	50～54歳	3,525	1,692	48.0	928	26.3	724	20.5	181	5.1
	55～59歳	3,323	1,353	40.7	871	26.2	954	28.7	145	4.4
	60～64歳	2,486	820	33.0	590	23.7	948	38.1	128	5.1
	65～69歳	1,205	297	24.6	304	25.2	531	44.1	73	6.1
	70～74歳	770	159	20.6	171	22.2	389	50.5	51	6.6
	75～79歳	203	41	20.2	35	17.2	113	55.7	14	6.9
80歳以上	89	22	24.7	10	11.2	53	59.6	4	4.5	
小 計	26,674	14,667	55.0	6,664	25.0	4,428	16.6	915	3.4	
女 性	～19歳	803	675	84.1	125	15.6	1	0.1	2	0.2
	20～24歳	2,133	1,941	91.0	183	8.6	4	0.2	5	0.2
	25～29歳	1,523	1,441	94.6	75	4.9	0	0.0	7	0.5
	30～34歳	1,212	1,082	89.3	112	9.2	10	0.8	8	0.7
	35～39歳	1,411	1,262	89.4	118	8.4	17	1.2	14	1.0
	40～44歳	2,373	1,992	83.9	271	11.4	71	3.0	39	1.6
	45～49歳	3,157	2,403	76.1	502	15.9	181	5.7	71	2.2
	50～54歳	3,159	2,097	66.4	588	18.6	393	12.4	81	2.6
	55～59歳	2,447	1,496	61.1	462	18.9	415	17.0	74	3.0
	60～64歳	1,788	954	53.4	427	23.9	345	19.3	62	3.5
	65～69歳	940	406	43.2	230	24.5	263	28.0	41	4.4
	70～74歳	515	163	31.7	125	24.3	199	38.6	28	5.4
	75～79歳	103	18	17.5	19	18.4	60	58.3	6	5.8
80歳以上	183	28	15.3	13	7.1	134	73.2	8	4.4	
小 計	21,747	15,958	73.4	3,250	14.9	2,093	9.6	446	2.1	
総 数	～19歳	1,607	1,146	71.3	447	27.8	4	0.2	10	0.6
	20～24歳	4,596	3,666	79.8	896	19.5	10	0.2	24	0.5
	25～29歳	3,604	3,082	85.5	483	13.4	14	0.4	25	0.7
	30～34歳	3,045	2,472	81.2	505	16.6	36	1.2	32	1.1
	35～39歳	3,298	2,627	79.7	539	16.3	73	2.2	59	1.8
	40～44歳	4,893	3,664	74.9	887	18.1	242	4.9	100	2.0
	45～49歳	6,642	4,422	66.6	1,384	20.8	621	9.3	215	3.2
	50～54歳	6,684	3,789	56.7	1,516	22.7	1,117	16.7	262	3.9
	55～59歳	5,770	2,849	49.4	1,333	23.1	1,369	23.7	219	3.8
	60～64歳	4,274	1,774	41.5	1,017	23.8	1,293	30.3	190	4.4
	65～69歳	2,145	703	32.8	534	24.9	794	37.0	114	5.3
	70～74歳	1,285	322	25.1	296	23.0	588	45.8	79	6.1
	75～79歳	306	59	19.3	54	17.6	173	56.5	20	6.5
80歳以上	272	50	18.4	23	8.5	187	68.8	12	4.4	
合 計	48,421	30,625	63.2	9,914	20.5	6,521	13.5	1,361	2.8	

実施状況

事業所健診のなかで、48,421人に血圧測定を行った。

男女別では、男性26,674人（55.1%）女性21,747人（44.9%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）63.2%、要指導20.5%、治療継続13.5%、要医療2.8%であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

令和4年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	705	683	96.9	20	2.8	2	0.3
	20～24歳	3,162	3,058	96.7	94	3.0	10	0.3
	25～29歳	2,026	1,981	97.8	36	1.8	9	0.4
	30～34歳	1,798	1,750	97.3	39	2.2	9	0.5
	35～39歳	1,861	1,826	98.1	25	1.3	10	0.5
	40～44歳	2,499	2,446	97.9	37	1.5	16	0.6
	45～49歳	3,462	3,396	98.1	45	1.3	21	0.6
	50～54歳	3,503	3,401	97.1	74	2.1	28	0.8
	55～59歳	3,315	3,205	96.7	82	2.5	28	0.8
	60～64歳	2,470	2,355	95.3	83	3.4	32	1.3
	65～69歳	1,183	1,126	95.2	39	3.3	18	1.5
	70～74歳	757	714	94.3	31	4.1	12	1.6
	75～79歳	192	182	94.8	5	2.6	5	2.6
	80歳以上	129	83	64.3	3	2.3	43	33.3
小計	27,062	26,206	96.8	613	2.3	243	0.9	
女性	～19歳	706	689	97.6	11	1.6	6	0.8
	20～24歳	2,848	2,780	97.6	53	1.9	15	0.5
	25～29歳	1,496	1,473	98.5	21	1.4	2	0.1
	30～34歳	1,194	1,167	97.7	21	1.8	6	0.5
	35～39歳	1,396	1,370	98.1	24	1.7	2	0.1
	40～44歳	2,354	2,320	98.6	27	1.1	7	0.3
	45～49歳	3,131	3,075	98.2	48	1.5	8	0.3
	50～54歳	3,129	3,084	98.6	34	1.1	11	0.4
	55～59歳	2,442	2,414	98.9	20	0.8	8	0.3
	60～64歳	1,782	1,769	99.3	8	0.4	5	0.3
	65～69歳	937	930	99.3	6	0.6	1	0.1
	70～74歳	510	502	98.4	7	1.4	1	0.2
	75～79歳	93	89	95.7	3	3.2	1	1.1
	80歳以上	155	140	90.3	10	6.5	5	3.2
小計	22,173	21,802	98.3	293	1.3	78	0.4	
総数	～19歳	1,411	1,372	97.2	31	2.2	8	0.6
	20～24歳	6,010	5,838	97.1	147	2.4	25	0.4
	25～29歳	3,522	3,454	98.1	57	1.6	11	0.3
	30～34歳	2,992	2,917	97.5	60	2.0	15	0.5
	35～39歳	3,257	3,196	98.1	49	1.5	12	0.4
	40～44歳	4,853	4,766	98.2	64	1.3	23	0.5
	45～49歳	6,593	6,471	98.1	93	1.4	29	0.4
	50～54歳	6,632	6,485	97.8	108	1.6	39	0.6
	55～59歳	5,757	5,619	97.6	102	1.8	36	0.6
	60～64歳	4,252	4,124	97.0	91	2.1	37	0.9
	65～69歳	2,120	2,056	97.0	45	2.1	19	0.9
	70～74歳	1,267	1,216	96.0	38	3.0	13	1.0
	75～79歳	285	271	95.1	8	2.8	6	2.1
	80歳以上	284	223	78.5	13	4.6	48	16.9
合計	49,235	48,008	97.5	906	1.8	321	0.7	

実施状況

事業所健診のなかで、49,235人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性27,062人（55.0%）女性22,173人（45.0%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.5%、要指導1.8%、要医療0.7%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

令和4年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	705	701	99.4	1	0.1	3	0.4
	20～24歳	3,162	3,139	99.3	4	0.1	19	0.6
	25～29歳	2,026	1,998	98.6	9	0.4	19	0.9
	30～34歳	1,798	1,761	97.9	6	0.3	31	1.7
	35～39歳	1,861	1,812	97.4	8	0.4	41	2.2
	40～44歳	2,499	2,403	96.2	21	0.8	75	3.0
	45～49歳	3,462	3,286	94.9	65	1.9	111	3.2
	50～54歳	3,503	3,229	92.2	102	2.9	172	4.9
	55～59歳	3,315	3,012	90.9	124	3.7	179	5.4
	60～64歳	2,470	2,233	90.4	73	3.0	164	6.6
	65～69歳	1,153	1,034	89.7	5	0.4	114	9.9
	70～74歳	757	656	86.7	0	0.0	101	13.3
	75～79歳	192	170	88.5	0	0.0	22	11.5
	80歳以上	86	80	93.0	0	0.0	6	7.0
小計	26,989	25,514	94.5	418	1.5	1,057	3.9	
女性	～19歳	706	703	99.6	1	0.1	2	0.3
	20～24歳	2,849	2,838	99.6	0	0.0	11	0.4
	25～29歳	1,496	1,487	99.4	4	0.3	5	0.3
	30～34歳	1,194	1,185	99.2	2	0.2	7	0.6
	35～39歳	1,396	1,385	99.2	1	0.1	10	0.7
	40～44歳	2,354	2,326	98.8	0	0.0	28	1.2
	45～49歳	3,131	3,091	98.7	8	0.3	32	1.0
	50～54歳	3,129	3,077	98.3	9	0.3	43	1.4
	55～59歳	2,442	2,386	97.7	14	0.6	42	1.7
	60～64歳	1,782	1,742	97.8	7	0.4	33	1.9
	65～69歳	937	908	96.9	1	0.1	28	3.0
	70～74歳	510	493	96.7	0	0.0	17	3.3
	75～79歳	93	93	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	155	148	95.5	0	0.0	7	4.5
小計	22,174	21,862	98.6	47	0.2	265	1.2	
総数	～19歳	1,411	1,404	99.5	2	0.1	5	0.4
	20～24歳	6,011	5,977	99.4	4	0.1	30	0.5
	25～29歳	3,522	3,485	98.9	13	0.4	24	0.7
	30～34歳	2,992	2,946	98.5	8	0.3	38	1.3
	35～39歳	3,257	3,197	98.2	9	0.3	51	1.6
	40～44歳	4,853	4,729	97.4	21	0.4	103	2.1
	45～49歳	6,593	6,377	96.7	73	1.1	143	2.2
	50～54歳	6,632	6,306	95.1	111	1.7	215	3.2
	55～59歳	5,757	5,398	93.8	138	2.4	221	3.8
	60～64歳	4,252	3,975	93.5	80	1.9	197	4.6
	65～69歳	2,090	1,942	92.9	6	0.3	142	6.8
	70～74歳	1,267	1,149	90.7	0	0.0	118	9.3
	75～79歳	285	263	92.3	0	0.0	22	7.7
	80歳以上	241	228	94.6	0	0.0	13	5.4
合計	49,163	47,376	96.4	465	0.9	1,322	2.7	

実施状況

事業所健診のなかで、49,163人に尿糖検査を行った。

男女別では、男性26,989人（54.9%）女性22,174人（45.1%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.4%、要指導0.9%、要医療2.7%であった。

【事業所健診】肝機能結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	705	539	76.45	104	14.75	0	0.00	62	8.794
	20～24歳	1,662	1,118	67.27	307	18.47	11	0.66	226	13.60
	25～29歳	1,983	1,294	65.25	378	19.06	16	0.81	295	14.88
	30～34歳	1,749	983	56.20	429	24.53	15	0.86	322	18.41
	35～39歳	1,858	1,007	54.20	473	25.46	14	0.75	364	19.59
	40～44歳	2,504	1,268	50.64	705	28.15	38	1.52	493	19.69
	45～49歳	3,481	1,726	49.58	1,056	30.34	74	2.13	625	17.95
	50～54歳	3,499	1,713	48.96	1,067	30.49	93	2.66	626	17.89
	55～59歳	3,289	1,659	50.44	1,043	31.71	102	3.10	485	14.75
	60～64歳	2,460	1,308	53.17	760	30.89	84	3.41	308	12.52
	65～69歳	1,165	661	56.74	331	28.41	16	1.37	157	13.48
	70～74歳	735	455	61.90	201	27.35	16	2.18	63	8.57
	75～79歳	186	124	66.67	43	23.12	5	2.69	14	7.53
	80歳以上	93	66	70.97	20	21.51	0	0.00	7	7.53
小計	25,369	13,921	54.87	6,917	27.27	484	1.91	4,047	15.95	
女性	～19歳	758	718	94.72	33	4.35	0	0.00	7	0.92
	20～24歳	1,202	1,114	92.68	51	4.24	2	0.17	35	2.91
	25～29歳	1,411	1,279	90.64	94	6.66	3	0.21	35	2.48
	30～34歳	1,153	1,038	90.03	77	6.68	2	0.17	36	3.12
	35～39歳	1,377	1,206	87.58	127	9.22	2	0.15	42	3.05
	40～44歳	2,350	2,043	86.94	223	9.49	12	0.51	72	3.06
	45～49歳	3,133	2,605	83.15	377	12.03	30	0.96	121	3.86
	50～54歳	3,116	2,376	76.25	510	16.37	55	1.77	175	5.62
	55～59歳	2,424	1,797	74.13	444	18.32	33	1.36	150	6.19
	60～64歳	1,772	1,305	73.65	353	19.92	41	2.31	73	4.12
	65～69歳	923	707	76.60	164	17.77	14	1.52	38	4.12
	70～74歳	495	375	75.76	89	17.98	11	2.22	20	4.04
	75～79歳	94	75	79.79	10	10.64	4	4.26	5	5.32
	80歳以上	191	145	75.92	25	13.09	5	2.62	16	8.38
小計	20,399	16,783	82.27	2,577	12.63	214	1.05	825	4.04	
総数	～19歳	1,463	1,257	85.92	137	9.36	0	0.00	69	4.72
	20～24歳	2,864	2,232	77.93	358	12.50	13	0.45	261	9.11
	25～29歳	3,394	2,573	75.81	472	13.91	19	0.56	330	9.72
	30～34歳	2,902	2,021	69.64	506	17.44	17	0.59	358	12.34
	35～39歳	3,235	2,213	68.41	600	18.55	16	0.49	406	12.55
	40～44歳	4,854	3,311	68.21	928	19.12	50	1.03	565	11.64
	45～49歳	6,614	4,331	65.48	1,433	21.67	104	1.57	746	11.28
	50～54歳	6,615	4,089	61.81	1,577	23.84	148	2.24	801	12.11
	55～59歳	5,713	3,456	60.49	1,487	26.03	135	2.36	635	11.12
	60～64歳	4,232	2,613	61.74	1,113	26.30	125	2.95	381	9.00
	65～69歳	2,088	1,368	65.52	495	23.71	30	1.44	195	9.34
	70～74歳	1,230	830	67.48	290	23.58	27	2.20	83	6.75
	75～79歳	280	199	71.07	53	18.93	9	3.21	19	6.79
	80歳以上	284	211	74.30	45	15.85	5	1.76	23	8.10
合計	45,768	30,704	67.09	9,494	20.74	698	1.53	4,872	10.64	

実施状況

事業所健診のなかで、45,768人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性25,369人（55.4%）女性20,399人（44.6%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）67.09%、要指導20.74%、治療継続1.53%、要医療10.64%であった。

【事業所健診】 血中脂質検査結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	617	490	79.4	121	19.6	0	0.0	6	1.0
	20～24歳	1,622	1,067	65.8	503	31.0	6	0.4	46	2.8
	25～29歳	1,979	1,158	58.5	717	36.2	25	1.3	79	4.0
	30～34歳	1,745	824	47.2	773	44.3	43	2.5	105	6.0
	35～39歳	1,858	769	41.4	906	48.8	59	3.2	124	6.7
	40～44歳	2,500	910	36.4	1,260	50.4	132	5.3	198	7.9
	45～49歳	3,477	1,110	31.9	1,747	50.2	380	10.9	240	6.9
	50～54歳	3,498	1,032	29.5	1,696	48.5	520	14.9	250	7.1
	55～59歳	3,283	922	28.1	1,523	46.4	660	20.1	178	5.4
	60～64歳	2,456	754	30.7	1,059	43.1	526	21.4	117	4.8
	65～69歳	1,157	355	30.7	466	40.3	278	24.0	58	5.0
	70～74歳	729	226	31.0	282	38.7	182	25.0	39	5.3
	75～79歳	186	66	35.5	57	30.6	55	29.6	8	4.3
80歳以上	90	43	47.8	24	26.7	16	17.8	7	7.8	
小 計	25,197	9,726	38.6	11,134	44.2	2,882	11.4	1,455	5.8	
女 性	～19歳	622	484	77.8	134	21.5	0	0.0	4	0.6
	20～24歳	1,159	897	77.4	248	21.4	5	0.4	9	0.8
	25～29歳	1,406	1,076	76.5	314	22.3	5	0.4	11	0.8
	30～34歳	1,149	796	69.3	322	28.0	12	1.0	19	1.7
	35～39歳	1,377	920	66.8	412	29.9	14	1.0	31	2.3
	40～44歳	2,348	1,437	61.2	814	34.7	41	1.7	56	2.4
	45～49歳	3,132	1,717	54.8	1,221	39.0	120	3.8	74	2.4
	50～54歳	3,112	1,145	36.8	1,521	48.9	268	8.6	178	5.7
	55～59歳	2,419	678	28.0	1,198	49.5	404	16.7	139	5.7
	60～64歳	1,771	420	23.7	840	47.4	402	22.7	109	6.2
	65～69歳	918	194	21.1	415	45.2	255	27.8	54	5.9
	70～74歳	493	107	21.7	209	42.4	151	30.6	26	5.3
	75～79歳	94	25	26.6	38	40.4	28	29.8	3	3.2
80歳以上	191	74	38.7	63	33.0	41	21.5	13	6.8	
小 計	20,191	9,970	49.4	7,749	38.4	1,746	8.6	726	3.6	
総 数	～19歳	1,239	974	78.6	255	20.6	0	0.0	10	0.8
	20～24歳	2,781	1,964	70.6	751	27.0	11	0.4	55	2.0
	25～29歳	3,385	2,234	66.0	1,031	30.5	30	0.9	90	2.7
	30～34歳	2,894	1,620	56.0	1,095	37.8	55	1.9	124	4.3
	35～39歳	3,235	1,689	52.2	1,318	40.7	73	2.3	155	4.8
	40～44歳	4,848	2,347	48.4	2,074	42.8	173	3.6	254	5.2
	45～49歳	6,609	2,827	42.8	2,968	44.9	500	7.6	314	4.8
	50～54歳	6,610	2,177	32.9	3,217	48.7	788	11.9	428	6.5
	55～59歳	5,702	1,600	28.1	2,721	47.7	1,064	18.7	317	5.6
	60～64歳	4,227	1,174	27.8	1,899	44.9	928	22.0	226	5.3
	65～69歳	2,075	549	26.5	881	42.5	533	25.7	112	5.4
	70～74歳	1,222	333	27.3	491	40.2	333	27.3	65	5.3
	75～79歳	280	91	32.5	95	33.9	83	29.6	11	3.9
80歳以上	281	117	41.6	87	31.0	57	20.3	20	7.1	
合 計	45,388	19,696	43.4	18,883	41.6	4,628	10.2	2,181	4.8	

実施状況

事業所健診のなかで、45,388人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性25,197人（55.5%）女性20,191人（44.5%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）43.4%、要指導41.6%、治療継続10.2%、要医療4.8%であった。

【事業所健診】糖代謝検査結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	407	392	96.3	14	3.4	1	0.2	0	0.0
	20～24歳	1,929	1,789	92.7	122	6.3	6	0.3	12	0.6
	25～29歳	2,061	1,855	90.0	177	8.6	15	0.7	14	0.7
	30～34歳	1,829	1,551	84.8	231	12.6	22	1.2	25	1.4
	35～39歳	1,886	1,566	83.0	262	13.9	34	1.8	24	1.3
	40～44歳	2,519	1,941	77.1	434	17.2	84	3.3	60	2.4
	45～49歳	3,483	2,350	67.5	868	24.9	177	5.1	88	2.5
	50～54歳	3,522	2,103	59.7	985	28.0	299	8.5	135	3.8
	55～59歳	3,323	1,698	51.1	1,093	32.9	387	11.6	145	4.4
	60～64歳	2,487	1,163	46.8	876	35.2	332	13.3	116	4.7
	65～69歳	1,204	599	49.8	358	29.7	178	14.8	69	5.7
	70～74歳	777	328	42.2	261	33.6	139	17.9	49	6.3
	75～79歳	208	82	39.4	69	33.2	44	21.2	13	6.3
80歳以上	99	43	43.4	37	37.4	11	11.1	8	8.1	
小計	25,734	17,460	67.8	5,787	22.5	1,729	6.7	758	2.9	
女性	～19歳	295	282	95.6	13	4.4	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,560	1,484	95.1	66	4.2	2	0.1	8	0.5
	25～29歳	1,510	1,406	93.1	91	6.0	4	0.3	9	0.6
	30～34歳	1,208	1,069	88.5	123	10.2	9	0.7	7	0.6
	35～39歳	1,408	1,249	88.7	143	10.2	10	0.7	6	0.4
	40～44歳	2,370	1,968	83.0	354	14.9	31	1.3	17	0.7
	45～49歳	3,155	2,524	80.0	556	17.6	50	1.6	25	0.8
	50～54歳	3,158	2,299	72.8	746	23.6	80	2.5	33	1.0
	55～59歳	2,446	1,573	64.3	730	29.8	100	4.1	43	1.8
	60～64歳	1,788	1,061	59.3	605	33.8	93	5.2	29	1.6
	65～69歳	941	489	52.0	368	39.1	65	6.9	19	2.0
	70～74歳	519	249	48.0	205	39.5	47	9.1	18	3.5
	75～79歳	105	45	42.9	42	40.0	13	12.4	5	4.8
80歳以上	198	73	36.9	80	40.4	22	11.1	23	11.6	
小計	20,661	15,771	76.3	4,122	20.0	526	2.5	242	1.2	
総数	～19歳	702	674	96.0	27	3.8	1	0.1	0	0.0
	20～24歳	3,489	3,273	93.8	188	5.4	8	0.2	20	0.6
	25～29歳	3,571	3,261	91.3	268	7.5	19	0.5	23	0.6
	30～34歳	3,037	2,620	86.3	354	11.7	31	1.0	32	1.1
	35～39歳	3,294	2,815	85.5	405	12.3	44	1.3	30	0.9
	40～44歳	4,889	3,909	80.0	788	16.1	115	2.4	77	1.6
	45～49歳	6,638	4,874	73.4	1,424	21.5	227	3.4	113	1.7
	50～54歳	6,680	4,402	65.9	1,731	25.9	379	5.7	168	2.5
	55～59歳	5,769	3,271	56.7	1,823	31.6	487	8.4	188	3.3
	60～64歳	4,275	2,224	52.0	1,481	34.6	425	9.9	145	3.4
	65～69歳	2,145	1,088	50.7	726	33.8	243	11.3	88	4.1
	70～74歳	1,296	577	44.5	466	36.0	186	14.4	67	5.2
	75～79歳	313	127	40.6	111	35.5	57	18.2	18	5.8
80歳以上	297	116	39.1	117	39.4	33	11.1	31	10.4	
合計	46,395	33,231	71.6	9,909	21.4	2,255	4.9	1,000	2.2	

実施状況

事業所健診のなかで、46,395人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性25,734人（55.5%）女性20,661人（44.5%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）71.6%、要指導21.4%、治療継続4.9%、要医療2.2%であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

令和4年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	788	753	95.6	12	1.5	1	0.1	22	2.8
	20～24歳	3,319	3,124	94.1	84	2.5	1	0.0	110	3.3
	25～29歳	2,089	1,888	90.4	150	7.2	9	0.4	42	2.0
	30～34歳	1,842	1,694	92.0	96	5.2	6	0.3	46	2.5
	35～39歳	1,907	1,740	91.2	120	6.3	8	0.4	39	2.0
	40～44歳	2,533	2,220	87.6	240	9.5	18	0.7	55	2.2
	45～49歳	3,508	3,006	85.7	400	11.4	13	0.4	88	2.5
	50～54歳	3,541	2,904	82.0	472	13.3	50	1.4	115	3.2
	55～59歳	3,324	2,586	77.8	571	17.2	42	1.3	125	3.8
	60～64歳	2,479	1,794	72.4	489	19.7	36	1.5	160	6.5
	65～69歳	1,190	854	71.8	231	19.4	17	1.4	88	7.4
	70～74歳	762	523	68.6	158	20.7	13	1.7	68	8.9
	75～79歳	193	139	72.0	32	16.6	3	1.6	19	9.8
	80歳以上	94	55	58.5	14	14.9	5	5.3	20	21.3
小計	27,569	23,280	84.4	3,069	11.1	222	0.8	997	3.6	
女性	～19歳	748	710	94.9	13	1.7	1	0.1	24	3.2
	20～24歳	2,966	2,718	91.6	141	4.8	3	0.1	104	3.5
	25～29歳	1,521	1,319	86.7	169	11.1	4	0.3	29	1.9
	30～34歳	1,211	1,052	86.9	130	10.7	5	0.4	24	2.0
	35～39歳	1,410	1,216	86.2	146	10.4	6	0.4	42	3.0
	40～44歳	2,369	2,029	85.6	251	10.6	10	0.4	79	3.3
	45～49歳	3,153	2,563	81.3	475	15.1	15	0.5	100	3.2
	50～54歳	3,151	2,448	77.7	550	17.5	19	0.6	134	4.3
	55～59歳	2,445	1,839	75.2	463	18.9	19	0.8	124	5.1
	60～64歳	1,787	1,324	74.1	371	20.8	18	1.0	74	4.1
	65～69歳	937	686	73.2	190	20.3	9	1.0	52	5.5
	70～74歳	512	358	69.9	112	21.9	11	2.1	31	6.1
	75～79歳	96	58	60.4	23	24.0	0	0.0	15	15.6
	80歳以上	191	67	35.1	56	29.3	12	6.3	56	29.3
小計	22,497	18,387	81.7	3,090	13.7	132	0.6	888	3.9	
総数	～19歳	1,536	1,463	95.2	25	1.6	2	0.1	46	3.0
	20～24歳	6,285	5,842	93.0	225	3.6	4	0.1	214	3.4
	25～29歳	3,610	3,207	88.8	319	8.8	13	0.4	71	2.0
	30～34歳	3,053	2,746	89.9	226	7.4	11	0.4	70	2.3
	35～39歳	3,317	2,956	89.1	266	8.0	14	0.4	81	2.4
	40～44歳	4,902	4,249	86.7	491	10.0	28	0.6	134	2.7
	45～49歳	6,661	5,569	83.6	875	13.1	28	0.4	188	2.8
	50～54歳	6,692	5,352	80.0	1,022	15.3	69	1.0	249	3.7
	55～59歳	5,769	4,425	76.7	1,034	17.9	61	1.1	249	4.3
	60～64歳	4,266	3,118	73.1	860	20.2	54	1.3	234	5.5
	65～69歳	2,127	1,540	72.4	421	19.8	26	1.2	140	6.6
	70～74歳	1,274	881	69.2	270	21.2	24	1.9	99	7.8
	75～79歳	289	197	68.2	55	19.0	3	1.0	34	11.8
	80歳以上	285	122	42.8	70	24.6	17	6.0	76	26.7
合計	50,066	41,667	83.2	6,159	12.3	354	0.7	1,885	3.8	

実施状況

事業所健診のなかで、50,066人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性27,569人（55.1%）女性22,497人（44.9%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.2%、要指導12.3%、治療継続0.7%、要医療3.8%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	705	623	88.4	50	7.1	0	0.0	32	4.5
	20～24歳	1,662	1,356	81.6	249	15.0	1	0.1	56	3.4
	25～29歳	1,983	1,662	83.8	261	13.2	1	0.1	59	3.0
	30～34歳	1,749	1,550	88.6	153	8.7	1	0.1	45	2.6
	35～39歳	1,859	1,684	90.6	122	6.6	2	0.1	51	2.7
	40～44歳	2,504	2,245	89.7	182	7.3	2	0.1	75	3.0
	45～49歳	3,483	3,008	86.4	318	9.1	11	0.3	146	4.2
	50～54歳	3,503	2,968	84.7	358	10.2	11	0.3	166	4.7
	55～59歳	3,298	2,755	83.5	381	11.6	11	0.3	151	4.6
	60～64歳	2,477	2,099	84.7	244	9.9	19	0.8	115	4.6
	65～69歳	1,189	1,058	89.0	74	6.2	13	1.1	44	3.7
	70～74歳	747	615	82.3	75	10.0	11	1.5	46	6.2
	75～79歳	200	150	75.0	31	15.5	2	1.0	17	8.5
	80歳以上	98	47	48.0	18	18.4	5	5.1	28	28.6
小 計	25,457	21,820	85.7	2,516	9.9	90	0.4	1,031	4.0	
女 性	～19歳	757	625	82.6	60	7.9	2	0.3	70	9.2
	20～24歳	1,205	895	74.3	199	16.5	13	1.1	98	8.1
	25～29歳	1,418	1,109	78.2	216	15.2	12	0.8	81	5.7
	30～34歳	1,157	847	73.2	190	16.4	20	1.7	100	8.6
	35～39歳	1,379	994	72.1	205	14.9	25	1.8	155	11.2
	40～44歳	2,321	1,666	71.8	332	14.3	54	2.3	269	11.6
	45～49歳	3,122	2,175	69.7	443	14.2	116	3.7	388	12.4
	50～54歳	3,112	2,489	80.0	307	9.9	101	3.2	215	6.9
	55～59歳	2,408	2,093	86.9	201	8.3	24	1.0	90	3.7
	60～64歳	1,754	1,527	87.1	160	9.1	11	0.6	56	3.2
	65～69歳	920	805	87.5	75	8.2	9	1.0	31	3.4
	70～74歳	498	435	87.3	47	9.4	2	0.4	14	2.8
	75～79歳	103	82	79.6	8	7.8	1	1.0	12	11.7
	80歳以上	198	81	40.9	44	22.2	16	8.1	57	28.8
小 計	20,352	15,823	77.7	2,487	12.2	406	2.0	1,636	8.0	
総 数	～19歳	1,462	1,248	85.4	110	7.5	2	0.1	102	7.0
	20～24歳	2,867	2,251	78.5	448	15.6	14	0.5	154	5.4
	25～29歳	3,401	2,771	81.5	477	14.0	13	0.4	140	4.1
	30～34歳	2,906	2,397	82.5	343	11.8	21	0.7	145	5.0
	35～39歳	3,238	2,678	82.7	327	10.1	27	0.8	206	6.4
	40～44歳	4,825	3,911	81.1	514	10.7	56	1.2	344	7.1
	45～49歳	6,605	5,183	78.5	761	11.5	127	1.9	534	8.1
	50～54歳	6,615	5,457	82.5	665	10.1	112	1.7	381	5.8
	55～59歳	5,706	4,848	85.0	582	10.2	35	0.6	241	4.2
	60～64歳	4,231	3,626	85.7	404	9.5	30	0.7	171	4.0
	65～69歳	2,109	1,863	88.3	149	7.1	22	1.0	75	3.6
	70～74歳	1,245	1,050	84.3	122	9.8	13	1.0	60	4.8
	75～79歳	303	232	76.6	39	12.9	3	1.0	29	9.6
	80歳以上	296	128	43.2	62	20.9	21	7.1	85	28.7
合 計	45,809	37,643	82.2	5,003	10.9	496	1.1	2,667	5.8	

実施状況

事業所健診のなかで、45,809人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性25,457人（55.6%）女性20,352人（44.4%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）82.2%、要指導10.9%、治療継続1.1%、要医療5.8%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有所見		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	490	463	94.5	24	4.9	2	0.4	1	0.2
	20～24歳	751	684	91.1	56	7.5	4	0.5	7	0.9
	25～29歳	821	757	92.2	48	5.8	6	0.7	10	1.2
	30～34歳	966	869	90.0	83	8.6	4	0.4	10	1.0
	35～39歳	1,350	1,190	88.1	136	10.1	5	0.4	19	1.4
	40～44歳	2,466	2,142	86.9	257	10.4	26	1.1	41	1.7
	45～49歳	3,436	2,865	83.4	428	12.5	67	1.9	76	2.2
	50～54歳	3,476	2,826	81.3	474	13.6	106	3.0	70	2.0
	55～59歳	3,278	2,499	76.2	517	15.8	167	5.1	95	2.9
	60～64歳	2,456	1,744	71.0	454	18.5	180	7.3	78	3.2
	65～69歳	1,152	746	64.8	234	20.3	104	9.0	68	5.9
	70～74歳	729	443	60.8	151	20.7	93	12.8	42	5.8
	75～79歳	185	85	45.9	47	25.4	34	18.4	19	10.3
80歳以上	86	24	27.9	28	32.6	17	19.8	17	19.8	
小 計	21,642	17,337	80.1	2,937	13.6	815	3.8	553	2.6	
女 性	～19歳	591	579	98.0	12	2.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	573	543	94.8	21	3.7	5	0.9	4	0.7
	25～29歳	710	654	92.1	42	5.9	5	0.7	9	1.3
	30～34歳	680	622	91.5	44	6.5	5	0.7	9	1.3
	35～39歳	1,043	962	92.2	61	5.8	10	1.0	10	1.0
	40～44歳	2,317	2,133	92.1	135	5.8	15	0.6	34	1.5
	45～49歳	3,109	2,787	89.6	239	7.7	35	1.1	48	1.5
	50～54歳	3,103	2,729	87.9	282	9.1	39	1.3	53	1.7
	55～59歳	2,409	2,062	85.6	255	10.6	42	1.7	50	2.1
	60～64歳	1,764	1,430	81.1	242	13.7	38	2.2	54	3.1
	65～69歳	914	715	78.2	129	14.1	28	3.1	42	4.6
	70～74歳	488	349	71.5	76	15.6	29	5.9	34	7.0
	75～79歳	91	57	62.6	22	24.2	3	3.3	9	9.9
80歳以上	162	43	26.5	55	34.0	41	25.3	23	14.2	
小 計	17,954	15,665	87.3	1,615	9.0	295	1.6	379	2.1	
総 数	～19歳	1,081	1,042	96.4	36	3.3	2	0.2	1	0.1
	20～24歳	1,324	1,227	92.7	77	5.8	9	0.7	11	0.8
	25～29歳	1,531	1,411	92.2	90	5.9	11	0.7	19	1.2
	30～34歳	1,646	1,491	90.6	127	7.7	9	0.5	19	1.2
	35～39歳	2,393	2,152	89.9	197	8.2	15	0.6	29	1.2
	40～44歳	4,783	4,275	89.4	392	8.2	41	0.9	75	1.6
	45～49歳	6,545	5,652	86.4	667	10.2	102	1.6	124	1.9
	50～54歳	6,579	5,555	84.4	756	11.5	145	2.2	123	1.9
	55～59歳	5,687	4,561	80.2	772	13.6	209	3.7	145	2.5
	60～64歳	4,220	3,174	75.2	696	16.5	218	5.2	132	3.1
	65～69歳	2,066	1,461	70.7	363	17.6	132	6.4	110	5.3
	70～74歳	1,217	792	65.1	227	18.7	122	10.0	76	6.2
	75～79歳	276	142	51.4	69	25.0	37	13.4	28	10.1
80歳以上	248	67	27.0	83	33.5	58	23.4	40	16.1	
合 計	39,596	33,002	83.3	4,552	11.5	1,110	2.8	932	2.4	

実施状況

事業所健診のなかで、39,596人に心電図検査を行った。

男女別では、男性21,642人（54.7%）女性17,954人（45.3%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.3%、有所見11.5%、治療継続2.8%、要医療2.4%であった。

【事業所健診】眼底検査結果

令和4年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	6	5	83.3	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0
	20～24歳	35	33	94.3	0	0.0	1	2.9	1	2.9	0	0.0
	25～29歳	27	27	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	67	54	80.6	1	1.5	1	1.5	11	16.4	0	0.0
	35～39歳	179	136	76.0	7	3.9	4	2.2	32	17.9	0	0.0
	40～44歳	447	319	71.4	19	4.3	10	2.2	99	22.1	0	0.0
	45～49歳	503	325	64.6	46	9.1	16	3.2	116	23.1	0	0.0
	50～54歳	594	387	65.2	45	7.6	25	4.2	137	23.1	0	0.0
	55～59歳	445	255	57.3	56	12.6	30	6.7	104	23.4	0	0.0
	60～64歳	396	210	53.0	57	14.4	25	6.3	104	26.3	0	0.0
	65～69歳	262	132	50.4	49	18.7	17	6.5	64	24.4	0	0.0
	70～74歳	146	47	32.2	43	29.5	19	13.0	37	25.3	0	0.0
	75～79歳	35	9	25.7	6	17.1	7	20.0	13	37.1	0	0.0
80歳以上	9	0	0.0	2	22.2	1	11.1	6	66.7	0	0.0	
小計	3,151	1,939	61.5	331	10.5	156	5.0	725	23.0	0	0.0	
女性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	15	13	86.7	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0
	25～29歳	16	15	93.8	0	0.0	0	0.0	1	6.3	0	0.0
	30～34歳	43	39	90.7	0	0.0	0	0.0	4	9.3	0	0.0
	35～39歳	197	160	81.2	5	2.5	0	0.0	32	16.2	0	0.0
	40～44歳	447	342	76.5	14	3.1	12	2.7	79	17.7	0	0.0
	45～49歳	507	353	69.6	29	5.7	20	3.9	105	20.7	0	0.0
	50～54歳	622	406	65.3	46	7.4	35	5.6	135	21.7	0	0.0
	55～59歳	483	284	58.8	58	12.0	36	7.5	105	21.7	0	0.0
	60～64歳	323	198	61.3	44	13.6	18	5.6	63	19.5	0	0.0
	65～69歳	176	101	57.4	32	18.2	12	6.8	31	17.6	0	0.0
	70～74歳	82	35	42.7	21	25.6	9	11.0	17	20.7	0	0.0
	75～79歳	16	2	12.5	5	31.3	3	18.8	6	37.5	0	0.0
80歳以上	2	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	
小計	2,931	1,950	66.5	255	8.7	145	4.9	581	19.8	0	0.0	
総数	～19歳	8	7	87.5	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0
	20～24歳	50	46	92.0	0	0.0	1	2.0	3	6.0	0	0.0
	25～29歳	43	42	97.7	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0
	30～34歳	110	93	84.5	1	0.9	1	0.9	15	13.6	0	0.0
	35～39歳	376	296	78.7	12	3.2	4	1.1	64	17.0	0	0.0
	40～44歳	894	661	73.9	33	3.7	22	2.5	178	19.9	0	0.0
	45～49歳	1,010	678	67.1	75	7.4	36	3.6	221	21.9	0	0.0
	50～54歳	1,216	793	65.2	91	7.5	60	4.9	272	22.4	0	0.0
	55～59歳	928	539	58.1	114	12.3	66	7.1	209	22.5	0	0.0
	60～64歳	719	408	56.7	101	14.0	43	6.0	167	23.2	0	0.0
	65～69歳	438	233	53.2	81	18.5	29	6.6	95	21.7	0	0.0
	70～74歳	228	82	36.0	64	28.1	28	12.3	54	23.7	0	0.0
	75～79歳	51	11	21.6	11	21.6	10	19.6	19	37.3	0	0.0
	80歳以上	11	0	0.0	3	27.3	1	9.1	7	63.6	0	0.0
合計	6,082	3,889	63.9	586	9.6	301	4.9	1,306	21.5	0	0.0	

実施状況

事業所健診のなかで、6,082人に眼底検査を行った。

男女別では、男性3,151人（51.8%）女性2,931人（48.2%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）63.9%、有所見9.6%、治療継続4.9%、要医療21.5%であった。

4 各種検査の成績

腹部超音波検査結果

令和4年度

	受診者数	判 定												
		異常なし		有所見		要 指 導		治 療 継 続		要 精 検		読影不能・判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	0	0.0	0	0.0	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	10	2	20.0	0	0.0	8	80.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	58	23	39.7	5	8.6	27	46.6	0	0.0	3	5.2	0	0.0
	35～39歳	140	32	22.9	1	0.7	103	73.6	0	0.0	4	2.9	0	0.0
	40～44歳	399	91	22.8	3	0.8	285	71.4	0	0.0	20	5.0	0	0.0
	45～49歳	456	68	14.9	14	3.1	350	76.8	1	0.2	23	5.0	0	0.0
	50～54歳	556	62	11.2	9	1.6	465	83.6	4	0.7	16	2.9	0	0.0
	55～59歳	387	24	6.2	6	1.6	316	81.7	4	1.0	37	9.6	0	0.0
	60～64歳	381	19	5.0	9	2.4	321	84.3	2	0.5	30	7.9	0	0.0
	65～69歳	422	24	5.7	3	0.7	358	84.8	1	0.2	36	8.5	0	0.0
	70～74歳	435	20	4.6	2	0.5	374	86.0	0	0.0	39	9.0	0	0.0
	75～79歳	35	11	31.4	2	5.7	0	0.0	0	0.0	22	62.9	0	0.0
	80歳以上	97	4	4.1	1	1.0	84	86.6	0	0.0	8	8.2	0	0.0
小 計	3,381	381	11.3	55	1.6	2,695	79.7	12	0.4	238	7.0	0	0.0	
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	5	2	40.0	0	0.0	2	40.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0
	30～34歳	30	12	40.0	0	0.0	17	56.7	0	0.0	1	3.3	0	0.0
	35～39歳	178	78	43.8	0	0.0	92	51.7	0	0.0	8	4.5	0	0.0
	40～44歳	442	142	32.1	3	0.7	273	61.8	0	0.0	24	5.4	0	0.0
	45～49歳	511	107	20.9	2	0.4	371	72.6	1	0.2	30	5.9	0	0.0
	50～54歳	724	123	17.0	3	0.4	552	76.2	1	0.1	45	6.2	0	0.0
	55～59歳	597	64	10.7	4	0.7	482	80.7	1	0.2	46	7.7	0	0.0
	60～64歳	504	55	10.9	2	0.4	397	78.8	2	0.4	48	9.5	0	0.0
	65～69歳	525	44	8.4	0	0.0	434	82.7	0	0.0	47	9.0	0	0.0
	70～74歳	537	49	9.1	2	0.4	426	79.3	0	0.0	60	11.2	0	0.0
	75～79歳	287	16	5.6	0	0.0	229	79.8	1	0.3	41	14.3	0	0.0
	80歳以上	101	4	4.0	2	2.0	86	85.1	0	0.0	9	8.9	0	0.0
小 計	4,442	697	15.7	18	0.4	3,361	75.7	6	0.1	360	8.1	0	0.0	
総 数	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	5	1	20.0	0	0.0	4	80.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	15	4	26.7	0	0.0	10	66.7	0	0.0	1	6.7	0	0.0
	30～34歳	88	35	39.8	5	5.7	44	50.0	0	0.0	4	4.5	0	0.0
	35～39歳	318	110	34.6	1	0.3	195	61.3	0	0.0	12	3.8	0	0.0
	40～44歳	841	233	27.7	6	0.7	558	66.3	0	0.0	44	5.2	0	0.0
	45～49歳	967	175	18.1	16	1.7	721	74.6	2	0.2	53	5.5	0	0.0
	50～54歳	1,280	185	14.5	12	0.9	1,017	79.5	5	0.4	61	4.8	0	0.0
	55～59歳	984	88	8.9	10	1.0	798	81.1	5	0.5	83	8.4	0	0.0
	60～64歳	885	74	8.4	11	1.2	718	81.1	4	0.5	78	8.8	0	0.0
	65～69歳	947	68	7.2	3	0.3	792	83.6	1	0.1	83	8.8	0	0.0
	70～74歳	972	69	7.1	4	0.4	800	82.3	0	0.0	99	10.2	0	0.0
	75～79歳	322	27	8.4	2	0.6	229	71.1	1	0.3	63	19.6	0	0.0
	80歳以上	198	8	4.0	3	1.5	170	85.9	0	0.0	17	8.6	0	0.0
合 計	7,823	1,078	13.8	73	0.9	6,056	77.4	18	0.2	598	7.6	0	0.0	

実施状況

腹部超音波検査は、7,823人に実施している

男女別では、男性3,381人（43.2%）女性4,442人（56.8%）であった。

また、年齢階級でみると、50～54歳が最も多く、次いで、55～59歳、70～74歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）13.8%、有所見0.9%、要指導77.4%、治療継続0.2%、要精検7.6%であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

令和4年度

	受診者数	判 定								
		陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	6	5	83.3	1	16.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	49	41	83.7	8	16.3	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	70	61	87.1	8	11.4	0	0.0	1	1.4
	40～44歳	536	516	96.3	17	3.2	1	0.2	2	0.4
	45～49歳	384	363	94.5	19	4.9	2	0.5	0	0.0
	50～54歳	411	380	92.5	22	5.4	1	0.2	8	1.9
	55～59歳	381	367	96.3	8	2.1	0	0.0	6	1.6
	60～64歳	446	430	96.4	14	3.1	0	0.0	2	0.4
	65～69歳	498	486	97.6	4	0.8	0	0.0	8	1.6
	70～74歳	316	308	97.5	0	0.0	0	0.0	8	2.5
	75～79歳	148	147	99.3	0	0.0	0	0.0	1	0.7
	80歳以上	71	71	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計	3,324	3,183	95.8	101	3.0	4	0.1	36	1.1	
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	41	38	92.7	3	7.3	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	46	39	84.8	7	15.2	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	57	55	96.5	2	3.5	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	134	130	97.0	4	3.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,028	1,019	99.1	8	0.8	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	534	525	98.3	7	1.3	2	0.4	0	0.0
	50～54歳	505	489	96.8	9	1.8	1	0.2	6	1.2
	55～59歳	442	427	96.6	8	1.8	0	0.0	7	1.6
	60～64歳	423	417	98.6	2	0.5	0	0.0	4	0.9
	65～69歳	450	445	98.9	0	0.0	1	0.2	4	0.9
	70～74歳	316	311	98.4	0	0.0	0	0.0	5	1.6
	75～79歳	111	106	95.5	0	0.0	0	0.0	5	4.5
	80歳以上	84	83	98.8	0	0.0	0	0.0	1	1.2
小 計	4,171	4,084	97.9	50	1.2	4	0.1	33	0.8	
総 数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	47	43	91.5	4	8.5	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	54	47	87.0	7	13.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	106	96	90.6	10	9.4	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	204	191	93.6	12	5.9	0	0.0	1	0.5
	40～44歳	1,564	1,535	98.1	25	1.6	1	0.1	3	0.2
	45～49歳	918	888	96.7	26	2.8	4	0.4	0	0.0
	50～54歳	916	869	94.9	31	3.4	2	0.2	14	1.5
	55～59歳	823	794	96.5	16	1.9	0	0.0	13	1.6
	60～64歳	869	847	97.5	16	1.8	0	0.0	6	0.7
	65～69歳	948	931	98.2	4	0.4	1	0.1	12	1.3
	70～74歳	632	619	97.9	0	0.0	0	0.0	13	2.1
	75～79歳	259	253	97.7	0	0.0	0	0.0	6	2.3
	80歳以上	155	154	99.4	0	0.0	0	0.0	1	0.6
合 計	7,495	7,267	97.0	151	2.0	8	0.1	69	0.9	

実施状況

B型肝炎検査は、7,495人に実施している

男女別では、男性3,324人（44.3%）女性4,171人（55.7%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、45～49歳の順であった。

判定結果

抗原陰性97.0%、抗原陰性抗体陽性2.0%、治療継続0.1%、抗原陽性0.9%であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

令和4年度

	受診者数	判定						
		陰性		治療継続		陽性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	6	6	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	9	9	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	33	33	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	58	58	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	493	492	99.80	1	0.20	0	0.00
	45～49歳	305	305	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	379	379	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	351	351	100.00	0	0.00	0	0.00
	60～64歳	419	418	99.76	0	0.00	1	0.24
	65～69歳	486	486	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	313	313	100.00	0	0.00	0	0.00
	75～79歳	148	148	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	70	70	100.00	0	0.00	0	0.00
小計	3,070	3,068	99.93	1	0.03	1	0.03	
女性	～19歳	5	5	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	48	48	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	60	60	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	69	69	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	119	119	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	1,005	1,005	100.00	0	0.00	0	0.00
	45～49歳	497	497	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	486	486	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	432	430	99.54	0	0.00	2	0.46
	60～64歳	411	410	99.76	0	0.00	1	0.24
	65～69歳	441	441	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	316	315	99.68	0	0.00	1	0.32
	75～79歳	110	110	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	84	84	100.00	0	0.00	0	0.00
小計	4,083	4,079	99.90	0	0.00	4	0.10	
総数	～19歳	5	5	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	54	54	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	69	69	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	102	102	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	177	177	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	1,498	1,497	99.93	1	0.07	0	0.00
	45～49歳	802	802	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	865	865	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	783	781	99.74	0	0.00	2	0.26
	60～64歳	830	828	99.76	0	0.00	2	0.24
	65～69歳	927	927	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	629	628	99.84	0	0.00	1	0.16
	75～79歳	258	258	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	154	154	100.00	0	0.00	0	0.00
合計	7,153	7,147	99.92	1	0.01	5	0.07	

実施状況

C型肝炎検査は、7,153人に実施している

男女別では、男性3,070人（42.9%）女性4,083人（57.1%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、50～54歳の順であった。

判定結果

陰性99.92%、治療継続0.01%、陽性0.07%であった。

5 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	令和4年度			小計	令和3年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	7,318	4,662	2,115	541	6,130	4,114	1,593	423
子宮	1,144	670	323	151	1,208	688	349	171
乳	966	419	547	-	1,021	450	571	0
肺	535	210	323	2	503	182	308	13
大腸	1,317	701	487	129	1,203	563	532	108
合計	11,280	6,662	3,795	823	10,065	5,997	3,353	715

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別	計	令和4年度			計	令和3年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	710	265	265	180	715	263	259	193	
精検受診者数	7,318	4,662	2,115	541	6,130	4,114	1,593	423	
延べ内訳	X線直接撮影	10	0	0	10	0	0	17	
	内視鏡	7,371	4,684	2,153	534	6,130	4,114	1,610	406
	組織診	1,121	856	246	19	801	669	121	11
発見がん数	69	35	28	6	67	43	22	2	
(別掲)その他のがん	(11)	(7)	(3)	(1)	(11)	(8)	(3)	(0)	

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別	計	令和4年度			計	令和3年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	541	225	271	45	546	231	270	45	
精検受診者数	1,144	670	323	151	1,208	688	349	171	
延べ内訳	再検査(細胞診)	1,198	609	404	185	1,246	587	450	209
	頸部組織診	193	136	40	17	218	147	40	31
	体部組織診	13	11	2	0	13	11	2	0
超音波	920	460	341	119	925	491	311	123	
HPVウイルス	450	223	216	11	507	271	217	19	
発見がん数	14	9	5	0	15	12	3	0	

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	令和4年度			計	令和3年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		378	153	225	-	384	135	249	-
精検受診者数		966	419	547	-	1,021	450	571	-
延 べ 内 訳	X線撮影	891	372	519	-	991	456	535	-
	超音波	985	414	571	-	1,056	420	636	-
	細胞診	99	0	99	-	128	0	128	-
	触診再検査	723	325	398	-	900	354	546	-
発見がん数		159	62	97	-	134	46	88	-

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	令和4年度			計	令和3年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		139	43	94	2	153	46	94	13
精検受診者数		535	210	323	2	503	182	308	13
延 べ 内 訳	X線直接撮影	409	13	394	2	381	19	357	5
	C T	604	210	394	0	578	209	357	12
	喀痰細胞診	0	0	0	0	1	0	1	0
発見がん数		27	15	12	0	19	12	7	0
(別掲)その他のがん		(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	令和4年度			計	令和3年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		537	203	218	116	459	136	228	95
精検受診者数		1,317	701	487	129	1,203	563	532	108
延 べ 内 訳	X線注腸撮影	0	0	0	0	0	0	0	0
	内視鏡	1,326	710	487	129	1,205	564	533	108
	組織診	450	256	194	0	223	7	216	0
発見がん数		64	26	34	4	38	19	19	0
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～令和4年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S45～H29	207,850	3,520(321)	25,668	10,188	50,423	2,437	30,123	16,426	69,065
H30	3,557	56(17)	288	65	113	15	2,154	588	278
R元	3,971	39(12)	238	56	86	14	2,900	491	147
R 2	3,884	40(23)	209	50	76	15	2,751	596	147
R 3	4,114	43(25)	194	35	73	21	3,035	571	142
R 4	4,662	35(10)	333	28	78	12	3,582	418	176
合計	228,038	3,733(408)	26,930	10,422	50,849	2,514	44,545	19,090	69,955

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和4年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S56～H29	87,429	1,532(245)	14,165	3,135	13,380	1,187	22,925	4,930	26,175
H30	1,797	19(6)	306	11	129	3	846	444	39
R元	1,951	31(13)	285	8	130	1	966	488	42
R 2	1,546	20(9)	202	7	76	2	835	373	31
R 3	1,593	22(7)	273	10	101	5	798	35	349
R 4	2,115	28(8)	383	13	95	0	1,093	454	49
合計	96,431	1,652(288)	15,614	3,184	13,911	1,198	27,463	6,724	26,685

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和4年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S60～H29	38,006	624(84)	4,752	1,369	5,229	545	13,635	3,971	7,881
H30	517	9(2)	69	8	28	2	304	60	37
R元	476	6(1)	60	10	32	1	261	62	44
R 2	392	7(2)	55	1	32	1	219	42	35
R 3	423	2(0)	72	6	31	1	226	39	46
R 4	541	6(1)	64	8	40	1	318	41	63
合計	40,355	654(90)	5,072	1,402	5,392	551	14,963	4,215	8,106

※ () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和4年度は 札幌 3,873人、旭川 1,476人、釧路 457人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		35(10)	22(6)	13(4)	28(7)	18(5)	10(2)	7(3)	4(1)	3(2)	
手術施行	計	35(10)	22(6)	13(4)	28(7)	18(5)	10(2)	7(3)	4(1)	3(2)	
	早期	内視鏡切除術	16(6)	9(3)	7(3)	12(4)	8(3)	4(1)	4(2)	1(0)	3(2)
		開腹手術	8(1)	5(1)	3(0)	7(1)	4(1)	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行	6(0)	5(0)	1(0)	5(0)	4(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	
	調 査 中	5(3)	3(2)	2(1)	4(2)	2(1)	2(1)	1(1)	1(1)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

旭川がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		28(8)	17(3)	11(5)	12(1)	8(0)	4(1)	16(7)	9(3)	7(4)	
手術施行	計	26(8)	16(3)	10(5)	11(1)	7(0)	4(1)	15(7)	9(3)	6(4)	
	早期	内視鏡切除術	19(7)	10(2)	9(5)	8(1)	5(0)	3(1)	11(6)	5(2)	6(4)
		開腹手術	5(1)	5(1)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	3(1)	3(1)	0(0)
	進 行	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	

釧路がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		6(1)	4(1)	2(0)	5(0)	3(0)	2(0)	1(1)	1(1)	0(0)	
手術施行	計	6(1)	4(1)	2(0)	5(0)	3(0)	2(0)	1(1)	1(1)	0(0)	
	早期	内視鏡切除術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開腹手術	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	4(1)	3(1)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

※発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～令和4年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H29	64,034	2,102(44)	663	65	29,778	3,186	28,240
H30	1,281	67(5)	0	0	792	117	305
R元	1,193	35(0)	7	1	687	203	260
R 2	730	30(4)	7	0	382	120	191
R 3	564	19(7)	8	0	331	116	90
R 4	701	26(1)	7	5	450	116	97
合計	68,503	2,279(61)	692	71	32,420	3,858	29,183

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和4年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H29	20,466	787(39)	269	5	12,225	1,737	5,443
H30	505	32(1)	3	0	332	109	29
R元	565	17(1)	6	0	392	112	38
R 2	385	12(0)	5	0	245	99	24
R 3	532	19(1)	8	0	343	134	28
R 4	487	34(1)	6	0	328	71	48
合計	22,940	901(43)	297	5	13,865	2,262	5,610

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和4年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H29	13,375	427(19)	57	13	7,796	207	4,875
H30	137	13(0)	1	0	75	1	47
R元	138	5(0)	0	0	77	0	56
R 2	122	5(0)	0	0	68	1	48
R 3	108	0(0)	0	0	57	1	50
R 4	129	4(0)	0	0	60	1	64
合計	14,009	454(19)	58	13	8,133	211	5,140

※精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和4年度は、札幌 3,873人、旭川 95人、釧路 64人)

※がんの()内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		26(1)	16(0)	10(1)	26(1)	16(0)	10(1)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術 施行	計	25(1)	16(0)	9(1)	25(1)	16(0)	9(1)	0(0)	0(0)	0(0)	
	早 期	内視鏡切除術	12(1)	7(0)	5(1)	12(1)	7(0)	5(1)	0(0)	0(0)	0(0)
		開腹手術	7(0)	5(0)	2(0)	7(0)	5(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	4(0)	3(0)	1(0)	4(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

旭川がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		34(1)	19(0)	15(1)	31(1)	17(0)	14(1)	3(0)	2(0)	1(0)	
手術 施行	計	34(1)	19(0)	15(1)	31(1)	17(0)	14(1)	3(0)	2(0)	1(0)	
	早 期	内視鏡切除術	21(1)	13(0)	8(1)	19(1)	11(0)	8(1)	2(0)	2(0)	0(0)
		開腹手術	3(0)	2(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	進 行	10(0)	4(0)	6(0)	10(0)	4(0)	6(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

釧路がん検診センター

令和4年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		5(0)	3(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	
手術 施行	計	5(0)	3(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	
	早 期	内視鏡切除術	4(0)	3(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開腹手術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

※発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～令和4年度

年 度	受託総数	婦人科	呼吸器	胸水	腹水	尿	乳房	胃	その他	組 織
総 数										
S45～H29	875,617 (17,711)	711,100 (3,674)	80,005 (4,548)	5,332 (1,381)	5,855 (1,579)	31,215 (1,814)	7,836 (1,367)	137 (8)	10,156 (2,153)	23,981 (1,187)
H30	4,481 (58)	3,870 (5)	117 (1)	32 (3)	23 (5)	162 (6)	183 (37)	0 (0)	47 (1)	47 (0)
R元	4,049 (51)	3,544 (9)	95 (1)	38 (4)	14 (3)	142 (3)	138 (27)	0 (0)	33 (4)	45 (0)
R 2	4,127 (31)	3,608 (8)	96 (0)	34 (0)	24 (2)	177 (3)	110 (18)	0 (0)	44 (0)	34 (0)
R 3	3,337 (46)	2,797 (12)	111 (1)	29 (3)	6 (2)	167 (2)	152 (22)	0 (0)	45 (3)	30 (1)
R 4	2,760 (40)	2,285 (8)	96 (0)	21 (0)	22 (2)	161 (3)	102 (25)	0 (0)	45 (1)	28 (1)
計	894,371 (17,937)	727,204 (3,716)	80,520 (4,551)	5,486 (1,391)	5,944 (1,593)	32,024 (1,831)	8,521 (1,496)	137 (8)	10,370 (2,162)	24,165 (1,189)
札 幌										
S45～H29	446,613 (12,401)	364,128 (2,474)	36,536 (2,944)	2,413 (1,010)	3,183 (1,102)	11,721 (1,277)	3,139 (817)	108 (6)	5,945 (1,852)	19,440 (919)
H30	943 (16)	746 (1)	16 (1)	11 (2)	15 (5)	118 (6)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	0 (0)
R元	742 (18)	580 (5)	4 (1)	20 (3)	8 (2)	103 (3)	2 (0)	0 (0)	25 (4)	0 (0)
R 2	862 (11)	643 (6)	5 (0)	17 (0)	22 (2)	127 (3)	4 (0)	0 (0)	44 (0)	0 (0)
R 3	930 (14)	733 (3)	15 (1)	12 (3)	6 (2)	123 (2)	1 (0)	0 (0)	40 (3)	0 (0)
R 4	862 (9)	643 (3)	5 (0)	17 (0)	22 (2)	127 (3)	4 (0)	0 (0)	44 (1)	0 (0)
計	450,952 (12,469)	367,473 (2,492)	36,581 (2,947)	2,490 (1,018)	3,256 (1,115)	12,319 (1,294)	3,151 (817)	108 (6)	6,134 (1,861)	19,440 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～令和4年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織	
		旭					川				
S45～H29	356,701 (4,626)	281,850 (891)	40,452 (1,493)	2,784 (342)	2,431 (431)	18,364 (484)	4,554 (540)	21 (2)	3,869 (278)	2,376 (165)	
H30	2,813 (40)	2,438 (2)	101 (0)	21 (1)	8 (0)	44 (0)	182 (37)	0 (0)	11 (0)	8 (0)	
R元	2,604 (33)	2,301 (4)	91 (0)	18 (1)	6 (1)	39 (0)	136 (27)	0 (0)	8 (0)	5 (0)	
R 2	2,515 (20)	2,244 (2)	91 (0)	17 (0)	2 (0)	50 (0)	106 (18)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	
R 3	1,748 (24)	1,432 (2)	96 (0)	17 (0)	0 (0)	44 (0)	151 (22)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	
R 4	1,325 (28)	1,087 (2)	91 (0)	4 (0)	0 (0)	34 (0)	98 (25)	0 (0)	1 (0)	10 (1)	
計	367,706 (4,771)	291,352 (903)	40,922 (1,493)	2,861 (344)	2,447 (432)	18,575 (484)	5,227 (669)	21 (2)	3,894 (278)	2,407 (166)	
		鉏					路				
S45～H29	72,303 (684)	65,122 (309)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,165 (103)	
H30	725 (2)	686 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)	
R元	703 (0)	663 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)	
R 2	750 (0)	721 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (0)	
R 3	659 (8)	632 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	
R 4	573 (3)	555 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)	
計	75,713 (697)	68,379 (321)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,318 (104)	

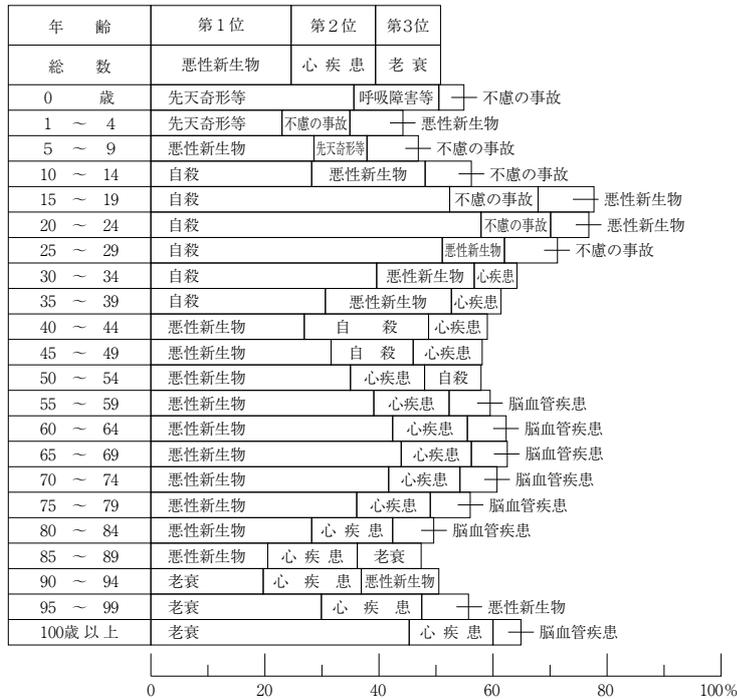
注) () 内数字は陽性の再掲

【参考資料】

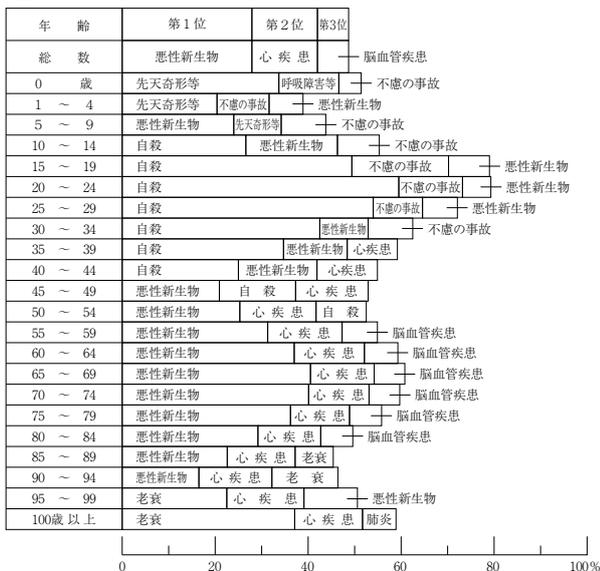
1 がん対策の背景

図1 性・年齢別にみた死因順位
令和4年 全国

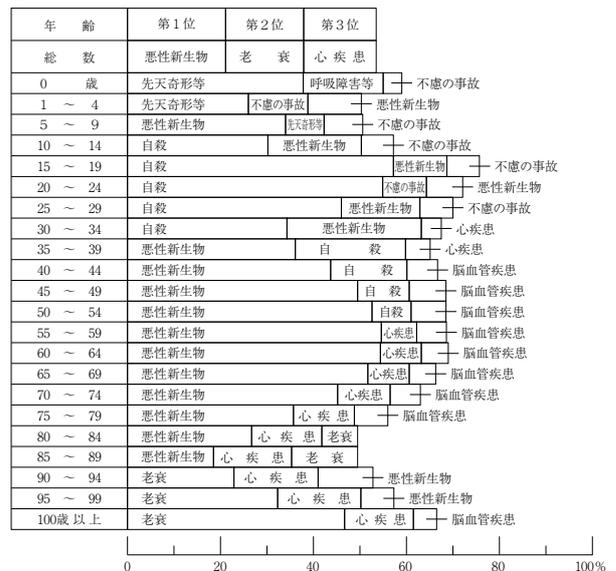
男女計



男



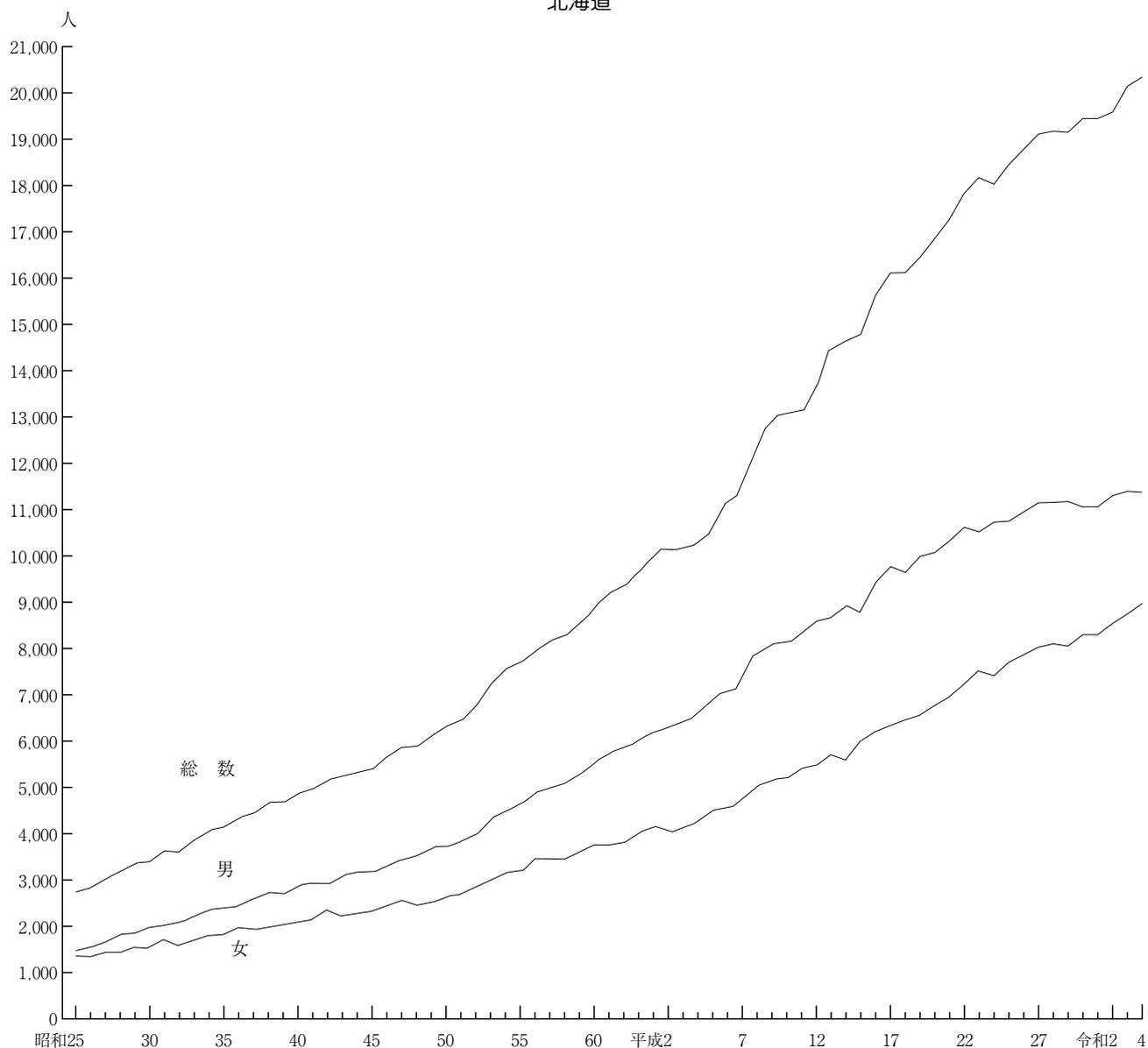
女



資料：令和4年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因の中で、昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
令和4年

男 性	11,371
女 性	8,972
総 数	20,343

資料：「令和4年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様のがんによる死亡者数が増え続けている。主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられる。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因と考える。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北海道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭40	昭60	平17	令 4	全国令 4	昭40	昭60	平17	令 4	全国令 4
総 数	4,863	9,096	16,133	20,343	385,797	94.0	159.9	287.8	395.8	308.8
食 道	181	357	597	582	10,918	3.5	6.3	10.7	11.3	8.7
胃	1,982	2,147	2,240	1,952	40,711	38.3	37.8	40.0	38.0	32.6
大 腸	268	928	2,186	2,818	53,088	5.2	16.3	39.0	54.8	42.5
肝 臓	357	832	1,328	1,174	23,620	6.9	14.6	23.7	22.8	18.9
膵 臓	181	624	1,357	2,274	39,468	3.5	11.0	24.2	44.2	31.6
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,345	76,663	8.6	25.6	57.2	84.5	61.4
乳 房	98	247	530	770	15,912	3.8	8.5	18.0	28.4	24.8
子 宮	311	231	229	399	7,157	12.0	7.9	7.8	14.7	11.1
白 血 病	187	256	314	444	9,759	3.6	4.5	5.6	8.6	7.8
そ の 他	855	2,019	4,147	5,578	108,392	16.5	35.5	74.0	108.5	86.8

資料：死亡数は「令和4年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は令和4年総務省統計局データ

図3 がん死亡者の部位別割合
令和4年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,371	／	がん総数	8,972
1位	気管、気管支及び肺	2,866	1位	気管、気管支及び肺	1,479
2位	大腸	1,439	2位	大腸	1,379
3位	胃	1,241	3位	膵臓	1,206
4位	膵臓	1,068	4位	乳房	770
5位	肝及び肝内胆管	764	5位	胃	711
6位	前立腺	664	6位	胆のう及びその他の胆道	437
7位	胆のう及びその他の胆道	521	7位	肝及び肝内胆管	410
8位	食道	454	8位	子宮	399
9位	悪性リンパ腫	379	9位	悪性リンパ腫	324
10位	膀胱	326	10位	卵巣	281
11位	口唇、口腔及び咽頭	270	11位	白血病	187
12位	白血病	257	12位	膀胱	181
／	その他	1,122	／	その他	1,208

資料：「令和4年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	大腸	胃	膵	肝臓
女 性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

資料：「令和4年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いことがあげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

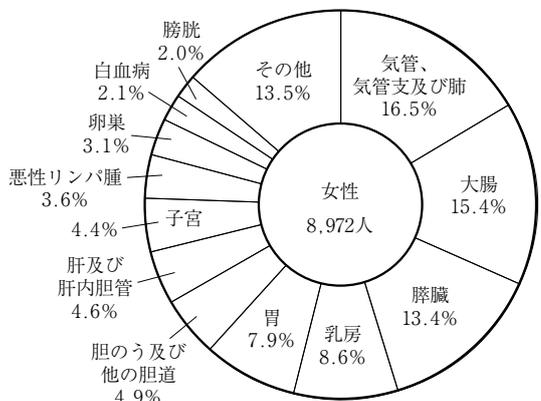
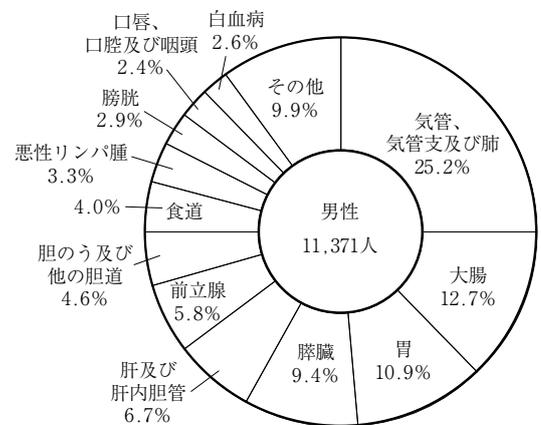
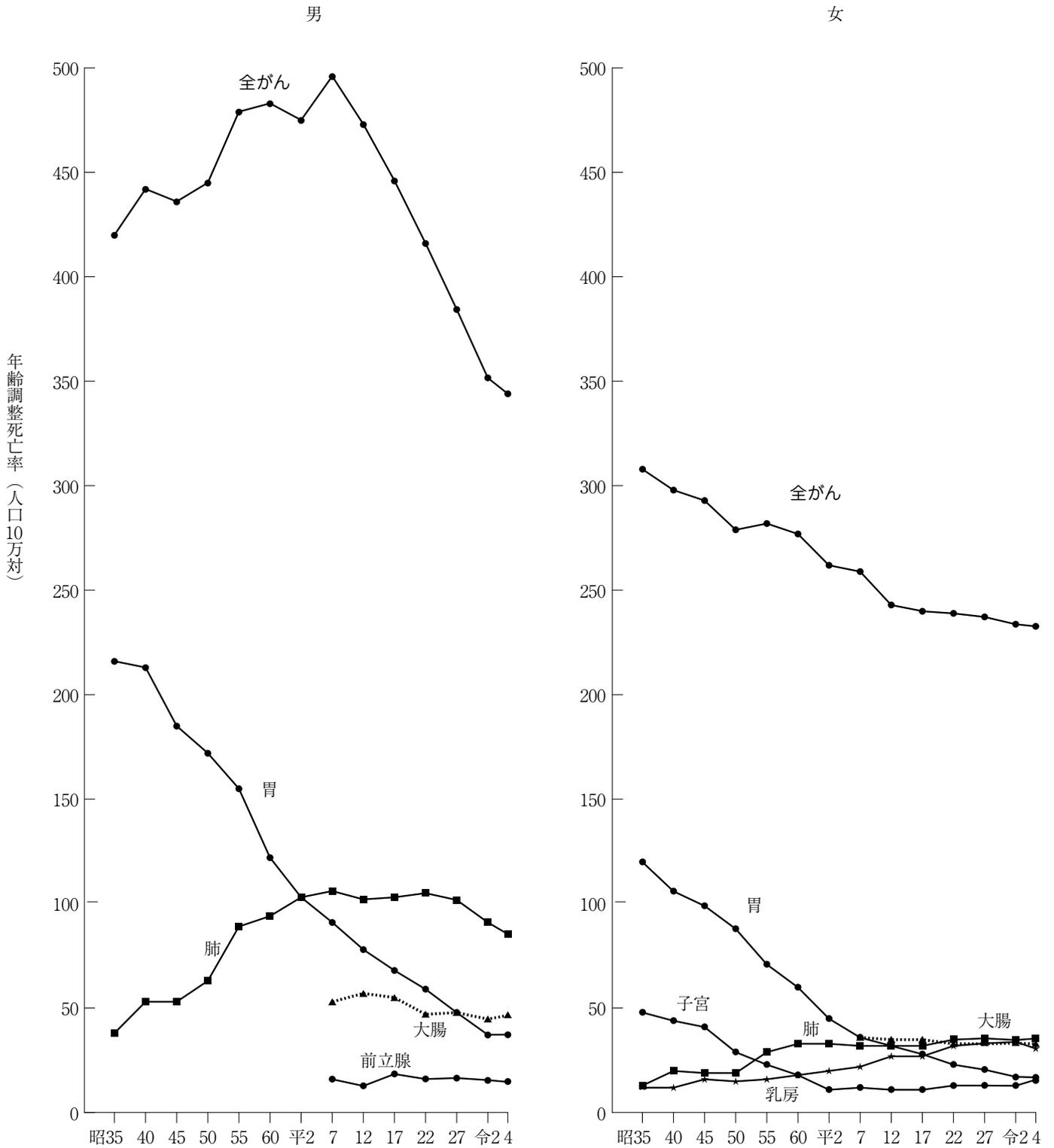


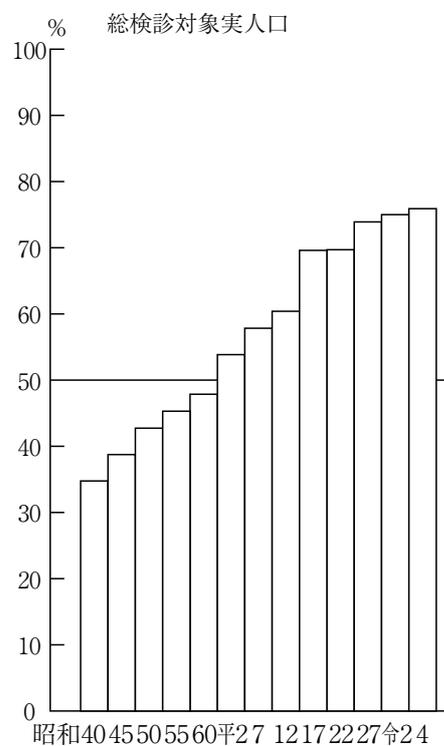
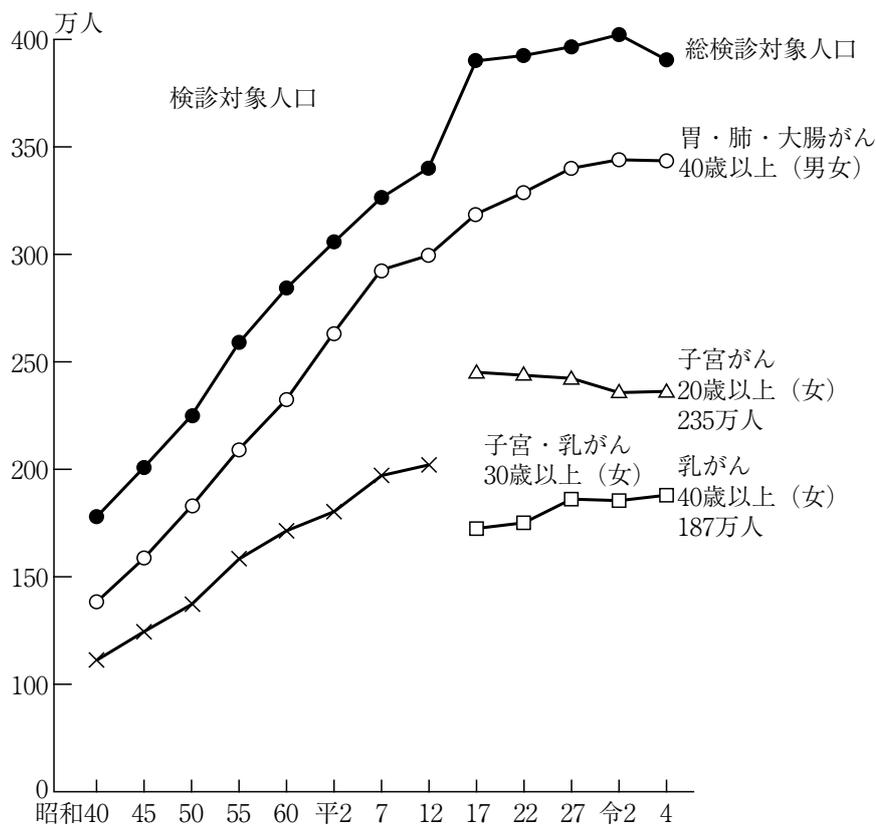
図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道



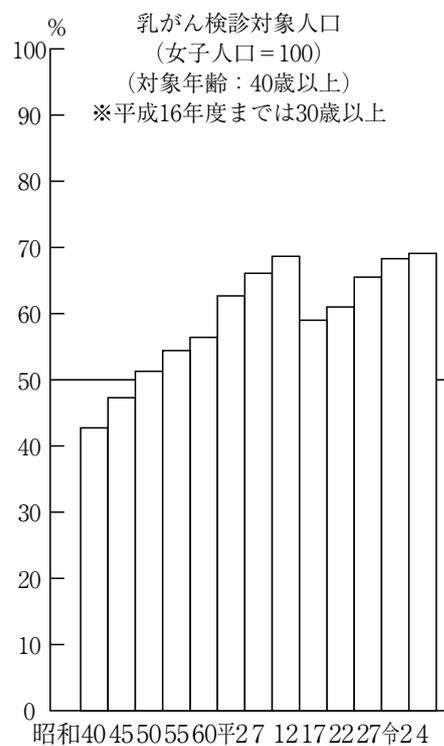
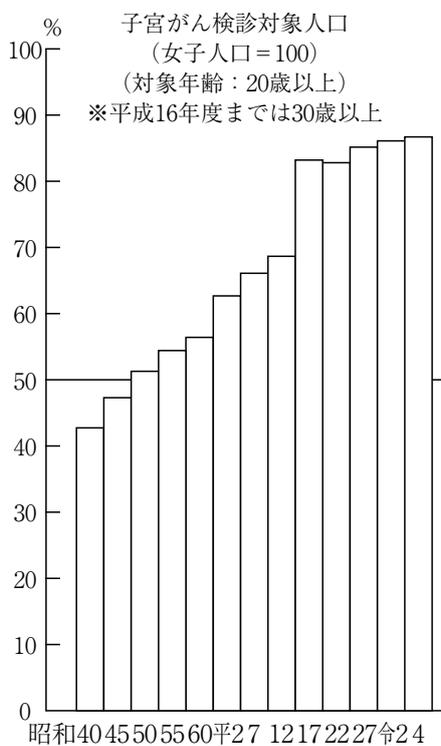
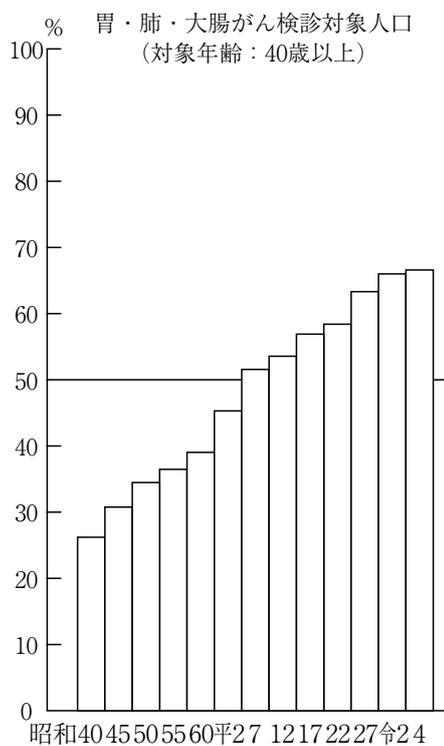
注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）

資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

2 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：令和4年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診（胃部エックス線検査）

令和4年度の対象者（北海道）は3,416,749人^{注)}で、受診数は93,143人、受診率は2.7%^{注)}であった。

このうち、当協会では145市町村において、検診車と各検診センターで61,724人に検診を実施した（受託実施率66.3%）。これに事業所分など12,591人を加え、総数74,315人に実施し、91名のがんを発見した（令和6年1月現在）。

令和3年度の追跡調査では、発見がん数80名のうち75名が手術を受けており、そのうち、80.0%にあたる60名が早期がんであった。

子宮がん検診

令和4年度の対象者（北海道）は2,342,697人^{注)}である。受診者数は令和4年度162,253人、令和3年度160,687人で、2年合計で322,940人となっている。ここから2年連続受診者数18,591人を除いた304,349人が直近2年間の受診者数であり、受診率は13.0%^{注)}であった。

このうち、当協会では令和4年度138市町村、令和3年度135市町村で、検診車と各検診センター86,498人に検診を実施した（受託実施率28.4%）。これに事業所分など20,333人を加え、総数102,761人に実施し、53名のがん（令和6年1月現在）を発見した（CIN3は168名）。

乳がん検診

令和4年度の対象者（北海道）は1,865,567人^{注)}である。受診者数は令和4年度105,706人、令和3年度104,946人で、2年合計で210,652人となっている。ここから2年連続受診者数10,495人を除いた200,157人が直近2年間の受診者数であり、受診率は10.7%^{注)}であった。

このうち、当協会では令和4年度は139市町村、令和3年度は133市町村において、検診車と各検診センターで100,159人に検診を実施した。（受託実施率50.0%）これに事業所分など19,754人を加え、総数119,913人に実施し、475名のがん（令和6年1月現在）を発見した。

令和3年度の追跡調査では、発見がん数226人のうち70.4%にあたる159名が早期がんであった。

肺がん検診

令和4年度の対象者（北海道）は3,416,994人^{注)}で、受診数は189,233人、受診率は5.5%^{注)}であった。

このうち、当協会では137市町村において、検診車と各検診センターで87,463人に検診を実施した。（受託実施率46.2%）これに事業所分など1,911人を加え、総数89,374人に実施し、89名のがん（令和6年2月現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、27市町村において、検診車と各検診センターで1,896人に検診を実施した。これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など1,364人を加え、総数3,260人に実施し、12名のがん（令和6年2月現在）を発見した。

大腸がん検診

令和4年度の対象者（北海道）は3,416,899人^{注)}で、受診数は211,963人、受診率は6.2%^{注)}であった。

このうち、当協会では141市町村において、検診車と各検診センターで97,909人に検診を実施した（受託実施率46.2%）。これに事業所分など16,985人を加え、総数114,894人に実施し、370名のがん（令和6年2月現在）を発見した。

令和3年度の追跡調査では、発見がん数331名のうち、326名が手術を受けており、そのうち66.3%にあたる216名が早期がんであった。

注) 地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「指針」に基づき、40歳から69歳（胃がん検診は平成28年度以降50歳から69歳、子宮頸がん検診は20歳から69歳）を対象として算出している。これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

令和6年4月1日現在

法人名	公益財団法人北海道対がん協会
代表者名	会長 加藤元嗣
所在地	北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話番号	011-748-5511
設立時期	昭和4年9月13日
従業員数	380名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職種	札幌	旭川	釧路	計
医師	10	3	1	14
診療放射線技師	27	12	5	44
臨床検査技師	22	11	4	37
管理栄養士	9	0	2	11
保健師	29	10	2	41
看護師	39	23	11	73
事務員	82	29	21	132
運転技術員	18	7	3	28
計	236	95	49	380

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にごがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診画像の読影（専門読影委員18名により実施）
- (2) 肺がん検診画像の読影（専門読影委員29名により実施）
- (3) 乳がん検診画像（SMG）の読影（専門読影委員26名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

4 その他諸検査の実施

- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-5 役員等名簿

令和6年4月1日現在

名誉会長	菊地浩吉	元北海道対がん協会会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	加藤元嗣	北海道対がん協会会長
副会長	佐古和廣	北海道医師会副会長
〃	佐藤昇志	札幌医科大学名誉教授
〃	平田哲	旭川医科大学名誉教授
〃	山本邦彦	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	加藤秀則	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
専務理事 (業務執行理事)	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	松浦邦彦	北海道対がん協会センター長・釧路がん検診センター所長
〃	畑島久雄	北海道対がん協会事務局長
理事 (名誉会長)	長瀬清	前北海道対がん協会会長・北海道医師会名誉会長
理事	秋田弘俊	北海道大学客員教授(北海道大学病院、大学院保健科学研究院)
〃	磯部宏	KKR札幌医療センター病院長
〃	川村英喜	北海道労働保健管理協会会長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学分野教授
〃	平田公一	JR札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	渡利英道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	岡元一平	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西田孝雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	大 場 久 夫	前全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学専務理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	有 澤 賢 二	北海道薬剤師会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	三 宅 浩 次	札幌医科大学名誉教授
〃	森 満	北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部特任教授
参 与	角 井 正 純	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	秋 野 憲 一	札幌市保健福祉局保健所成人保健・歯科保健担当部長
〃	鈴 木 直 己	旭川市保健所長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭 和	5 4	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭 和	5 6	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭 和	5 7	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭 和	5 8	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭 和	5 9	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭 和	6 0	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭 和	6 1	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭 和	6 2	年	大腸がん検診を開始する。
平 成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平 成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平 成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平 成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平 成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平 成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平 成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。
令和	元	年	本会創立90周年を迎え、創立90周年記念フォーラムを札幌市で開催した。
令和	3	年	旭川がん検診センターが40周年を迎えた。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

令和4年4月1日 改訂

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 加 藤 元 嗣

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受 付 時 間	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

ピロリ菌外来：祝日を除く毎週水曜日 14:00～15:00 (担当医：加藤元嗣会長)

便秘外来：祝日を除く毎週金曜日 13:00～15:00 (担当医：津田桃子内科部長)

札幌がん検診センター 〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011)748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・腹部超音波検査 ・動脈硬化検査
受 付 時 間	8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	
		月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166)53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月～木	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受 付 時 間	8:30～11:00	月 8:30～10:00	月・水・木 8:30～13:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
		水・木 8:30～13:00	火 8:30～13:30	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058 釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154)37-3370

※受診の際は、予約が必要です。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



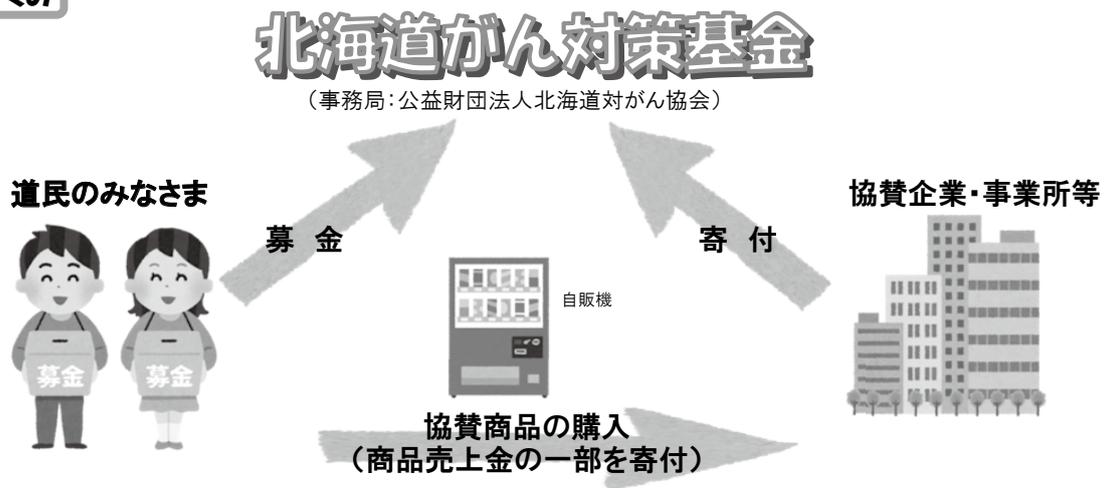
北海道がん対策

助かる命 助ける絆 北海道がん対策基金

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

本基金では、がんの正しい知識や予防に係る普及啓発活動に取り組んでいる団体等に対し、毎年度、助成を行っております。今後とも、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

基金のしくみ



北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援
患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や 就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用
※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間(ピア)として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援
小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発
がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策
がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

令和4年度に助成した団体及び事業

団体名	事業名
ピンクリボン in SAPPORO	ピンクリボン in SAPPORO 2022
北海道がん患者連絡会	がん教育における外部講師養成及び派遣事業
難治性がん啓発キャンペーン実行委員会	難治性がん啓発キャンペーン 2022
特定非営利活動法人パンキャンジャパン北海道アフィリエイト	瞬がん教室
HMMホット・ハンドむろらん	タオル帽子等製作及び寄贈、レンタルウィッグ活動
弟子屈町	弟子屈高校がん教育出前講座
特定非営利活動法人 おはな	サロンおはな～がん患者家族遺族会～/がん啓発イベント「虹いろ」
Link of smiles	乳がん等患者の患者力向上及び乳がん検診促進に係るセミナー

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座振込による募金 ○協賛商品の購入による募金 ○募金箱への募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

金融機関・支店名	口座番号	口座名義	備考
北海道銀行 札幌駅前支店	普通1877125	北海道がん対策基金	窓口及びATMからの振込は、振込手数料は無料
北洋銀行 札幌南支店	普通4591650	北海道がん対策基金	窓口からの振込は、振込手数料は無料
ゆうちょ銀行	02740-9-102016	北海道がん対策基金	

令和4年度末(令和5年3月末)時点の募金状況

(単位：円)

区分	金額
個人	6,983,190
企業・団体等	17,112,442
自販機	15,421,338
募金箱	2,447,724
計	41,964,694

※本表は平成27年2月から令和5年3月までの累計額です。

基金支援自販機設置状況

・本自販機の売上の一部が北海道がん対策基金に寄付されております。

	設置場所	住所
1	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市
2	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市
3	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市
4	旭川がん検診センター	旭川市
5	釧路がん検診センター	釧路市
6	一般社団法人 北海道医師会	札幌市
7	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市
8	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市
9	徳洲会 札幌病院	札幌市
10	日鋼記念病院	室蘭市
11	社会医療法人 北榆会 札幌北榆病院	札幌市
12	手稲溪仁会病院	札幌市
13	ワタキューセイモア(株)北海道支店(岩内協会病院)	小樽市
14	医療法人五国会 小笠原クリニック札幌病院	札幌市
15	室蘭リゾート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	室蘭市
16	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
17	五稜郭病院5階リハビリテーション科前	函館市
18	ノルデン薬局北栄店	札幌市
19	日本データサービス株式会社	札幌市
20	モロオANNEXビル1F	札幌市
21	山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
22	株式会社モロオ 函館	函館市
23	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市
24	株式会社モロオ ANNEX 5F	札幌市
25	株式会社モロオ 小樽	小樽市
26	株式会社モロオ コールセンター	札幌市
27	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市
28	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
29	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
30	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
31	株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市
32	株式会社モロオ 発寒物流2F	札幌市
33	株式会社モロオ 発寒物流3F	札幌市
34	株式会社モロオ 旭川	旭川市
35	株式会社モロオ 釧路	釧路市
36	株式会社モロオ 北見	北見市
37	株式会社モロオ 帯広	帯広市
38	竹山札幌業務センター	札幌市
39	株式会社ほくやく	札幌市
40	太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
41	(株)タック・コーポレーション(美園T・4メディカル)	札幌市
42	株式会社ムトウ	札幌市
43	株式会社バルス室蘭店	室蘭市
44	㈱マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
45	株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市
46	北海道キリンビレッジ1階2F	札幌市
47	トランスコスモス株式会社1F	札幌市
48	トランスコスモス株式会社6F	札幌市
49	トランスコスモス株式会社4F	札幌市
50	トランスコスモスMCMセンター 札幌駅前	札幌市
51	トランスコスモスMCM札幌北口第一階	札幌市
52	株式会社NTT東日本サービス 函館116センター	函館市
53	札幌工業株式会社	札幌市
54	北洋銀行 本店営業部	札幌市
55	北海道庁本庁舎13F	札幌市
56	深川保健所	深川市
57	名寄保健所	名寄市
58	富良野保健所	富良野市
59	北見保健所	北見市
60	静内保健所	新ひだか町
61	根室保健所	根室市
62	中標津保健所	中標津町
63	江別保健所	江別市
64	苫小牧保健所	千歳市
65	八雲保健所	八雲町
66	滝川保健所	滝川市
67	紋別保健所	紋別市
68	千歳保健所	千歳市
69	北海道立衛生研究所	札幌市
70	室蘭保健センター	室蘭市
71	室蘭リゾート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
72	苫小牧身体障がい者福祉協会(苫小牧市役所)	苫小牧市
73	エームサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	当別町
74	小樽市医師会	小樽市
75	NPO法人蒼空 わく・WORKらんだな	室蘭市

北海道キリンビレッジ(株)

	設置場所	住所
1	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 1F	札幌市白石区
2	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 EV前	札幌市白石区
3	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 東棟3階NO1	札幌市白石区
4	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 東棟3階NO2	札幌市白石区
5	北海道がんセンター 2F外来待合	札幌市白石区
6	洞爺湖温泉病院 新売店 No.1	洞爺湖町
7	洞爺湖温泉病院 No.2	洞爺湖町
8	北海道立子ども総合医療・療育センター(こどもつくる)	札幌市
9	株式会社ほくやく 本社	札幌市中央区
10	株式会社ほくやく 札幌白石業務センター	札幌市白石区
11	株式会社竹山業務センター	札幌市中央区
12	丸彦渡辺建設(株)	札幌市
13	第一生命保険(株)札幌総合支社	札幌市
14	㈱デンソー北海道 社員休憩室	千歳市
15	㈱デンソー北海道 社員休憩室	千歳市
16	株式会社ほくやく本社	札幌市
17	株式会社ほくやくカスタムセンター	札幌市
18	ほくやく札幌西業務センター	札幌市
19	㈱デンソーソリューション北海道支社	札幌市白石区
1	大川原脳神経外科病院	室蘭市
2	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
3	帯広協会病院	帯広市
4	社会医療法人札幌清田病院1階	札幌市
5	愛全病院B1サブコック KO	札幌市
6	愛全病院地下 KO	札幌市
7	愛全病院渡り廊下 FV	札幌市
8	愛全病院1F カップ	札幌市
9	愛全病院3F FV	札幌市
10	愛全病院2F KO	札幌市
11	愛全病院4F KO	札幌市
12	愛全病院地下 FV	札幌市
13	愛全病院1階 FV	札幌市
14	医療法人彰和会 北海道消化器科病院	札幌市
15	室蘭太平洋病院 1階 CVM	室蘭市
16	札幌厚生病院1F ATM前	札幌市
17	定山溪病院売店前	札幌市
18	東陽上村アドバンス株式会社 長沼工場	長沼町
19	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
20	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
21	東陽上村アドバンス株式会社 従業員休憩所	札幌市
22	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
23	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
24	ほくやくビル4F	札幌市
25	ほくやく・竹山 札幌東支店	札幌市
26	竹山札幌業務センター	札幌市
27	株式会社竹山 苫小牧支店	苫小牧市
28	株式会社竹山 ハビア物流センター	札幌市
29	赤帽北海道軽自動車運送共同組合FV	札幌市
30	株式会社保健科学研究所	札幌市
31	株式会社HBA 5階FV	札幌市
32	アフラック札幌総合支社 V	札幌市
33	株式会社セイショウ 本社	札幌市
34	アビターレ	札幌市
35	静山荘 FV	札幌市
36	静山荘2F FV	札幌市
37	アートヒルズ KO	札幌市
38	ローザガーデン FV	札幌市
39	アン・ペルアミィ KO	札幌市
40	サン・グレイス FV	札幌市
41	高齢者総合福祉施設アビターレ アネックス	札幌市
42	リラコート愛全 KO	札幌市
43	介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま	岩見沢市
44	北海道歯科医師会4階	札幌市
1	公益財団法人 北海道対がん協会 4F	札幌市東区
2	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
3	天龍工業株式会社	札幌市
4	尾崎設備工業株式会社	恵庭市
5	日重建設株式会社 戸機工場	恵庭市
6	日重建設株式会社 機材センター	恵庭市
1	㈱ほくやく 本社ビル	札幌市
2	㈱ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
3	㈱ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
4	㈱竹山 札幌業務センター	札幌市
1	日本生命保険相互会社 日本生命札幌ビル 9F 休憩室	札幌市
2	市立函館病院 本棟1階食堂前廊下VD	函館市
3	㈱竹山 商品管理センター	札幌市

サントリービレッジソリューション(株)

北海道「カコー」ポトリン(株)

ネオス㈱

㈱大沼

㈱伊藤園

※本表は令和4年度末(令和5年3月末)時点のデータです。

※自販機の設置を検討・希望される団体様等におかれましては、次のURLに設置方法や連絡先を記載しております。

<https://hokkaido-taigan.jp/donate/support/vending/>



常設募金箱設置状況

・常設で設置している募金箱は次のとおりです。その他各種イベントで臨時の募金箱を設置する場合があります。

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市白石区
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
3	〃	JA北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市白石区
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	〃	函館五稜郭病院	函館市
11	指定病院	函館中央病院	函館市
12	〃	札幌北楡病院	札幌市白石区
13	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市南区
14	〃	北海道医療センター	札幌市西区
15	〃	深川市立病院	深川市
16	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
17	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18	〃	伊達赤十字病院	伊達市
19	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
20	〃	旭川赤十字病院	旭川市
21	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市手稲区
22	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
23	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
24	企業	(株)セイショウ	札幌市豊平区
25	〃	(株)effect	函館市
26	行政	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	札幌市中央区
27	〃	北海道江差保健所	江差町
28	〃	厚岸町	厚岸町
29	〃	福島町	福島町
30	法人	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市東区
31	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市東区
32	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
33	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

※常設の募金箱は、北海道がん対策基金募金箱設置要領に基づき設置されています。

※本表は令和4年度末(令和5年3月末)時点のデータです。

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会経営管理部企画課
<https://hokkaido-taigan.jp/>

Tel(011)-748-5518

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

Tel(011)-204-5117

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診や機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄付ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄付などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄付金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

〃 旭川がん検診センター 0166-53-7111

〃 釧路がん検診センター 0154-37-3370

国立がん研究センターをはじめとする研究グループは、日本人を対象としたこれまでの研究を調べました。その結果、日本人のがんの予防にとって重要な、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの改善可能な生活習慣に「感染」を加えた6つの要因を取りあげ、「日本人のためのがん予防法（5+1）」を定めました。

科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン 「日本人のためのがん予防法（5+1）」



国立がん研究センターがん情報サービス「科学的根拠に基づくがん予防」より